

毎日の生活を彩る、  
かわいい手づくり

# タティングレースの アクセサリーと こもの

kukka tatting (横山ゆきえ)



手作り110番  
この本に関する  
ご質問はお電話で



# Contents

P.4	1-a 小花
	1-b 小花をつないだネックレス
P.5	2 リヴァースワークのお花
P.6	3-a ジョセフィン・ノットのネックレス(1連)
	3-b ジョセフィン・ノットのネックレス(3連)
P.7	4 雪の結晶(a)
P.8	5 シャトルつなぎで作るお花(a)
	6 雪の結晶のアレンジモチーフ
P.9	7 ひし形(a)
	8 シャトルつなぎで作るお花(b)
P.10	9 立体お花の飾り(a, b)
P.11	10 立体お花の指輪
P.12	11 スプリット・リングで作るお花のサークル(a)
	12 ハート
	13 ひし形(b)
P.13	14 六角形のお花
P.14	15-a 4枚花びらのお花
	15-b 4枚花びらのお花をつなげたネックレス
P.15	16-a 5枚花びらのお花
	16-b 5枚花びらのお花をつなげたネックレス
	17-a 6枚花びらのお花(a)
	17-b 6枚花びらのお花をつなげたネックレス
P.16	18 スクエア
	19 雪の結晶(b)
P.17	20 4連スクエア
P.18	21 もこもこお花
	22 スプリット・リングで作るブレスレット
P.19	23 2色使いのお花(a)
	24 2色使いのお花(b)
	25 2色使いのスクエア
P.20	26 2色使いのお花(c)
	27 2色使いのお花(d)
P.21	28 スクエアの入ったお花
	29 スプリット・リングで作るお花のサークル(b)
P.22	30 白のドイリー
P.23	31 あまり糸で作る小さな花束
P.24	32 スクエアのコースター
P.25	33 6枚花びらのお花(b)
	34 つなげて大きくしていくお花(a)
	35 つなげて大きくしていくお花(b)
P.26	36 小花をつないだコースター
	37 パステルカラーの小花のドイリー
P.27	38 青い小花のドイリー

## この本にのっている テクニックや基礎知識

- \* タティングレースのきほん  
レース糸、太さの違い、道具...P.28
- \* シャトルに糸を巻こう(準備)...P.29
- \* 「結び目」とは?...P.30
- \* リング・チェーン・ピコットを覚えよう...P.33
- \* 作り方図の見方...P.36
- \* ピコットつなぎ①...P.36
- \* ピコットつなぎ②...P.38
- \* 小花モチーフの最後の糸始末...P.37
- \* 糸が足りなくなったときのつなぎ方...P.39
- \* ジョセフィン・ノット...P.40
- \* リヴァースワーク...P.42
- \* スプリット・リング...P.45
- \* シャトルつなぎ...P.51
- \* チェインの途中で作るリング...P.55

P.1のモビールは、#30葵で作った「小花」で作っています。  
P.3の額線に入れたモチーフは、本書に掲載しているモチーフを  
#30葵の赤(9)で作ったものです。





1-a-P.35



2-P.42



4-P.52



5-P.52



6-P.53



11-P.45



12-P.58



13-P.59



14-P.60



15-a-P.61



21-P.67



22-P.68



23-P.69



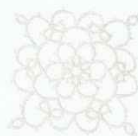
24-P.70



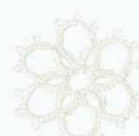
25-P.71



31-P.44



32-P.74



33-P.75







7-P.54



8-P.53



9a-P.56



9b-P.56



10-P.56



16-a-P.62



17-a-P.63



18-P.64



19-P.66



20-P.65



26-P.72



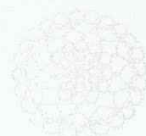
27-P.72



28-P.73



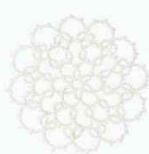
29-P.45



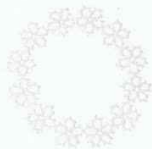
30-P.79



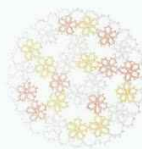
34-P.76



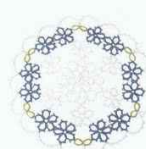
35-P.77



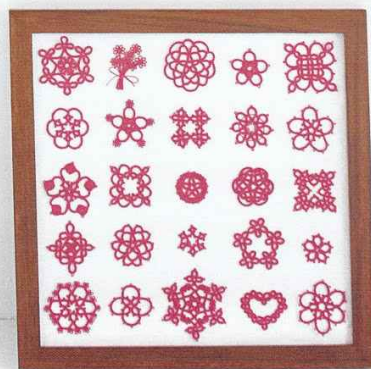
36-P.78



37-P.80



38-P.48





\* 1-a \*

小 花



小花のモチーフは、  
可憐な少女のイメージ。  
シックな黒色でも  
上品なお嬢様のように。  
シンプルなファッションに  
よく似合う、基本モチーフです。

How To Make  
1-a--P.35-37、1-b--P.38-39

\* 1-b \*

小花をつないだ  
ネックレス





\* 2 \*

## リヴァースワークのお花

リヴァースワークという  
手法で作るお花のデザイン。  
幾何学的なお花模様は華やかな印象です。

How To Make  
2-P.42、リヴァースワークはP.42-43





\* 3-b \*

ジョセフィン・ノットの  
ネックレス (3連)

\* 3-a \*

ジョセフィン・ノットの  
ネックレス (1連)

かすみ草のような  
ネックレスは、  
ジョセフィン・ノットという  
手法で作ったもの。  
小さいお花に動きがでて、  
それがとってもかわいい。

How To Make  
3-a・3-b...P.40-41



\* 4 \*

## 雪の結晶 (a)

雪の結晶のような  
モチーフを、  
カラフルな色で作れば、  
まるで、こんぺいとうが  
転がっているような  
楽しい雰囲気。

How To Make 4...P.52





シャトルつなぎという手法で、  
花びらを二重、三重にとつなげていくと、  
大輪のお花になって、また違った表情に。  
ストラップにして、ゆれるお花といつも一緒!

How To Make  
5...P.52、6...P.53



\* 6 \*

雪の結晶の  
アレンジモチーフ

\* 5 \*

シャトルつなぎで  
作るお花 (a)



\* 7 \*

# ひし形 (a)



\* 8 \*

# シャトルつなぎで 作るお花 (b)



三つ葉のリングを  
つなげてひし形にしたり、  
シャトルつなぎで  
お花を大きく広げたり。  
ちょっとしたアレンジで、  
さまざまなモチーフが  
生まれる。それが楽しい!

How To Make  
7...P.54、8...P.53





\* 9 \*

## 立体お花の飾り (a、b)

できあがったモチーフを、  
クルクルッと丸めて立体お花に。  
2つ並べてクリップをつけて  
コサージュにしてはいかが？  
1つだけをカフスボタンにしてもかわいい！

How To Make 9-a・9-b--P.56-57



\* 10 \*

## 立体お花の指輪

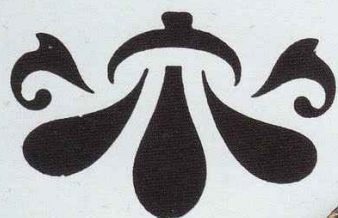
「立体お花の飾り」を  
もっと大きくしていくと……  
ボリュームな立体お花のできあがり。  
指輪にすれば、注目を集めること間違いなし!

How To Make 10-P.56-57





# SUNG ID ONLY



\* 11 \*

スプリット・リングで作る  
お花のサークル (a)



\* 12 \*

ハート



\* 13 \*

ひし形 (b)

スプリット・リングというテクニックを覚えたら、  
お花のサークルを作ることができます。  
基本テクニックのアレンジでハートやひし形にも。  
ハートはかわいく、  
ひし形は気品あふれる仕上がり。

How To Make: 11: P.45, 12: P.53, 13: P.59



\* 14 \*

## 六角形のお花

お花と雪の結晶が合体したような、  
美しくも存在感のあるモチーフ。  
シンプルな帽子によく映えます。

How To Make 14--P.60





シンプルなお花を  
つなぎ合わせたネックレス。  
V字につなげることで、  
胸元をシャープに見せる効果も。

How To Make 15-a・15-b P.61

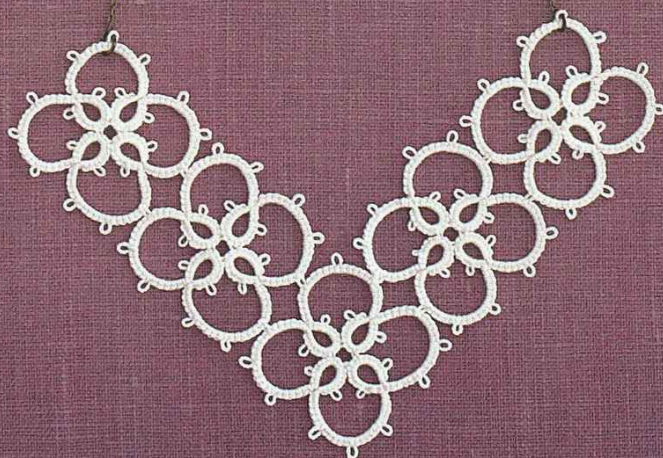


\* 15-a \*

4枚花びらの  
お花

\* 15-b \*

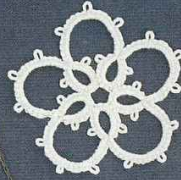
4枚花びらのお花を  
つなげたネックレス





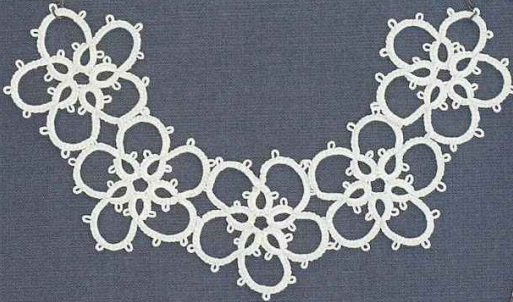
\* 16-a \*

5枚 **花** びらのお花



\* 16-b \*

5枚 **花** びらのお花を  
つなげたネックレス



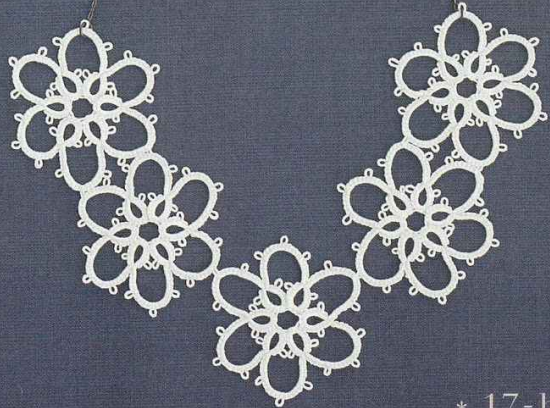
\* 17-a \*

6枚 **花** びらの  
**お**花 (a)



\* 17-b \*

6枚 **花** びらの **お**花を  
つなげたネックレス



4枚の花びらを

5枚、6枚と増やしてみると……。

つなげ方の違いでラインが異なります。

さあ、好みのお花はどれかしら？

How To Make 16-a・16-b…P.62  
17-a・17-b…P.63





幾何学的なデザインが美しい、スクエアや雪の結晶。  
 ネックレスにすれば、ハッと目をひく華やかなアクセントに。  
 いつもの装いがキラリと輝き出します。

How To Make 18...P.64、19...P.66



\* 20 \*

## 4 連 スクエア

スクエアを4つつなげると、  
こんなに素敵な模様に！ バッグやお洋服に  
アップリケのように貼るとクラシックな雰囲気に。

How To Make 20...P.65



JP





\* 21 \*

## もこもこお花

小さな花びらをくり返し作ると、もこもことしたお花に。  
小花をたくさん連ねたモチーフは、ブレスレットにぴったり。  
純白で作る、少女のようなみずみずしさ。

How To Make 21...P.67 22...P.68



\* 22 \*

## スプリット・リングで 作るブレスレット





\* 25 \*

2色使いの  
スクエア

\* 23 \*

2色使いの  
お花 (a)

\* 24 \*

2色使いのお花 (b)

2色の糸を使うと、印象がガラリと変わります。  
配色の変化で、モチーフはさまざまな表情を  
見せてくれるのです。さあ、カラフルな世界を楽しんで!

How To Make 23 P.69、24 P.70、25 P.71



中央部分をふわふわとさせると、  
かわいらしいお花のできあがり。  
淡い色の2色使いで、乙女心をくすぐるワンポイントに。

How To Make 26・27 P.72



\* 26 \*

2色使いのお花 (c)



\* 27 \*

2色使いのお花 (d)



お花のサークルは、糸の使い方の工夫で  
2色にすることも。花びらの先にスクエアを入れると、  
桜の花びらのような形に。  
ちょっとしたアレンジで新しいモチーフが誕生する。  
それが、タティングレースのおもしろいところ!

How To Make 28 P.73、29 P.45-47



スクエアの**入**った  
お花

ス**プ**リット・リングで作る  
お花のサークル (b)

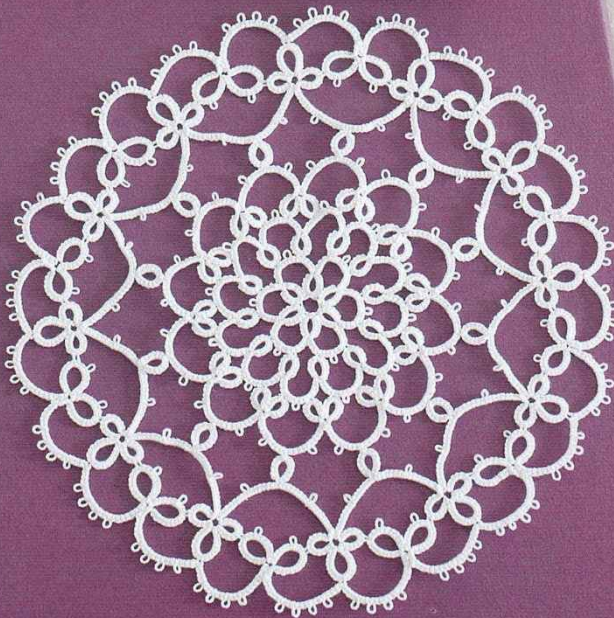


\* 30 \*

## 白のドイリー

お花を作ったら、  
外側に双葉や三つ葉のリングを入れて、  
3段、4段……と広げてみましょう。  
すると、美しい模様のドイリーに。  
モチーフが大きくなる喜びと達成感が  
味わえる作品です。

How To Make 30...P.79





\* 31 \*

## あまり糸で作る 小さな花束

シャトルの糸が少なくなったとき、  
このお花を作って貯めておきましょう。  
リボンで束ねたかわいい花束が作れます。  
額に入れたり、布のしおりに貼ったりすれば、  
プレゼントに最適!

How To Make 31-P.44



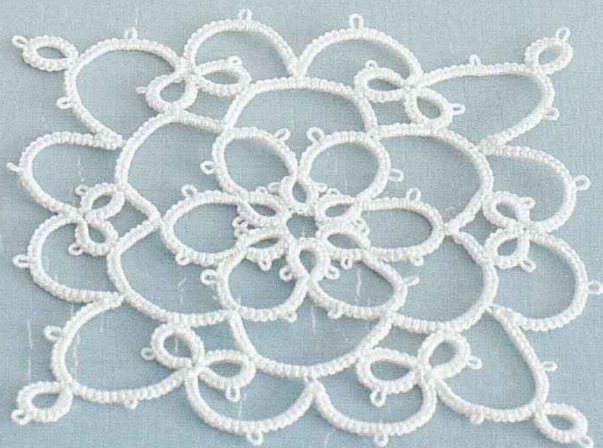


\* 32 \*

## スクエアのコースター

大人っぽい印象で  
人気の四角いコースター。  
中心部は丸いお花なのに、  
つなぎ方の工夫で四角くなるのが、  
タティングレースの不思議なところ。

How To Make 32-P.74



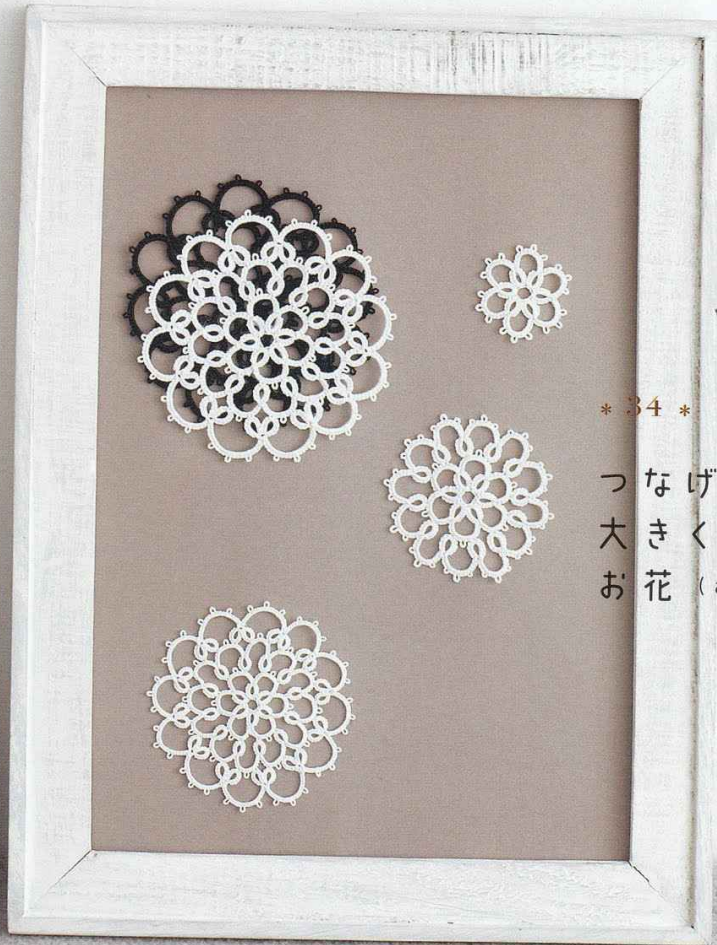


6枚花びらのお花から、  
どんどん外側に広げていったモチーフです。  
額に入れると、まるでダリヤのお花のよう。  
コースターやアップリケにしてもかわいい!

\* 33 \*

6枚花びらの  
お花 (b)

How To Make 33--P.75、34--P.76、35--P.77



\* 34 \*

つなげて  
大きくしていく  
お花 (a)

\* 35 \*

つなげて大きくしていくお花 (b)



\* 36 \*

小花をつないだ  
コースター

\* 37 \*

パステルカラーの  
小花のドイリー

小花を円形につないでいくと、まるで水面に浮かんだ花びらのよう。  
パステルカラーで色を変えていくと、春の訪れを感じさせる作品に。  
つなぎ方さえ覚えれば、どこまでも広がるお花模様です。

How To Make 36...P.78  
37...P.80



\* 38 \*

## 青い小花のドイリー

ドイリーの定番は白だけど、  
途中で青や緑を入れていくと、  
北欧風の配色に。

ビビッドな色の糸を使って、  
好きな世界を作れるのがうれしい!

How To Make 38...P.48-51





# タティングレースのきほん

「タティングレースを始めてみたい!」と思ったら、  
まずは知っておいてほしい基礎知識をご紹介します。

## レース糸

タティングレースで  
使うのは、レース糸です。  
#の番号が大きいほど  
糸が細くなり、できあがり  
サイズが小さくなります。  
本書ではダルマレース  
#30葵(25g巻)と  
#40紫野(10g巻)を  
使用しています。



ダルマレース#30葵(25g巻)の糸。左から6番  
(若草色)、7番(青)、4番(サーモンピンク)、1番  
(白)、2番(オフホワイト)。



ダルマレース#40紫野(10g巻)の糸。左から7番  
(薄オレンジ)、6番(ピンク)、12番(水色)。

## 太さの違い

#30と#40の糸の太さを  
比較してみると、  
右のようになります。  
各モチーフのできあがり  
サイズは、『使用糸』に  
書かれた番号の糸で  
作った場合のサイズです。



左が#40、右が#30で  
作った小花のモチーフ。糸  
の太さが違うため、できあがり  
サイズが変わってきます。

## 道具

基本的には、  
シャトルという名の  
舟形をした糸巻きと  
レース糸があればOK。  
右はあると  
便利な道具です。

(用具提供:クロバー株式会社)  
※d以外



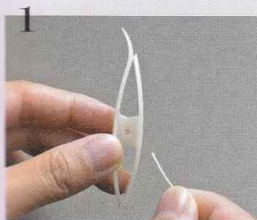
左はLサイズのシャトル。糸がたくさん巻けるので大きな作品を作るときに便利です。  
右は標準サイズのシャトル。2色使いの作品には複数のシャトルを使います。



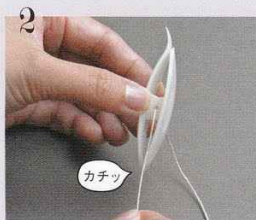
a.タティングレース用かぎ針。b.レース針。糸を拾いにくいときなどに使います。c.クロスステッチ針。最後の糸始末に使います。d.はさみ。糸を切るのに使います。刃先が小さいものが最適。e.布用ボンド。できあがったモチーフを布に貼るときなどに使います。



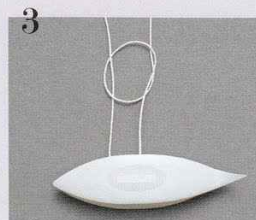
## • シャトルに糸を巻こう(準備)



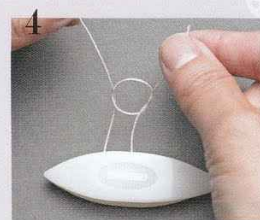
1  
シャトルを縦にし、角が上きて、左側を向くように持ち、手前から穴に糸を通します。



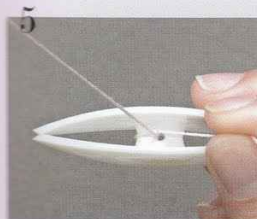
2  
糸を通したら、手前にある糸をシャトルの下に通します。「カチッ」と音がして、シャトルの向う側に糸が渡ります。



3  
右側の糸で1回輪を作り、左側の糸をその中に入れます。



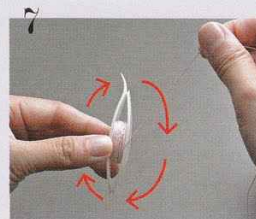
4  
糸の両端を持って、左側の糸を引きながらキュッとシャトルの根元で引き締めます。



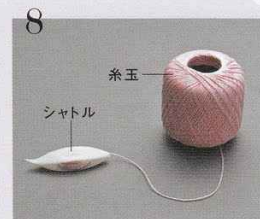
5  
シャトルと糸がゆるまないよう引き締め、結び目近くで短い方の余分な糸を切ります。



6  
シャトルの角が上きて、左側を向くように縦に持ち、シャトルの下を手前に通しながら、糸を巻きまわします。



7  
手前から後ろに…の要領でグルグルと均等になるように巻いていきます。シャトルからはみ出さないくらいまで十分に巻きましょう。



8  
糸玉とつながったまま作り始める場合は、これで完成。その他の「シャトルと糸の関係」は以下の通りです。

## • シャトルと糸の関係

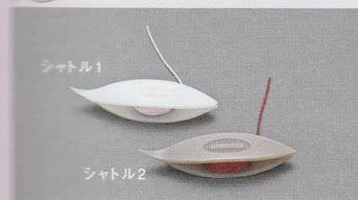
この本に出てくる作品の「作る前の準備」として、シャトルと糸玉の関係を紹介します。

1 糸を十分に巻いた  
シャトル1個



1色で作る作品の基本スタイルです。#30の糸をシャトルに十分巻いて、「小花」を3枚程度作れますので、目安にしてください。

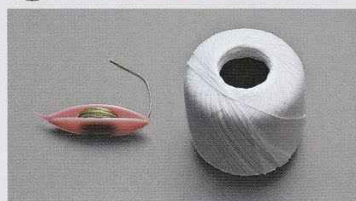
2 シャトル2個で、  
それぞれ違う糸



チェーンの途中でリングを作るとき、2個目のシャトルを使います。リングとチェーン、チェーンの途中で作るリングの色を変えたい場合はシャトル2個の糸を別色にします。リングをシャトル1で、チェーンとチェーンの途中で作るリングをシャトル2で作ります。



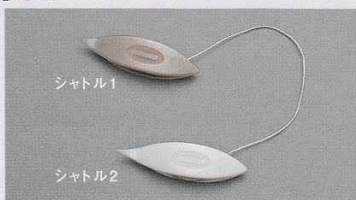
3 シャトル1個と糸玉が  
つながっていない



リングとチェーン(P.33)の色を変えて作りたい場合は、別色の糸玉の糸を使って、チェーンを作っていきます。



4 シャトル2個が1本の糸で  
つながっている



左の「シャトル2個で、それぞれ違う糸」ではリングとチェーン、チェーンの途中で作るリングの色を変えましたが、この場合は、同色の糸で作りたいときのスタイルです。リングをシャトル1で、チェーンとチェーンの途中で作るリングをシャトル2で作ります。



5 シャトル1個と  
糸玉がつながっている



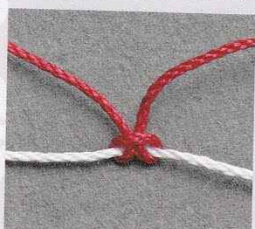
リングとチェーンを同色の糸で作りたい場合で、チェーンを作るのに糸の必要量が読みにくい作品は、途中で糸を継ぎ足すのを避けるために(糸始末が増えてしまうため)、糸玉とつながったままで作る方が安心です。



# \*\*\* 「結び目」とは？ \*\*\*

タティングレースは、「結び」をくり返して作ります。「結び」には表目と裏目があるので、その関係性を覚えましょう。

表目1目と裏目1目を作る(ダブルステッチ1目)



芯糸(シャトル側の糸)に、もう1本の糸(左手にかけた糸)を下から1回巻き付けて「表目」1目、次に上から1回巻き付けて「裏目」1目。これで「ダブルステッチ1目」です。

6目作ったところ



「表目」+「裏目」でダブルステッチ1目とし、これを6目作ったところ。芯糸に2回巻き付いた状態が1目で、これが6回くり返されているのがわかります。

失敗



正しく目が移せていないと、芯糸と結び目の糸が逆転し、左手側の糸に、芯糸(シャトル側の糸)が巻き付いた状態になってしまいます。間違えたまま進めると、最終的にリングが作れなくなります。間違いに気づいたら、ほどいて正しい目を作り直しましょう。

ダブルステッチ

1目

左手にかけた糸



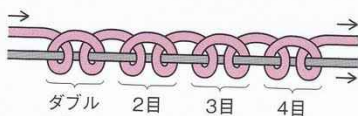
「表目」「裏目」

1目 1目

シャトル側の糸(芯糸)

ダブルステッチ

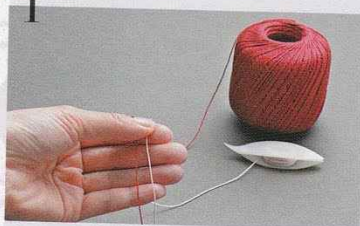
1目



2目 3目 4目

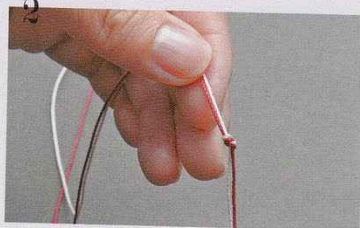
表目を作る

1



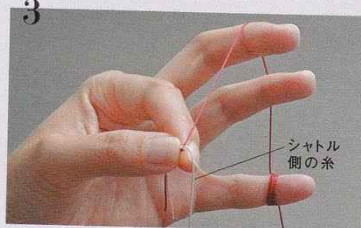
(写真は、2本の糸の関係がわかりやすいように、あえて色を変えた2色で作っています)。シャトルに巻いた糸と、糸玉につながっている糸の2本をそろえ、結びます。

2



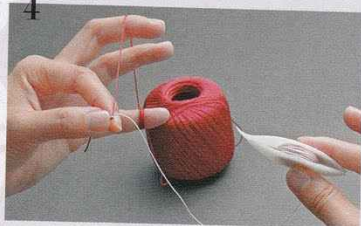
ここでは2色を1本に見立てて作りたいため、端から約15cm残し、結びましょう。

3



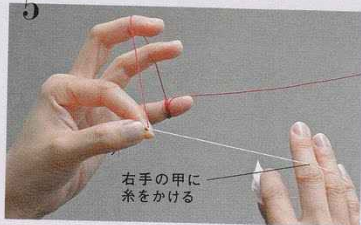
結び目を左手の親指と人差し指でつまみ、シャトル側の糸が手前にくるようにします。糸玉の糸は、左手の中指、薬指、小指の上を通して、小指に5~6回巻き付けます。

4



糸玉とシャトルの関係は、写真の通り。  
※シャトルと糸玉がつながった状態で作るときも同様の形になります。ただし、写真のようにには結びません。  
※シャトルの糸だけで作るときはP.35のIの形になります。

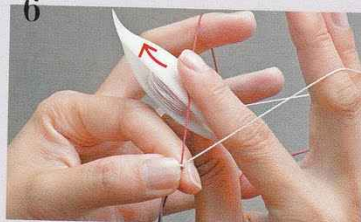
5



右手の甲に糸をかける

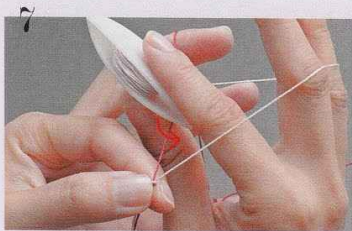
シャトルの角はいつも上向きに、糸端はいつもシャトルの向こう側にあるようにします。シャトルの糸を右手小指の下から上にグルッとかけようとして、手を返します。右手の甲にシャトルの糸の糸がのっている状態です。

6

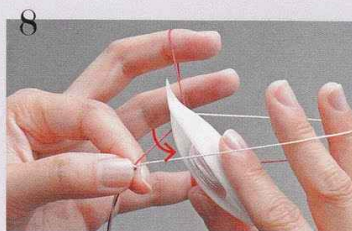


そのままシャトルを、左手親指と中指の間に張られた糸の下にくぐらせます。シャトルをくぐらせるとき、右手の人差し指とシャトルの間に糸が通ります。

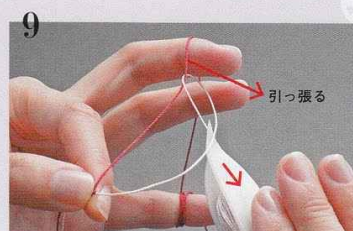




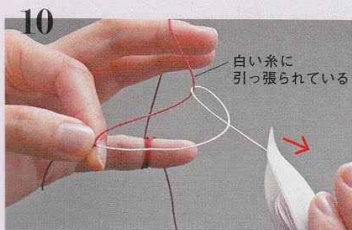
完全に通過したら、今度はシャトルのお尻側を、先ほどくぐらせた糸の上に置きます。糸の上をすべらせるように、シャトルを右手側に引きます。



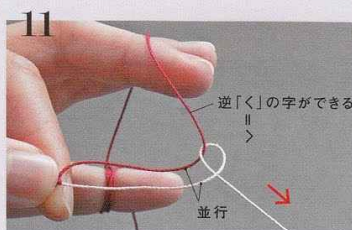
シャトルが糸の上を通るとき、右手の親指とシャトルの間を糸が通ります。右手の甲にかけている糸の下をくぐるようにして戻します。



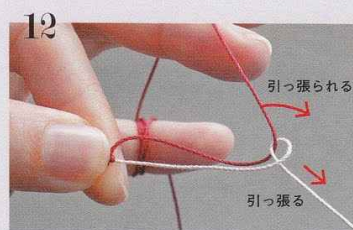
シャトルを戻すとき、左手中指を軽く曲げて、左手親指と中指の間の糸をたるませるようにし、シャトル側の糸で軽く引っ張りします。



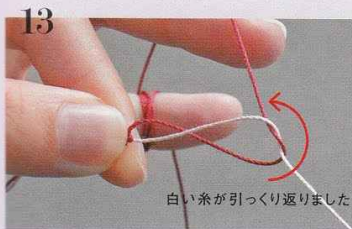
左手側の糸(赤い糸)が、逆「く」の字を描くようにたるませながら、シャトル側の糸で引っ張りします。



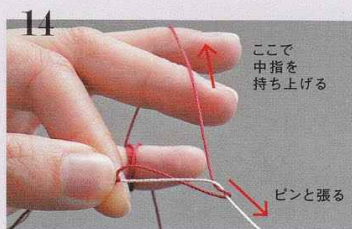
結び目が出る前の状態です。引っ張っているシャトル側の糸と、引っ張られている左手側の糸が並行になっています。



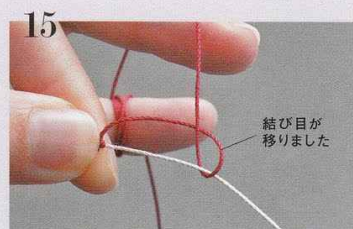
結び目が出る直前です。まだまだ白い糸に赤い糸が引っ張られている状態です。



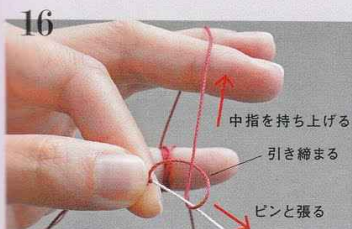
シャトル側の糸(白い糸)を引っ張り続けると、赤い糸の下にあった白い糸がクルッとひっくり返ります。



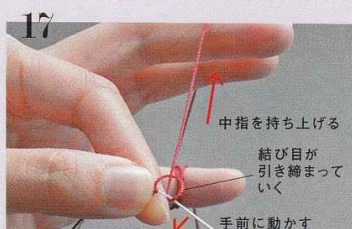
まだシャトル側の糸(白い糸)が、左手の糸(赤い糸)を引き寄せていますが、ここで左手中指をゆっくりと上に持ち上げます。



すると、赤い糸が上に来て、結び目が移りました! 10では白い糸が下に輪を作っていますが、15では赤い糸が上に輪を作っています。



左手中指をさらに持ち上げると、赤い糸の結び目が引き締まっていきます。このとき、シャトル側の糸(芯糸)に、赤い糸の結び目が巻きつく形になっていれば正解です。



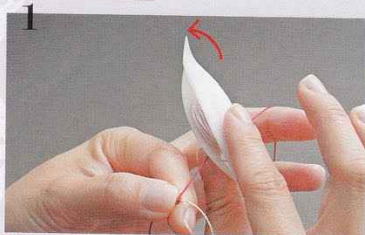
赤い糸の結び目を引き締めながら、シャトルを手前に動かして、結び目を左手側に寄せていきます(シャトルの糸を手前に動かすときは、右手薬指や小指で糸を押し下げると動かしやすいです)。



これで「表目」1目ができました!



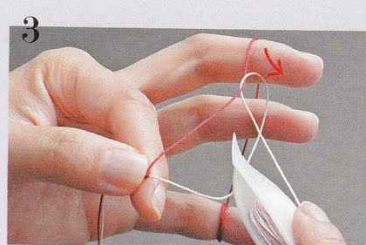
## 裏目を作る



表目を1目作ったら、裏目を1目作ります。裏目を作るときは、右手の甲には糸をグルッとかけずに、シャトルの向こう側に糸をたらしなす、左手に張られた糸の上にシャトルをのせるようにすべらせ、シャトルと親指の間を通します。



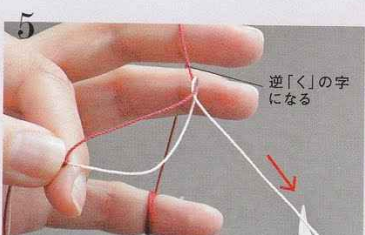
完全に向こう側に通したら、今度は左手に張られた糸の下をシャトルがくぐるように、右手人差し指とシャトルの間に糸を通します。



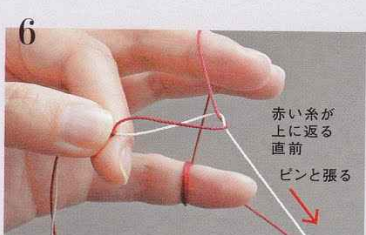
シャトルを引き、左手中指を軽く曲げて、左手中指の糸もゆるませます。



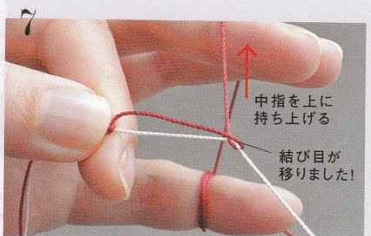
シャトルの糸(白い糸)をゆっくりと引っ張り、それに引っ張られるように左手側の糸(赤い糸)が、逆「く」の字を作るような形にします。



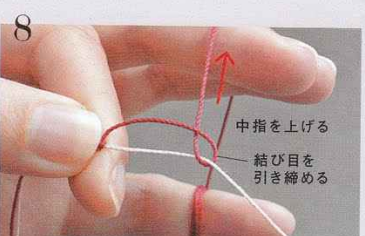
まだシャトル側の糸(白い糸)を引っ張り、左手側の糸(赤い糸)が引っ張られている状態です。



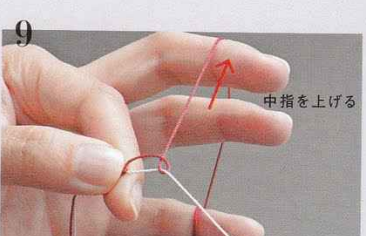
結び目が移る直前です。左手中指も引っ張られて、倒れている状態です。左手側の糸(赤い糸)がシャトル側の糸(白い糸)の下にありますが、次でこの関係が逆転します。



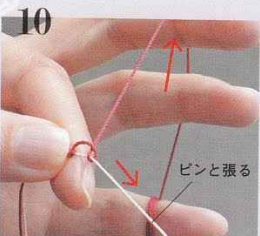
結び目が移りました! 左手側の糸(赤い糸)が、シャトル側の糸(白い糸)の上で輪を作っています。結び目が移ったら、左手中指をゆっくりと上を持ち上げます。



左手中指を持ち上げて、赤い糸の輪を引き締めます。



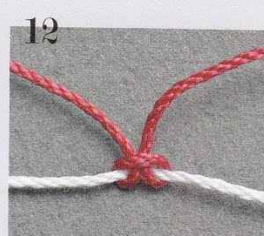
さらに左手中指を持ち上げて、赤い糸の輪を左手の親指側に寄せていきます。このとき、シャトル側の糸を手前にゆっくりと動かすと、結び目が左手側に寄りやすくなります。



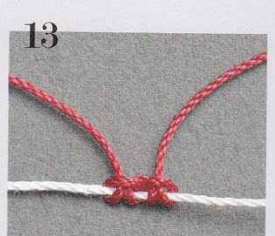
芯の糸となるシャトル側の糸(白い糸)はピンと引っ張りましょう。



表目と裏目の結び目をしっかり寄せて、引き締めたら、ダブルステッチ1目のできあがり。



これが、表目1目+裏目1目=ダブルステッチ1目が完成した状態です。「作り方図」の結び目の数は、この結び目を1目とし、くり返していく数を示しています。

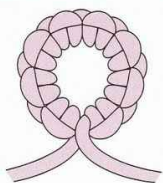


これが、ダブルステッチ2目が完成した状態です。結び目がこの形になっていないときは、シャトルの角で結び目をゆるめ、間違っ巻きついた目をほどきましよう。



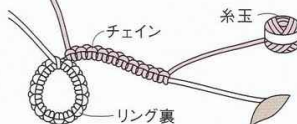
## ・リング・チェーン・ピコットを覚えよう

### リング



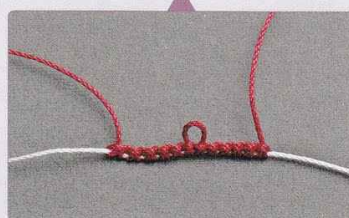
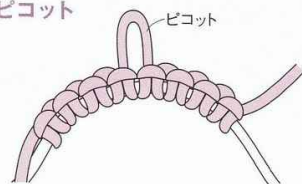
リングとは、芯の糸に、「表目+裏目」のダブルステッチをくり返して作り、輪の状態にしたものです(写真は、途中にピコットを入れたリングです)。輪にするには、シャトル側の芯糸を引っ張ります。すると、口が開いていきます。

### チェーン



チェーンとは、「表目+裏目」のダブルステッチをゆるい弧を描くように作り、リングなどとなげていく部分を指します。

### ピコット



ピコットとは、「表目+裏目」を作るときに、結び目と結び目の距離を離して作り、あとから引き寄せて、結び目の間に輪っかを作る手法です。飾りのピコットと、モチーフをつなげるためのピコットがあります(=ピコットつなぎ)。

### ピコットを作る

1



ダブルステッチを2目作った状態です。

2



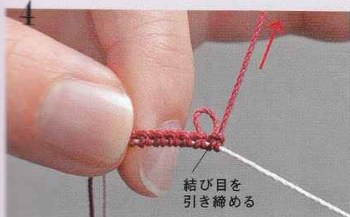
次の表目を、距離を離して作ります(作りたいピコットの半径を考え、その倍の距離を取ります)。

3



距離を保ったまま、裏目も作ります。

4



裏目をしっかり引き締めたら、左手中指をグイッと持ち上げて、距離を取って作った結び目を引き寄せます。または、距離を取って作った結び目を指でつまみ、芯糸の上をすべらせるように動かして、左に寄せていきます。

5



すると、結び目上に飛び出た輪っかができます。これがピコットです。ちなみに、ピコットを1つ作ると、自然と次のダブルステッチが1目できていることになります。「作り方図」には、この自然とできる1目も目数として書かれているので、間違えて作り過ぎないようにしましょう。

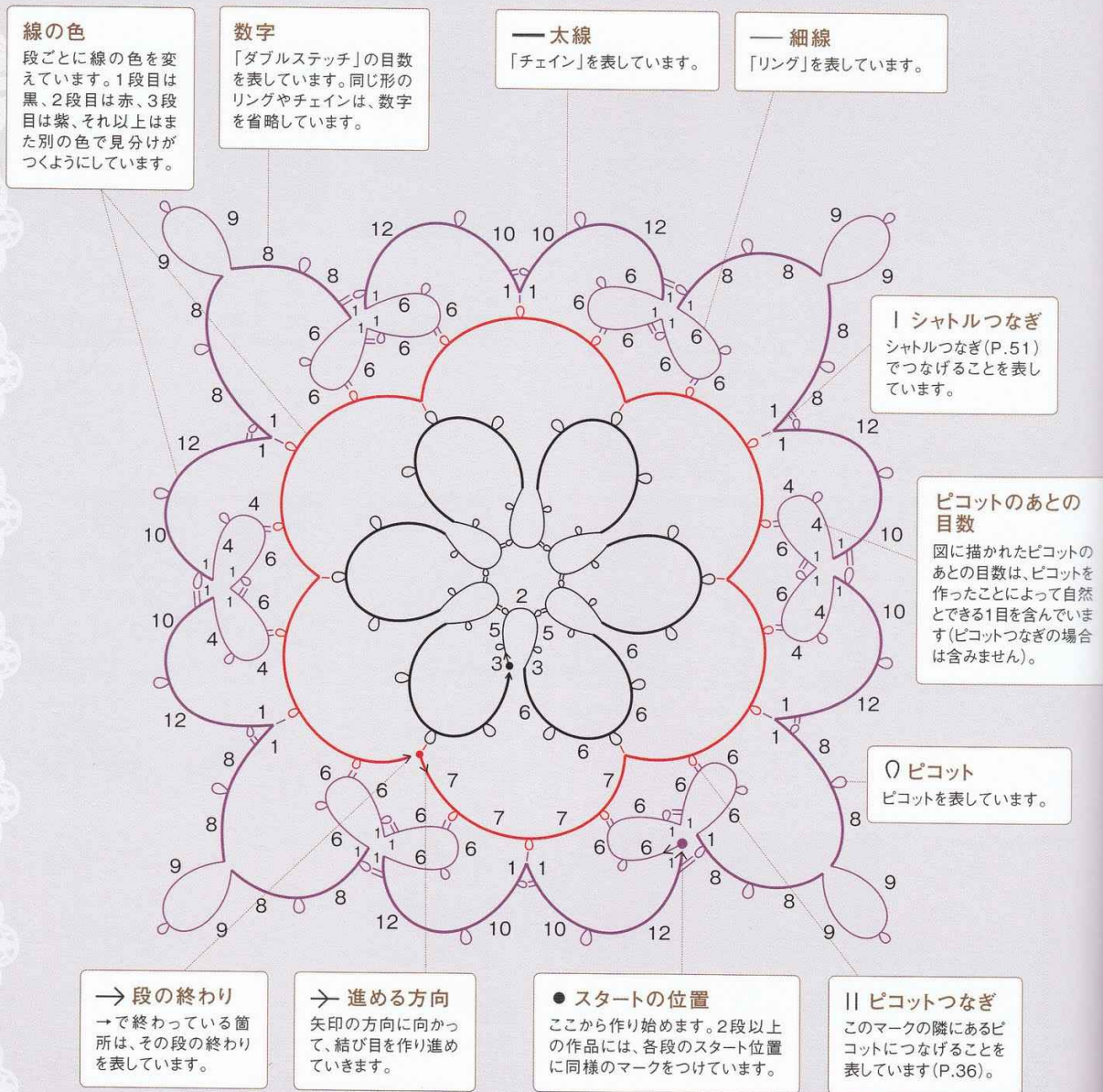


# \*\*\* 作り方図の見方 \*\*\*

この本では、それぞれの技法を記号で簡潔に表した「作り方図」で、各作品の作り方を掲載しています。

ここでは、その「作り方図」の見方を紹介します。

なお、「作り方図」の近くに、文章で「手順」も併記していますので、あわせてご覧ください。





1-a

# 小花

(P.4)

【シャトルと糸玉は…】

\*使用糸…#30 葵 オフホワイト(2)

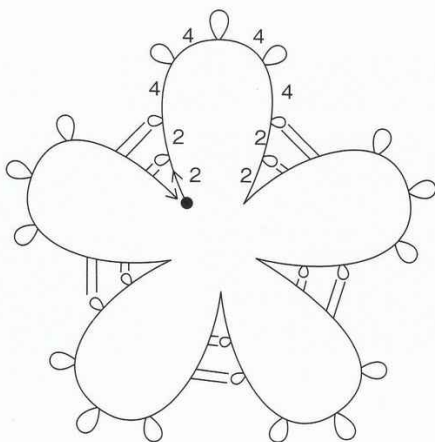
\*その他の材料…

ペンダントパーツ1個(金古美)、

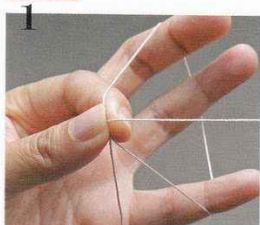
丸カン1個(金古美)

\*道具…シャトル1個

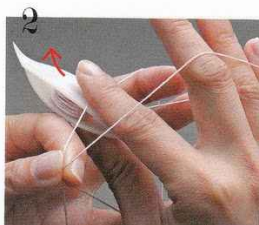
\*できあがりサイズ…モチーフ直径約3cm



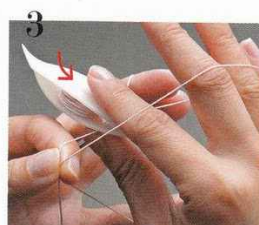
## 表目



シャトル1個で作ります。糸端を約15cm残し、写真のように糸を左手にかけ、親指と人差し指で、2本の糸を合わせてつまみます。すると、三角形の輪ができます。

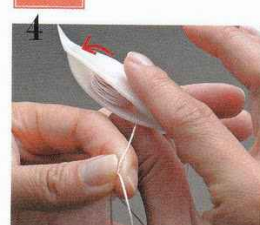


シャトルの角を上にして、シャトル側の糸を右手の甲にグルッとかけてから、左手の糸に通します。

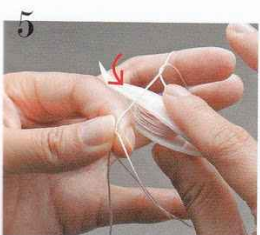


今度はシャトルの下を糸が通るようにぐらして戻します。

## 裏目



次は裏目を作ります。左手親指と中指の間に張られた糸の上にシャトルを通します。



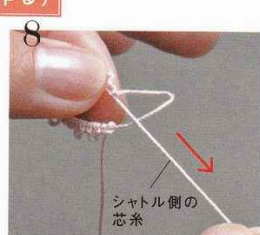
通った左手の糸の下を、今度はシャトルをお尻側からくぐらせませす。このとき右手人差し指とシャトルの間に糸が通ります。



「表目」→「裏目」を2回くり返したら、ピコットを1つ作ります(ピコットの作り方は、P.33参照)。



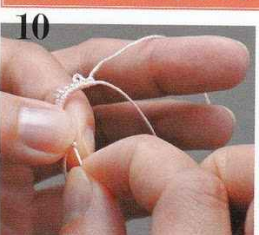
「作り方図」に従って、花びら1枚分の結び目を作り終わりました。いったん、左手から外します。



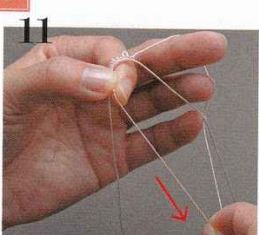
最後の結び目を押さえて、シャトル側の芯糸を引っ張ると、輪が小さくなっていきます。



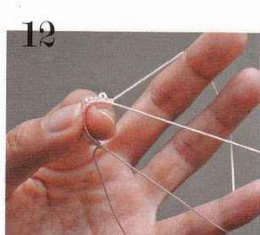
輪がなくなるまで引き締め、リングの口が閉じたら、リングのできあがり。



結び目は、左手にかけている輪の糸を使って作られていくので、目数が増えると、左手の輪が小さくなります。



そんなときは、1つ目の結び目の下に出ている2本の糸のうち、芯糸(三角形の輪を作っている糸)を引っ張りませす。

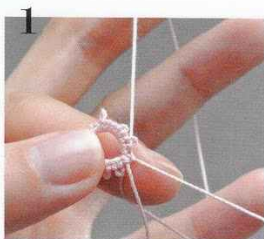


結び目は、芯糸に巻き付く形で作られるので、芯糸はスルスルと結び目の下で動かすことができます。芯糸を広げて、左手の三角形の輪を、作りやすい大きさにしましょう。

## 三角形の輪が小さくなったら



• ピコットつなぎ① (1枚目と2枚目のリングをつなげる)



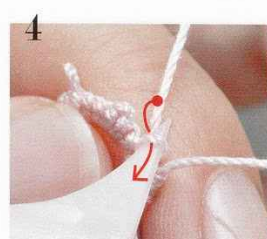
P.35の「9」でできたリング(花びら)の根元をつまむように持ち、左手に糸をかけます。



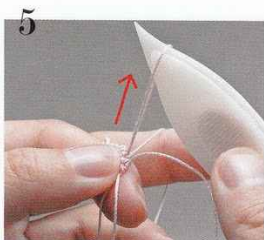
リングの根元に寄せるようにして、2目作ります。



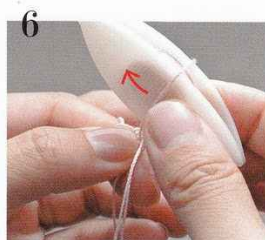
2目作ったら、1枚目のリングで最後に作ったピコットの後ろ側に、左手にかけている糸を沿わせませう。



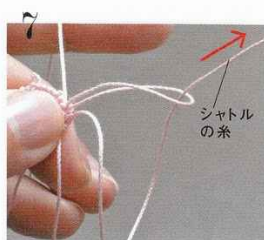
シャトルの角をピコットに差し込み、ピコットの向こう側にある糸を拾います。



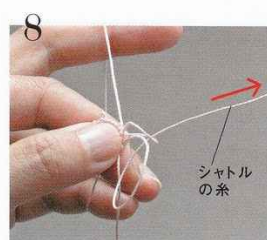
シャトルの角先で、シャトルが通るくらいまで糸を手前に引っ張り出します。



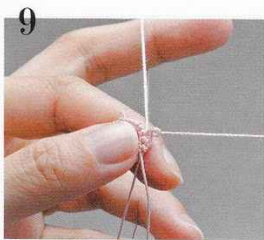
引っ張り出した糸の中にシャトルをくぐらせます。



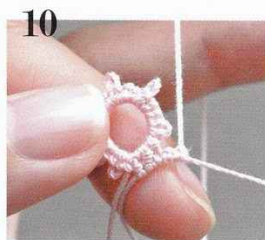
シャトルを完全に通します。



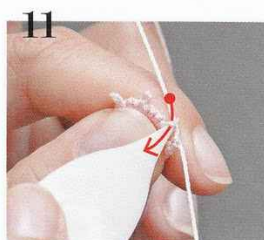
そのままシャトルを引っ張り、左手中指をゆっくりと持ち上げ、結び目を引き締めます。この場合、表目・裏目のように結び目を移す動作はしません。



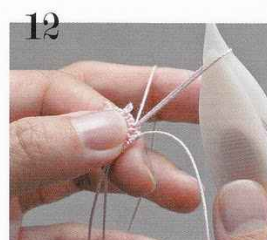
結び目を引き締めたら、左手中指を元の位置に戻します。つなげた部分を「ピコットつなぎ」と言い、結び目の数としては数えません。



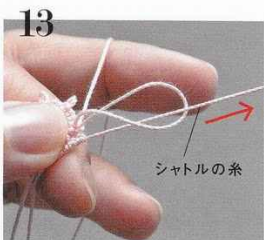
そのあと、ダブルステッチを2目作ります。



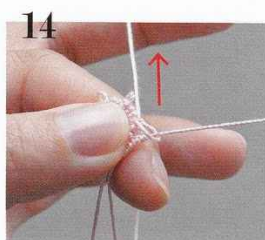
2目作ったあと、2つ目のピコットにも糸を沿わせ、4と同様に、ピコットにシャトルの角を差し込み、ピコットの向こう側にある糸を拾います。



シャトルの角先で、シャトルが通るくらいまで、糸を手前に引っ張り出します。



引っ張り出した糸の中にシャトルをくぐらせ、シャトルを完全に通します。



左手中指をゆっくりと持ち上げ、結び目を引き締めます。



ピコット2つをつなげたあとは、「作り方図」の通りに、4目→ピコット→4目と作っていきます。



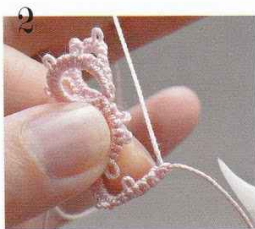
2つのリングをピコットつなぎで2箇所つなげた状態です。



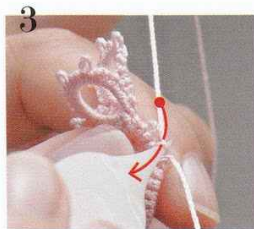
## ・ 小花モチーフの最後の糸始末



5枚目のリングの、3つ目のピコットのあと、4目を作りました。次の目でピコットつなぎをするところですよ。



すでに作られた4枚のリングを中表にタテ半分に折り、最初のリングのつなぎたいピコットの向こう側に、5枚目のリングの糸をあてます。



シャトルの角をピコットに差し込んで、向こう側にある糸を拾います。



糸を引っ張り出して、シャトルをくぐらせます。



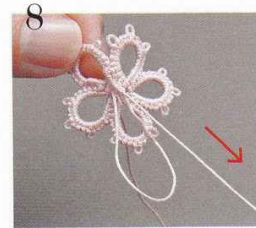
引っ張り出した糸の輪に、シャトルを完全に通し、左手中指をゆっくりと持ち上げ、結び目を引き締めます。



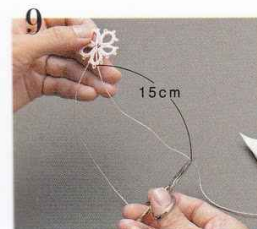
この場合、表目・裏目のように結び目を移す動作はしません。



「作り方図」の目数通り、ダブルステッチ2目作ったあと、もう一度、3～6のピコットつなぎを行います。そのあとダブルステッチ2目を作ります。



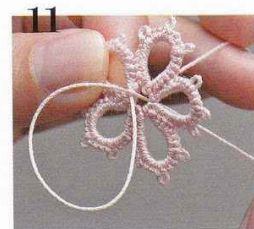
シャトル側の芯糸を引っ張り、5枚目のリングの口を閉じます。



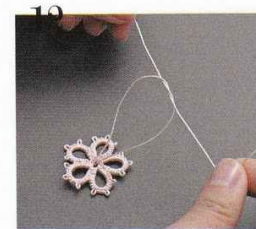
15cmくらい糸を残して、シャトル側の糸を切ります。



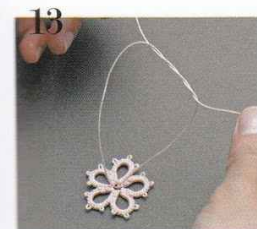
リングの手前と向こう側に糸が出ている状態です。



リングの中央の穴を通して、糸を裏側に集めます。



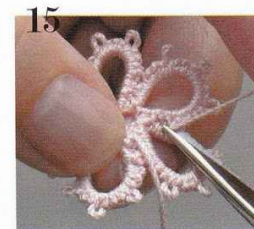
最後の目にできるだけ近いところで2本の糸を結びます。



さらに2本の糸を、今度は1回多く巻きつけて結びます。12～13を『こま結び』と言います。



それぞれの糸を針に通して、結び目の中に隠すように、リングの外側の結び目2～3個の下にくぐらせます。糸始末はモチーフの裏側で行います。



結び目から出た糸を引っ張りながら切ります。



最後の糸端が結び目の中に収まって、きれいに仕上がりました。アイロンをあてると、結び目がさらに美しく整います。



# 1-b

# 小花をつないだネックレス

(P.4)

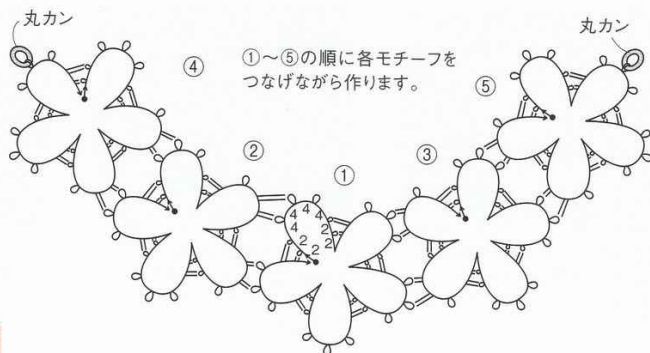
【シャトルと糸玉は… 】

\*使用糸...#30 葵 黒(14)

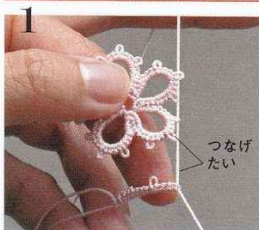
\*その他の材料...ネックレスパーツ1個(シルバー)、  
丸カン2個(シルバー)

\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...モチーフ5連の横幅約10.9cm



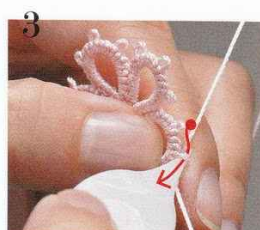
## ピコットつなぎ② (1枚目と2枚目の小花をつなげる)



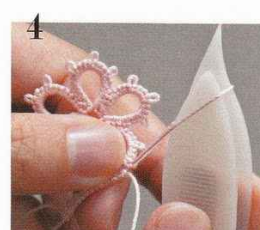
小花を1枚作ったあと、2枚目の小花を、つなぎたいピコットの手前まで作ります。



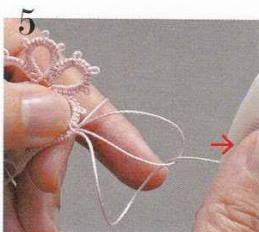
1枚目の小花のつなげるピコットの後ろ側に、2枚目の小花のつなぎたい糸を沿わせませす。



シャトルの角を1枚目の小花のピコットに差し込んで、向こう側の糸(2枚目の小花のつなぎたい糸)を拾います。



ピコットから糸を引っ張り出し、シャトルをくぐらせます。



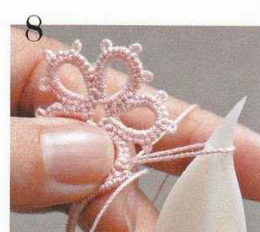
シャトルを完全に通し、結び目を引き締めます。この場合、表目・裏目のように結び目を移す動作はしません。



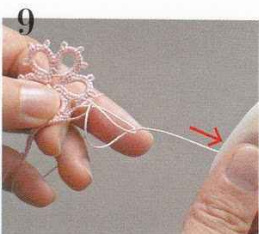
ピコットでつないだあと、ダブルステッチ4目を作りました。



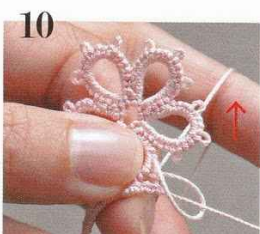
再び、次のピコットの後ろ側に、つなぎたいリングの糸を沿わせませす(2と同様)。ピコットにシャトルの角を差し込み、向こう側の糸を拾います(3と同様)。



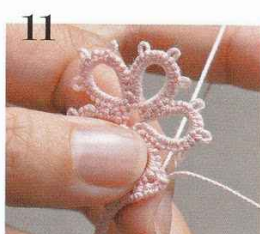
ピコットから糸を引っ張り出し、シャトルをくぐらせます(4と同様)。



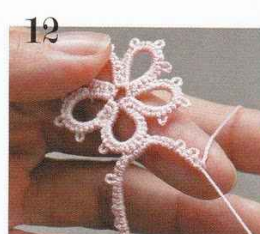
シャトルを完全に通します。



左手中指をゆっくりと持ち上げ、結び目を引き締めます。この場合、表目・裏目のように結び目を移す動作はしません。

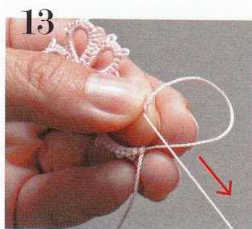


2つ目のピコットがつながりました。



このあと、ダブルステッチ4目を作り、残りの結び目も作ります。





2枚目のリングを最後まで作ったら、芯糸を引っ張り、リングの口を閉じます。



リングの口が閉じました。



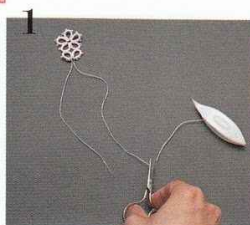
2枚目の小花のリングが、1枚目の小花と、2箇所ピコットのつなぎでつながりました。



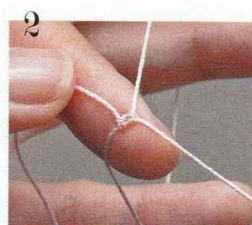
1～15をくり返し、2枚目のリングも2箇所のピコットでつなぎます。このあと残りのリング3枚を作ります。

### 作っている途中で糸が足りなくなったときのつなぎ方

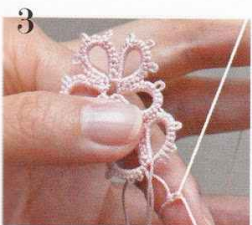
リングを作っている途中で糸を足すことはできません。シャトルの糸が残り少なくなってきたと思ったら、リングを作り終わった時点で糸を切り、次のリングから新しい糸で作ります。こうすれば、つなぎ目も目立たず糸始末もラク。その方法をご紹介します。



リングを2枚作ったところで、シャトルの糸が残り少なくなりました。ここで15cmくらい残して糸を切ってしまう。



シャトルに糸を新たに巻き、新しいリングを作り始めます。まずは、ピコットつなぎをする直前の2目を作りました。



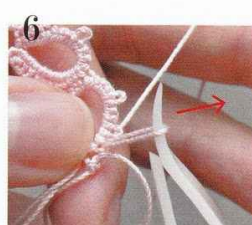
つなぎたいピコットの後ろ側に、新しく作ったリングの糸を沿わせます。



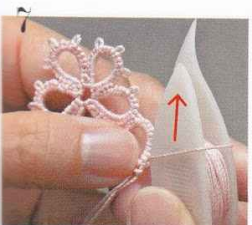
シャトルの角をピコットに差し込み、後ろ側の糸を拾います。



シャトルの角に引っかけて、ピコットをくぐらせて、後ろ側の糸を引っ張り出しているところです。



シャトルが通るくらいまで引っ張り出します。



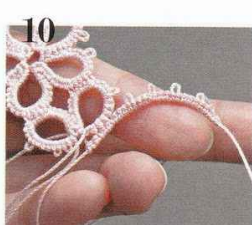
引っ張り出した糸の輪に、シャトルをくぐらせ、完全に通します。



左手中指をゆっくりと持ち上げると、先ほどピコットにつないだ目が引き締まります。

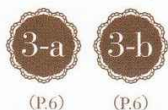


ピコットつなぎができました。このあと2目作り、再びピコットつなぎをします。



一番右が、シャトルに新たに巻いた糸で作った結び目です。2つ目のリングの糸始末は、P.37「小花モチーフの最後の糸始末」と同様、こま結びをしてから結び目に縫い込みましょう。





# ジョセフィン・ノットの ネックレス (1連、3連)

ジョセフィン・ノットとは、表目、裏目のどちらかだけをくり返して作る、小さなリングです。

【シャトルと糸玉は… 】

\*使用糸...3-a #30 薄ピンク (5)、3-b #30 葵 オフホワイト (2)

\*その他の材料...ネックレスパーツ1個 (金古美)、丸カン2個 (金古美)

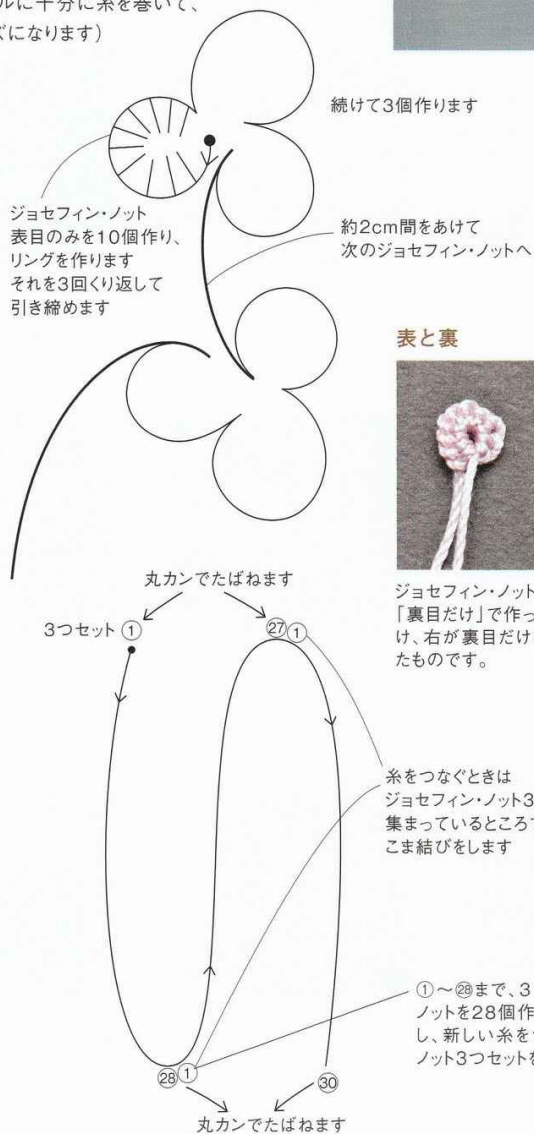
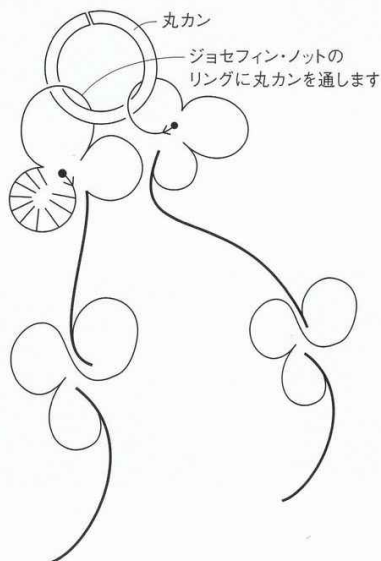
\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...1連: 首まわり約70cm (シャトルに十分に糸を巻いて、糸がなくなるまで作り続けると、このくらいのサイズになります)

3連: 首まわり約58cm

## 手順

- 1 糸端を約15cm残し、表目のみを10目作り、リングの口を閉じます。2個目も3個目も同様に作り、それぞれ口を閉じます。
- 2 3個目のリングから2cm距離をあけて、1をくり返します。
- 3 1連のネックレスは、3個セットのジョセフィン・ノットを28個作ります。シャトルに十分に巻いた糸で作れる数です。
- 4 3連ネックレスは、1回目にジョセフィン・ノットを28個作り、再びシャトルに糸を巻いて2回目は27個作り、3回目は30個作り、3つ折りにして丸カンで留めてからネックレスパーツを付けます。



## 表と裏



ジョセフィン・ノットは「表目だけ」、もしくは「裏目だけ」で作っていきます。左が表目だけ、右が裏目だけを10個作り、リングにしたものです。





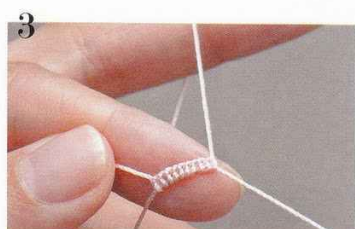
## 表目だけのジョセフィン・ノット



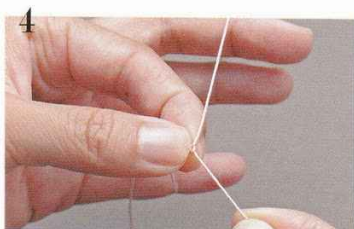
シャトル1個に糸を巻き、糸端を約15cm残して、写真のように左手で三角の輪を作り、2本の糸を左手親指と人差し指でつまみます。そこから表目だけを1目作ります(P.30参照)。



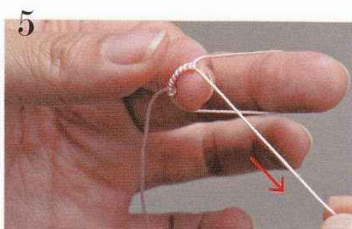
続けて、表目だけを5目作ります。



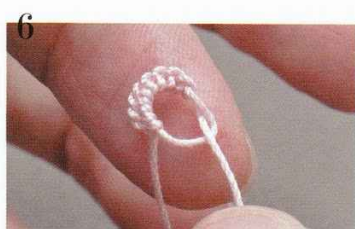
そのまま続けて表目だけを5目作ります。これで表目が全部で10目できました。



最後の目(10目終わったところ)を左手でつまみます。



左手にかけている三角の輪を外し、最後の結び目をつまんだまま、シャトル側の糸をゆっくりと引っ張り、リングの口を閉じます。



リングの口が閉じていくところです。



リングの口が閉じられ、小さなリングができました。これがジョセフィン・ノットです。



リングの口を左手でつまみ、再び表目だけを5目作ります(2同様)。



そのまま続けて表目だけを5目作ります(3と同様)。これで表目が全部で10目できました。



4~7をくり返し、2つ目のジョセフィン・ノットを作ったら、3つ目も同様に作ります。糸の長さを2cmほど空けて、再びジョセフィン・ノットを3つ作るのをくり返していきます。

## 裏目だけのジョセフィン・ノット



ジョセフィン・ノットは「裏目だけ」でも作ることができます。写真は、裏目だけ10目作ったものです。



裏目だけ10目作って、口を閉じたものです。作品を作るときは、どちらかに統一した方がきれいです。最後は、こま結びをして、糸端をジョセフィン・ノットのリングの中に縫い込みます。



リヴァースワークとは、リングを作ったあとに、天地を逆にしてリングやチェーンを作る手法です。

【シャトルと糸玉は… 】

\*使用糸...#30 葵 白(1)

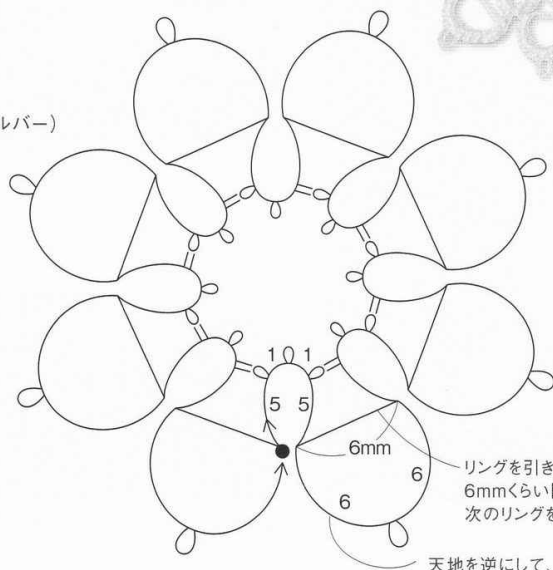
\*その他の材料...ストラップパーツ1個、丸カン1個(シルバー)

\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...直径約4.5cm

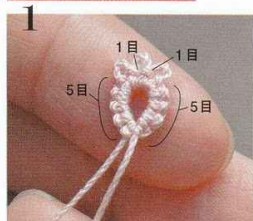
### 手順

- 1 糸端を約15cm残し、「5目、ピコット、1目、ピコット、1目、ピコット、5目」のリングを作ります。
- 2 天地を逆さにし、リヴァースワークで「6目、ピコット、6目」を作ります。ここでリングの口を6mmくらいあけて閉じます(リヴァースワークの作り方は、下の写真で紹介しています)
- 3 天地を戻し、1~2をくり返して、ピコットつなぎでつなげながら円形モチーフに仕上げます。
- 4 最初と最後の糸端を裏側でこま結びし、糸始末をします。



天地を逆にして、リヴァースワークで作ります。

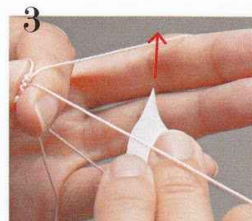
### リヴァースワーク



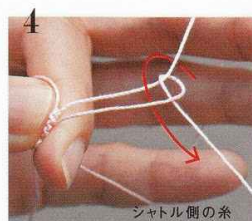
「作り方図」の通りに、「5目→ピコット→1目→ピコット→1目→ピコット→5目」を作り、リングを閉じます(ピコットを作ったあとの1目は、自然とできる目です)。



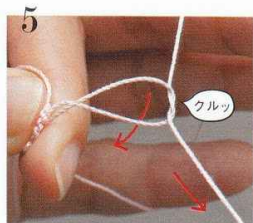
天地を逆さにし、持ち直します。ここからリヴァースワークです。



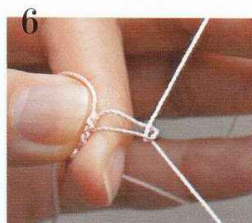
リングの口を左手でつまみ、6目作っていきます。まずは表目です。シャトルを左手の輪の下にくぐらせます。



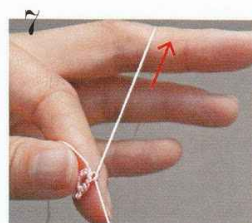
左手の輪の上を通して、右手の糸の下にシャトルを通したところです。



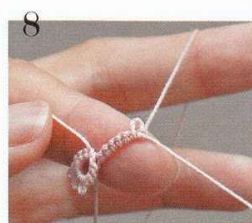
表目の目が移る直前です。



目が移りました!

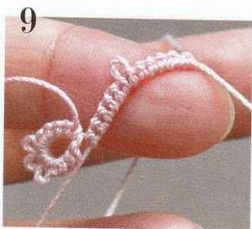


左手中指をゆっくりと持ち上げて、表目をリングの口に寄せます。

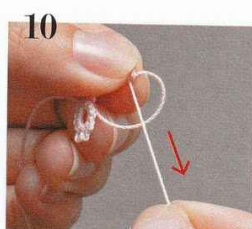


続けて裏目を作り、ダブルステッチを6目作り、ピコットを1つ作ります。

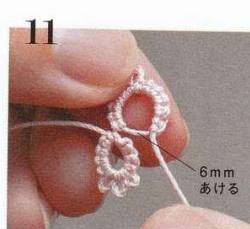




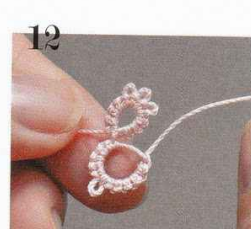
リヴァースワークにしてから、「6目→ピコット→6目」を作ったところです。



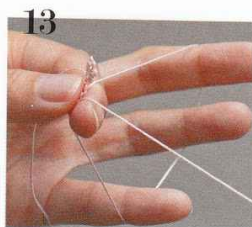
リングの口を引き締めて、閉じますが、この作品では完全に閉じず、6mmくらいあけておきます。



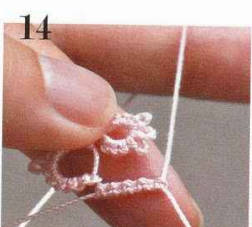
リヴァースワークで作ったリングの口を6mmあけた状態です。



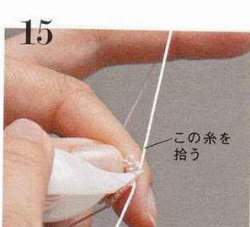
再び、天地を逆さにし、最初に作ったリングが上を向くように持ち替えます。



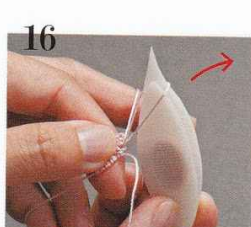
最後の結び目を左手でつまみ、写真のように左手に糸をかけ、三角形を作り、2つ目のリングを作ります。



ダブルステッチ5目作ったところです。



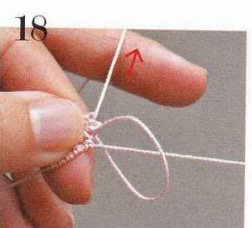
1つ目のリングのピコットと「ピコットつなぎ」(P.36)をします。ピコットにシャトルの角を差し込み、左手中指にかかっている糸を拾います。



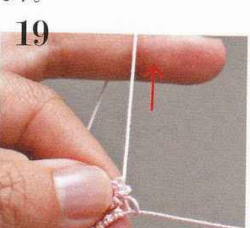
シャトルが通るくらい、糸を引っ張り出します。



引っ張り出した糸の輪にシャトルを通します。



シャトルを完全に通して引っ張り、結び目を引き締めます。



左手中指を持ち上げて、結び目を左手側に寄せます。



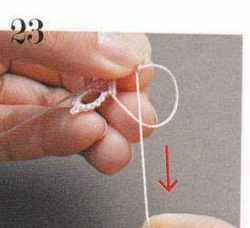
ピコットを作ります。



20でピコットを作ったときに自然と1目ができているので、続けてもう1つピコットを作ります。



ダブルステッチを5目作ります。



最後の結び目を左手でつまみ、シャトル側の芯糸をゆっくりと引っ張って、リングの口を閉じます。



1つ目のリング、リヴァースワークのリング、2つ目のリングをピコットつなぎをし終わったところです。これをくり返してお花の形を作ります。



## 色違いのモチーフをつなげるときの注意

「2 リヴァースワークのお花」など、ピコットつなぎでモチーフをつなげる方法です。



色違いのリングを通常の「ピコットつなぎ」でつなぐと、つなぎ目の色がもう1色の結び目にはみ出てしまいます。左は、はみ出ています。右は、はみ出ていません。



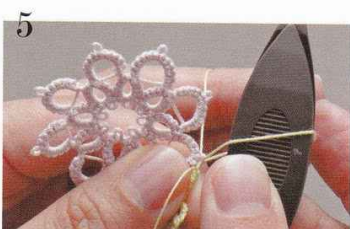
通常の「ピコットつなぎ」は、ピコットの後ろ側につなぎたいモチーフの糸を沿わせませんが、今回はピコットの前に沿わせます。



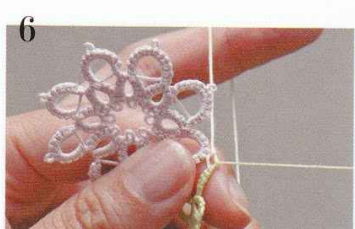
いつもはシャトルの角先をピコットの手前から入れますが、今回はピコットの後ろから入れ、前に沿わせた糸を拾います。



ピコットの後ろ側に、つなげるモチーフの糸を引っ張り出します。つまり、モチーフの裏側に結び目を作ります。



後ろに引っ張り出した糸に、シャトルを通します。



シャトルを完全に通し、結び目を引き締めます。すると、モチーフの表側につなぎ目の色はみ出しません。

## 31 あまり糸で作る小さな花束

(P.23)

シャトルの糸の残りが少なくなってきたら、このお花を作っておき、何本か集まったところで花束に。あまり糸をムダにせず、可愛いモチーフが作れます。

【シャトルと糸玉は…】

\*使用糸…#30 葵 左の花束:赤(9) 薄こげ茶(12) グレー(13) 黒(14) リボン…黒(14)

右の花束:薄ピンク(5) 若草色(6) 青(7) 紫(8) リボン…白(1)

\*その他の材料…しおりにする布や合皮(お好みで)、布用ボンド

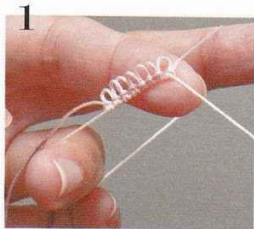
\*道具…シャトル1個

\*できあがりサイズ…

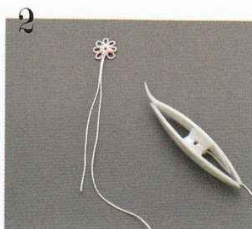
一番長いお花約5cm

### 手順

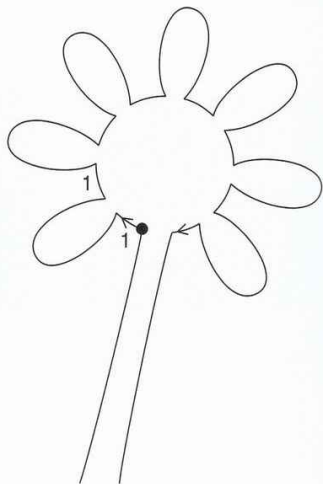
1～2を10本程度束ねたら、お好みの布や合皮などにボンドで張り、しおりにできます。または、額縁に入れて飾っても。



1目のあと、大きめのピコット(直径3mmくらい)を7回くり返して作ります(「作り方図」に書かれているピコットを作ったあとの1目は、自然とできる目です)。



最後はシャトル側の糸を引き締め、リングの口を閉じます。好みの長さで糸を切ります。花が集まったら束ねて好みのレース糸でリボン結びをします。





スプリット・リングで作る  
お花のサークル (a)(b)

スプリット・リングとは、2つのシャトルでリングを両側から半分ずつ作る手法です。

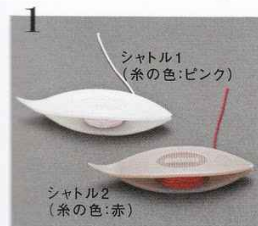
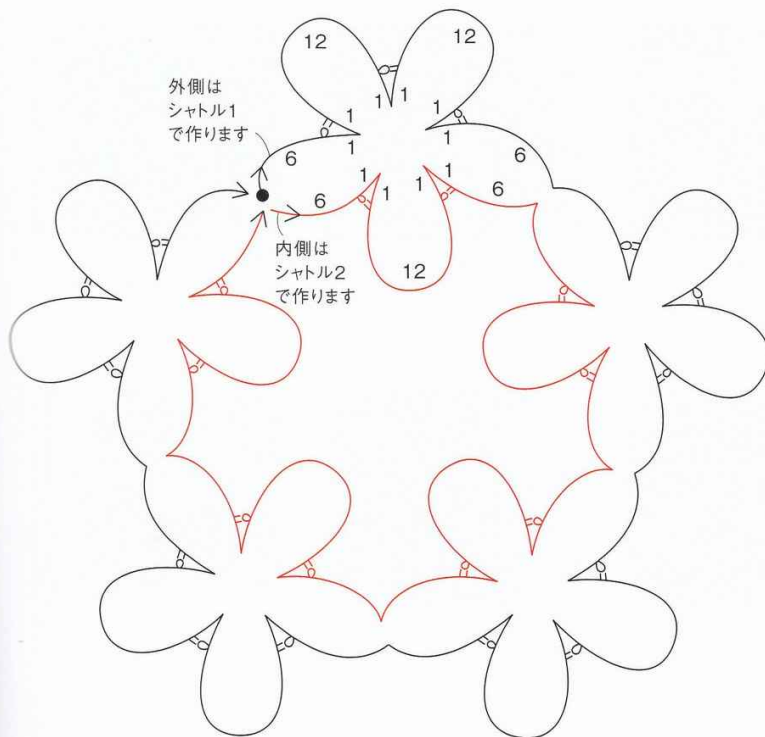
【シャトルと糸玉は…⑪は  ⑫は  】

\*使用糸... 11 #40紫野 薄茶(17) 90 #30葵 白(1)、若草色(6)

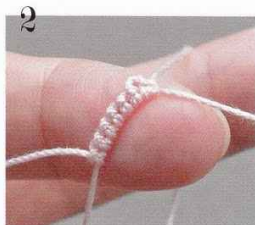
\*その他の材料... ⑪ かぶとピン1個(金古美)、丸カン1個(金古美) ⑲ 布用ボンド

\*道具...シャトル2個

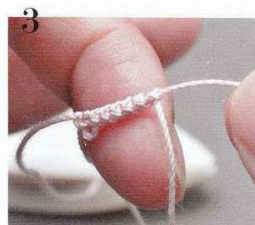
\*できあがりサイズ...#40のモチーフ直径約4.1cm #30のモチーフ直径約5.3cm



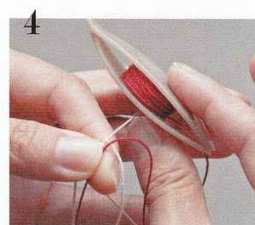
シャトルを2つ使います。2色使いの作品なので、1色ずつ巻きます。同色の糸で作るときは、見分けが付きやすいようにシャトルの色を変えると良いでしょう。



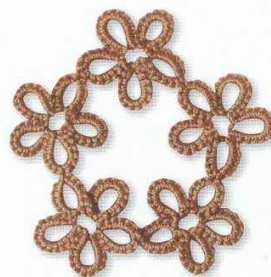
外側のリングを作るシャトル1(ピンク)で、「6目、ピコット、1目」を作ります。



左手の輪を外し、シャトル1を休ませ、6目の天地を逆さにしてもう一度左手にかけます。



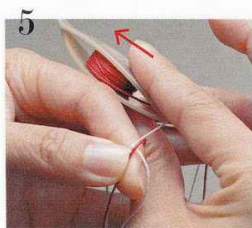
シャトル2(赤)の糸をシャトル1(ピンク)の最初の目の付け根に沿わせます。シャトル1の結び目が上に来ている状態です。そこからシャトル2(赤)で「裏目」から作り始めます。



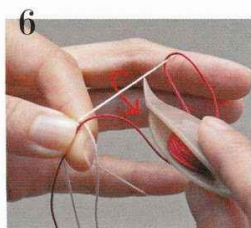
手 順

- 1 2色で作る場合は、糸端を15cm残り、シャトル1で「6目、ピコット、1目」を作ります。
- 2 シャトル2の糸を1の最初の目に沿わせて「6目、ピコット、1目」を作ります。シャトル1の芯糸を引き締め、リングの口を閉じます。
- 3 シャトル1で「1目、ピコットつなぎ、12目、ピコット、1目」のリングを作り、これをもう1つ、ピコットつなぎをしながらくり返して作ります。
- 4 シャトル2で「1目、ピコットつなぎ、12目、ピコット、1目」のリングを作ります。シャトル1で「1目、ピコットつなぎ、6目」を作り、続けてシャトル2で「1目、ピコットつなぎ、6目」を作り、芯糸を引き締め、リングの口を閉じます。
- 5 1~4を全部で5回くり返し、サークルにします。最後は裏側で同色の糸同士でこま結びして糸始末します。1色で作る場合は、シャトル1の芯糸を●印に針で通し、裏側でこま結びして糸始末します。
- 6 ⑪は丸カンをつけ、かぶとピンをつけます。  
⑫は布用バンドで貼ります。

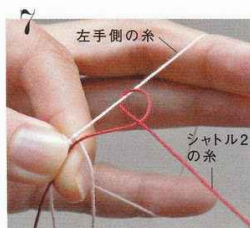




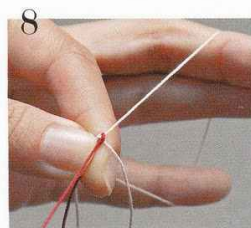
5 左手の輪の上にシャトルを通し、「裏目」の1目を作っているところです。



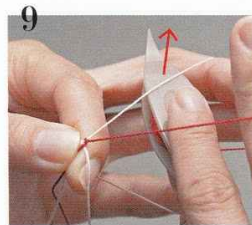
6 左手の輪の下を通し、シャトル側の糸の上を通します。このまま引っ張ります。



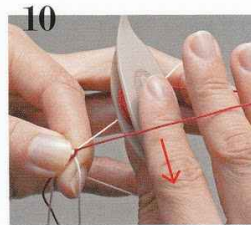
7 ここで「裏目」は結び目を移しません。左手側の糸にシャトル2の「赤い糸」が巻き付きます。



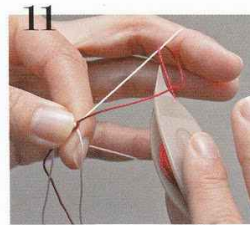
8 そのまま結び目を引き締めて、シャトル1 (ピンク) で作った1目に寄せます。



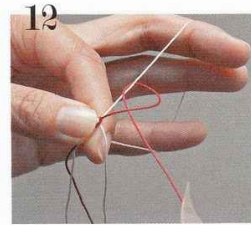
9 続けてシャトル2 (赤) で「表目」を作ります。右手の甲に糸をかけた後、シャトルを左手の輪の下にくぐらせます。



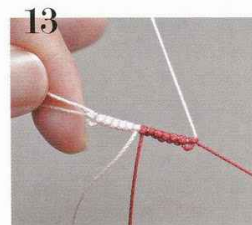
10 左手の輪の上を通して、シャトルを引き抜きます。



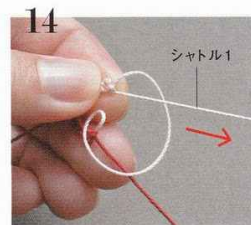
11 シャトルを引き抜いたところです。



12 「表目」も結び目は移しません。そのまま結び目を引き締めます。



13 シャトル2 (赤) で「6目、ピコット、1目」を作りました (ピコットを作ったあとの1目は、自然とできる目です)。



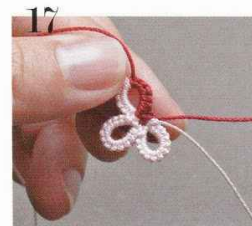
14 左手の輪を外し、シャトル1 (ピンク) の輪を引き締めてリングの口を閉じます。



15 リングの口が閉じられました。リングの半分をシャトル1で、もう半分をシャトル2で作ったリングです。



16 シャトル1で、リングをさらに2つ作ります。最後は「ピコットつなぎ」(P.36) でリングをつなげます。



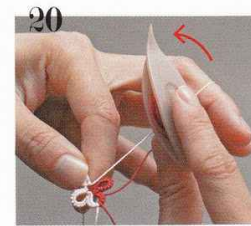
17 ここでシャトル1 (ピンク) を休ませ、天地を逆にし、シャトル2 (赤) でリングを1つ作ります。



18 シャトル2 (赤) でリングを1つ作りました。

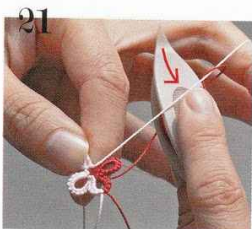


19 シャトル2 (赤) のリングを天地逆にして、シャトル1 (ピンク) でリングの半分を作ります。まずは1目作り、ピコットつなぎをした後、6目作ります。

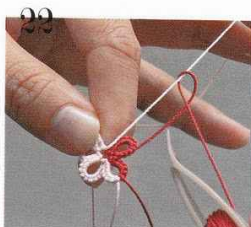


20 手の形を「3」にし、シャトル2 (赤) でリングを「裏目」から作ります。写真は、左手の輪の上にシャトルを通していているところです。

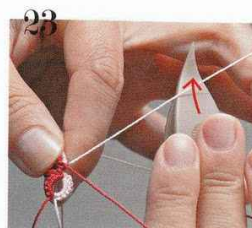




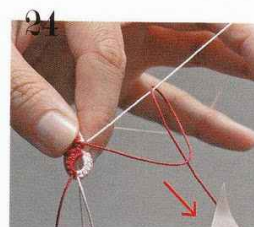
左手の輪の下を通し、シャトル側の糸の上に引き抜き、そのまま引っ張ります。



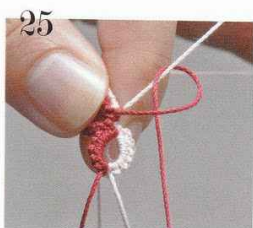
ここで「裏目」は、結び目を移しません。左手側の糸にシャトル2の「赤い糸」が巻き付きます。



そのまま結び目を引き締めて、モチーフの付け根(中心部)に寄せます。続けて「表目」を作ります。



右手の甲に糸をかけたなら、左手の輪の下をくぐらせて、上を通してシャトルを引き抜き、そのまま引っ張ります。



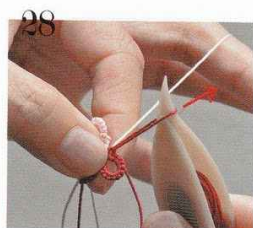
このとき「表目」は、結び目を移しません。



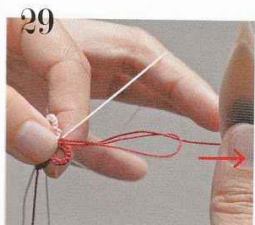
1つ前の、シャトル2(赤)で作ったリングの付け根にあるピコットと「ピコットつなぎ」(P.36)をします。



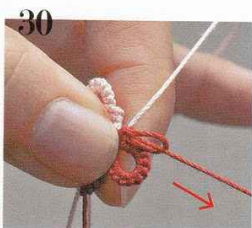
1つ前のリング(赤)のピコットにシャトルの角を差し込み、シャトル側の糸を拾います。



シャトルが通るくらい、引っ張り出します。



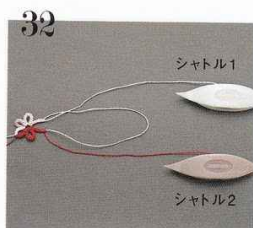
引っ張り出した糸にシャトルを通し、引き締めます。



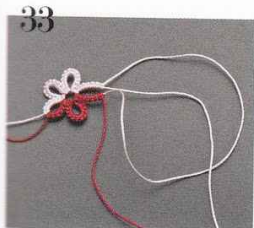
ピコットつなぎができました。



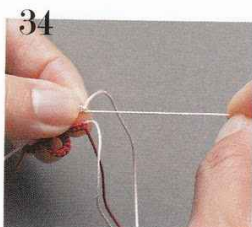
続けて「裏目」から、結び目を移さずに6目作ります。



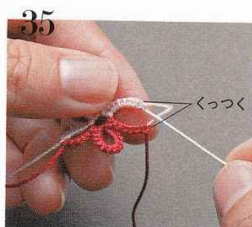
シャトル2(赤)で「1目、ピコットつなぎ、6目」を作り終わった状態です。



シャトル1(ピンク)の先端をシャトル2(赤)の先端にくっつけば、2色のお花に。



最後の結び目を持ち、シャトル1(ピンク)の芯糸を引き締め、リングの口を閉じます。



最後の結び目がくっつきます。



2色使いのスプリット・リングのお花ができました。これをくり返して、5枚花びらが5つつながったサークルにしていきます。最後は裏側でシャトル1(ピンク)の糸はピンク同士、シャトル2(赤)の糸は赤同士でこま結びし、糸始末します。



# 青い小花のドイリー

(P.27)

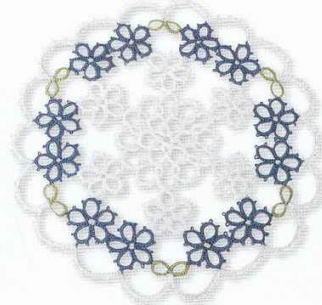
(シャトルつなぎ)

【シャトルと糸玉は…1、2段目は  3段目は  4段目は  5段目は  】

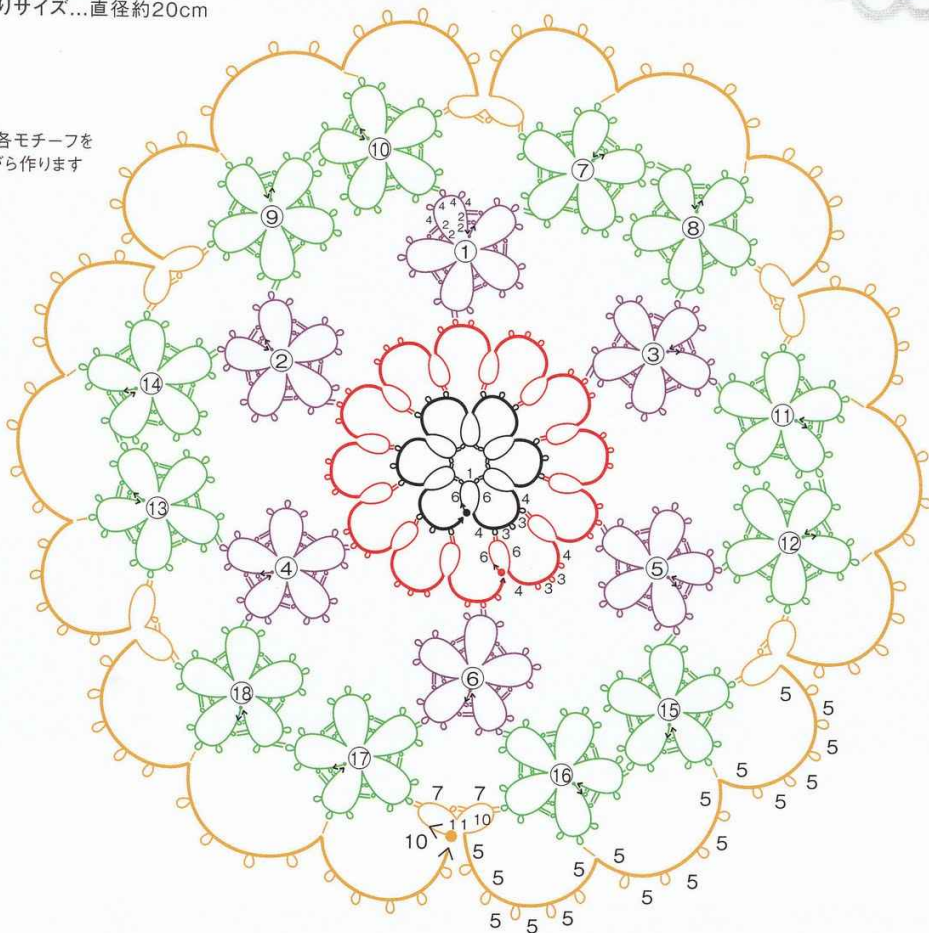
\*使用糸…《1・2・3段目》#30 葵 白(1)、《4段目》青(7)、《5段目》白(1)、若草色(6)

\*道具…シャトル1個

\*できあがりサイズ…直径約20cm



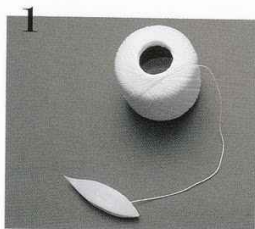
番号順に各モチーフを  
つなげながら作ります



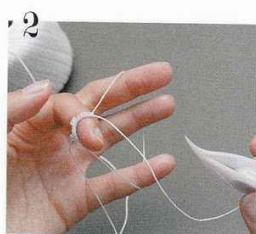
## 手順

- 1 「6目、ピコット、1目、ピコット、6目」のリングを作り、天地を逆にし、「4目、ピコット、3目、ピコット、3目、ピコット、4目」のチェーンを作ります。リングをつなげながら6枚花びらのお花を作り、●印にシャトル側の芯糸を通して裏側でこま結びし、糸始末をしたら1段目の完成です。
- 2 1段目のチェーンに、「6目、ピコットつなぎ、6目」のリングをつなげながら、「4目、ピコット、3目、ピコット、3目、ピコット、4目」のチェーンを作り、全部で12回くり返して2段目を作ります。最後の糸始末は1と同様です。
- 3 3段目は「作り方図」の通りに、2段目のチェーンに小花をつなげていきます。各小花はそれぞれ裏側でこま結びをし、糸始末します。
- 4 4段目も3と同様に小花をつなげます。糸始末も3と同様です。
- 5 5段目は、青い小花の間に双葉をつなぎます。P.50～51の「24～34」の作り方を参照して双葉を作り、続けてチェーンを作り、シャトルつなぎをしながら1周作ります。最後は●印でシャトル側の芯糸と、糸玉の糸をそれぞれ裏でこま結びして、糸始末をします。





中央のお花のモチーフから作っていきます。シャトルと糸玉はつながった状態にします。



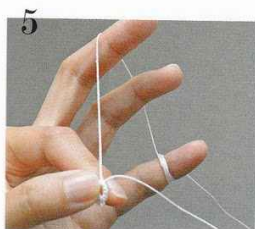
「6目→ピコット→1目→ピコット→6目」と作ったところまで。



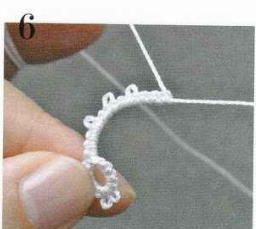
左手にかけている輪を外し、シャトルの芯糸を引っ張って、リングの口を閉じます。



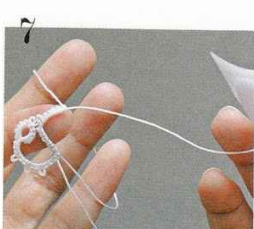
リングの天地を逆さにして、持ち直します。左側が糸玉の糸です。



リングの口を持ち、糸玉の糸を左手にかけて、左手小指に5～6回巻き付けます。



リングと天地逆さになるようにチェーンの弧を作ります。

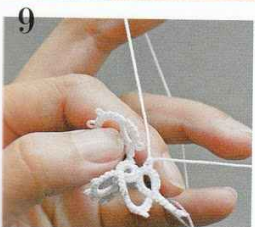


再び天地を逆さにしてピコットつなぎをしながらリングを作ります。



リング→天地を逆にしてチェーン→天地を逆にしてリングを作った状態です。リングをつなげながら、6枚花びらのお花を作ります。

### 最後の糸始末 (お花になる前の糸始末)



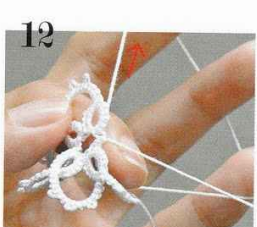
最後は、6つ目のリングを1つ目のリングのピコットにつなぎます。モチーフを中表に折り、ピコットの後ろにこれからつなげたい左手にかけている輪の糸を沿わせず。



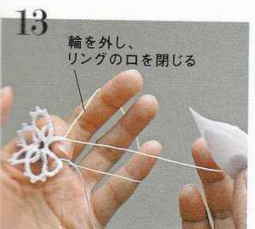
シャトルの角を1つ目のリングのピコットに差し込み、後ろにある左手にかけている輪の糸を拾います。



このとき拾うのは、左手にかけている糸です。



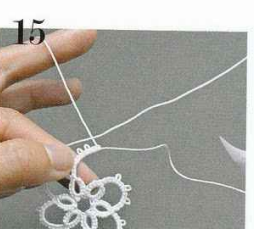
引っ張り出した輪にシャトルを通し、結び目を締めます。これで「ピコットつなぎ」ができました。



残りの6目を作ったら、左手にかけて輪を外し、シャトルの芯糸を引っ張って、リングの口を閉じます。



6つ目のリングができました。

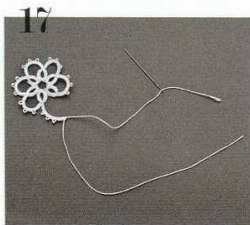


モチーフの天地を逆にして持ち、最後のチェーンを作ります。

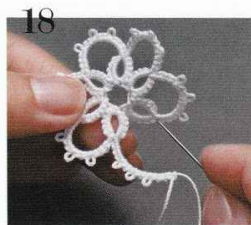


「4目、ピコット、3目、ピコット、3目、ピコット、4目」を作り、最後のチェーンができました。モチーフを表に返して、糸を2本とも15cmくらい残してハサミで切ります。

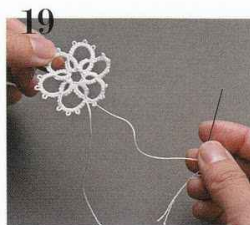




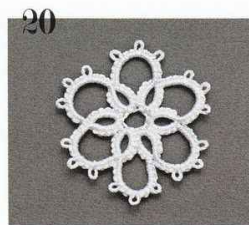
シャトル側の糸(芯糸)に針を通します。



1つ目のリングとチェーンのつなぎ目に針を刺し込みます。

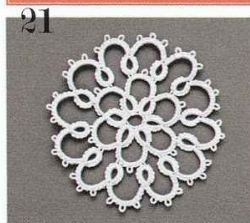


最後のチェーンがつながりました。裏側でこま結びをして、2本とも、結び目に糸端を縫い込んで隠します。

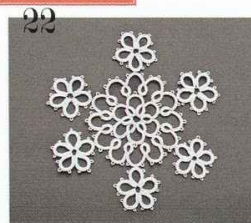


6枚花びら(リングとチェーンが6つ)のお花ができました。1段目の完成です。

### 外側を「リング+チェーン」でつなげる



中心部のお花ができたなら、その外側をリングはピコットつなぎでつなぎ、続けてチェーンを作り、それを全部で12回くり返します。2段目の完成です。



3段目は小花を6つ、写真のようにピコットにつなぎます。



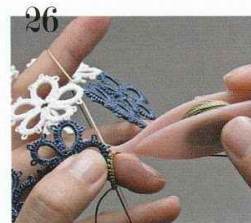
4段目は、小花の外側2箇所、青い小花をピコットでつなぎ、隣り合う青い小花同士もピコット1箇所ずつつなぎます。



5段目を作ります。まず双葉を作るため、シャトルに#30若草色(6)を巻きます。そのあとのチェーン用に#30白(1)の糸玉も用意します。



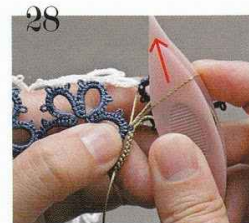
シャトルに巻いた若草色の糸で10目作ったら、これからつなげたい青い小花のピコットの後ろに、左手の糸を沿わせませす。



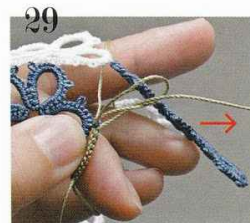
シャトルの角をピコットに差し込み、後ろに沿わせたい糸(若草色の糸)を拾います。



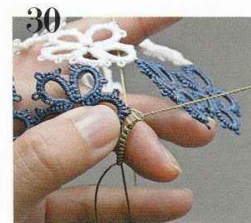
シャトルが通るくらい引っ張り出します。



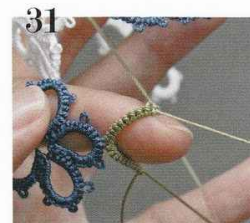
引っ張り出した輪にシャトルを通します。



シャトルを引き、結び目を締めます。



青い小花のピコットと、若草色の双葉の結び目がつながりました(=ピコットつなぎ)。



続けて7目作り、ピコットを作ります。



左手の輪を外し、シャトル側の糸(芯糸)を引いてリングの口を閉じます。

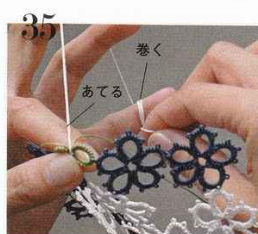




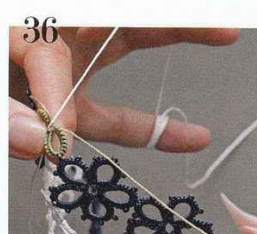
もう1枚、双葉のリングを作ります。1目のあとピコットをつなぎ、7目作ったら青い小花のピコットとつなぎます。



2枚目のリング(双葉)が作り終わったらリングの口を閉じます。



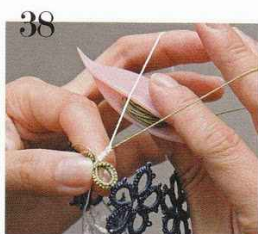
白い糸玉を用意します。双葉とモチーフを天地逆にして持ち、双葉の間に白糸をあて、左手にかけて小指に巻きます。



シャトルの若草色の糸を、双葉の間の裏側にあて、左手で押さえます。



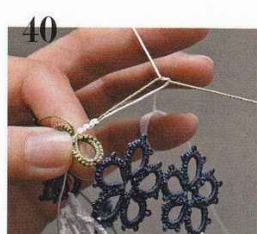
若草色の糸でチェーンの部分を作ります。ここでは結び目が左手にかけている白い糸になります。



ダブルステッチでチェーンの部分を作っていきます。



ダブルステッチで結び目を作り進めているところです。チェーンの途中にある「飾りのピコット」も忘れずに作りましょう。



結び目を移すと、白い糸がチェーンの結び目となります。若草色の糸は芯糸となり、表には出てきません。

### シャトルつなぎ



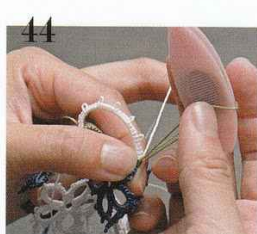
チェーンを作ったら、青い小花のピコットにシャトルの角を差し込み、つなぎます。



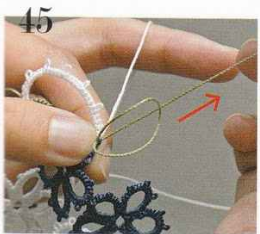
ピコットに差し込んだシャトルの角で、後ろにある若草色の糸(芯糸=シャトルの糸)を拾います。  
※シャトルの糸をつなげるので「シャトルつなぎ」と言います。



シャトルが通るくらいまで、引っ張り出します。



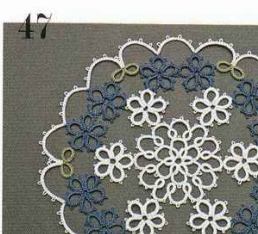
引っ張り出した若草色の糸の輪に、シャトルを通します。



輪を引き締めて、結び目をつなぎます。



35～45をくり返し、一番外側を1周、リングとチェーンでつなげていきます(41～46をシャトルつなぎと言います)。



最後の糸始末は、こま結びをして、針でつなぎ目に縫い込み、糸端が見えないようにします。これでできあがりです。





## 雪の結晶 (a)

(P.7)

【シャトルと糸玉は…】

\*使用糸…ピアス…#30 葵 白(1)、  
くるみボタン…#40 紫野 サーモンピンク(4)、  
ピンク(6)、緑(10)、すみれ色(14)

\*その他の材料…ピアスパーツ1組(金古美)、  
くるみボタン4個(黒)、布用ボンド

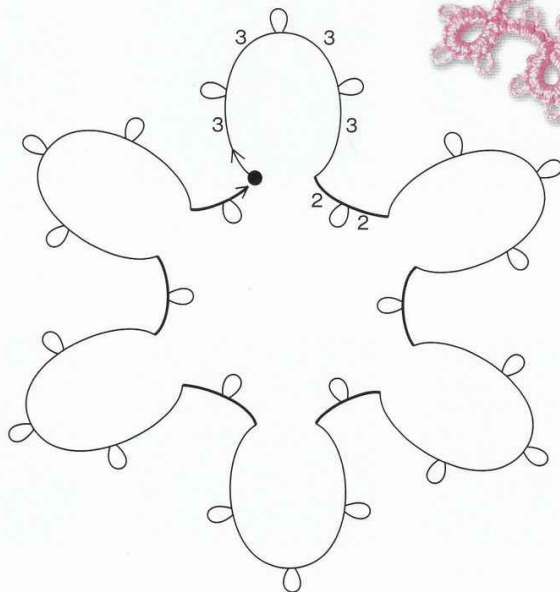
\*道具…シャトル1個

\*できあがりサイズ…#30直径約3.3cm

#40直径約2.5cm

### 手 順

- 1 「3目、ピコット、3目、ピコット、3目、ピコット、3目」のリングを作ります。
- 2 天地を逆にし、「2目、ピコット、2目」のチェーンを作ります。
- 3 1～2をくり返して、リング6つ、チェーン6つの雪の結晶モチーフに仕上げます。
- 4 最後はシャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目に通して、裏側で糸始末します(P.50の18～19参照)。
- 5 ピアスにする場合はピアスパーツを付け、くるみボタンにする場合は布用ボンドで貼ります。



## シャトルつなぎで作る お花 (a)

(P.8)

【シャトルと糸玉は…】

\*使用糸…#40 紫野 サーモンピンク(4)

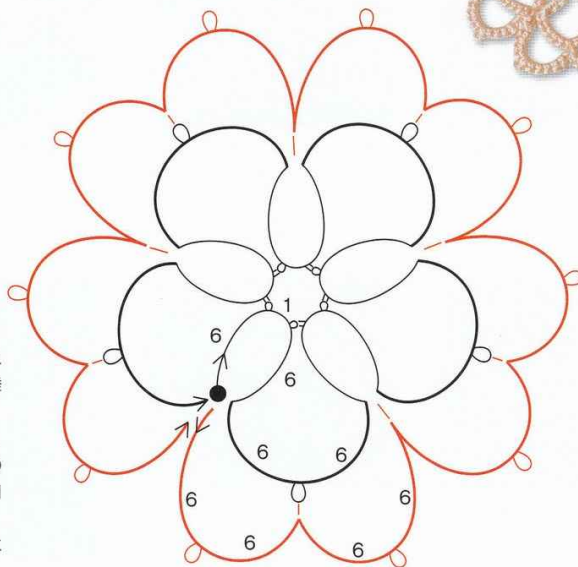
\*その他の材料…ストラップパーツ1組(シルバー)、  
丸カン1個

\*道具…シャトル1個

\*できあがりサイズ…直径約3.2cm

### 手 順

- 1 「6目、ピコット、1目、ピコット、6目」のリングを作ります。
- 2 天地を返して「6目、ピコット、6目」のチェーンを作り、これを全部で5回くり返します。2つ目以降のリングは、隣のリングのピコットとつなぎます。
- 3 ●印でチェーンの糸をシャトルつなぎし、2段目に移ります。
- 4 2段目は、●から「6目、ピコット、6目」と作り、チェーンのピコットとシャトルつなぎでつなげていきます。これを一周くり返します。
- 5 最後はシャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目に通して、裏側で糸始末します(P.50の18～19参照)。
- 6 お好みの箇所に丸カンを付け、ストラップにします。







(P.9)

## シャトルつなぎで作る お花 (b)



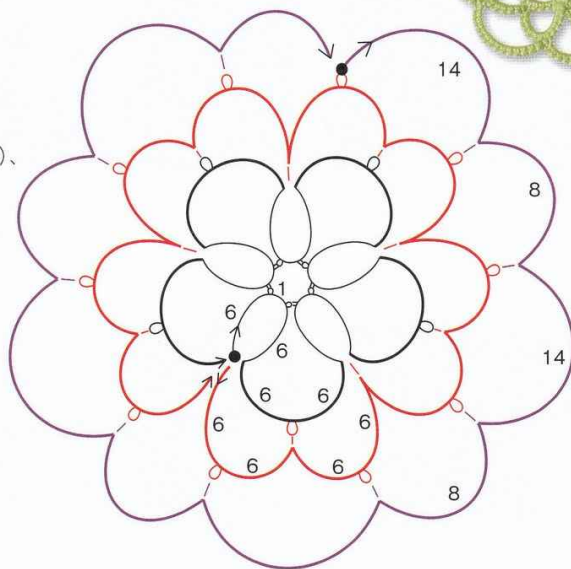
【シャトルと糸玉は…】



- \*使用糸...#40紫野 黄緑(9)、ピンク(6)、白(1)
- \*その他の材料...ネックレストップパーツ1個(金古美)、丸カン1個、テグスカ透明ミシン糸
- \*道具...シャトル1個
- \*できあがりサイズ...直径約4cm

### 手順

- 1 1段目～2段目は5の作品の作り方と同様です。
- 2 3段目は●からシャトルつなぎで、2段目のピコットにつなぎます。「14目、シャトルつなぎ、8目、シャトルつなぎ」のチェーンを1周くり返します。
- 3 最後はシャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側で糸始末します(P.50の18～19参照)。
- 4 お好みの箇所に丸カンでネックレスパーツを付けたら、左右2箇所に「5 シャトルつなぎで作るお花(a)」をテグスカ透明ミシンで付けます。



(P.8)

## 雪の結晶のアレンジモチーフ



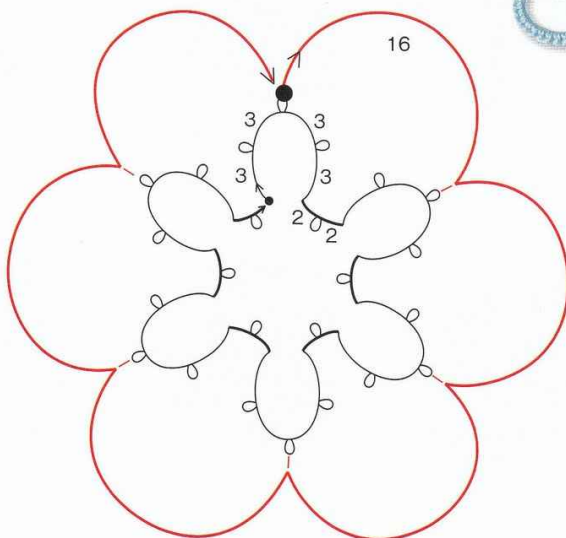
【シャトルと糸玉は…】



- \*使用糸...#40紫野 水色(12)
- \*その他の材料...ストラップパーツ(79-544)
- \*道具...シャトル1個
- \*できあがりサイズ...直径約3.4cm

### 手順

- 1 4の作品を作ります。
- 2 2段目は●印からシャトルつなぎでつなぎます。「16目、シャトルつなぎ」のチェーンを1周くり返します。
- 3 最後はシャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側で糸始末します(P.50の18～19参照)。
- 4 お好みの箇所に丸カンを付け、ストラップにします。







(P.9)

## ひし形 (a)

【シャトルと糸玉は…】

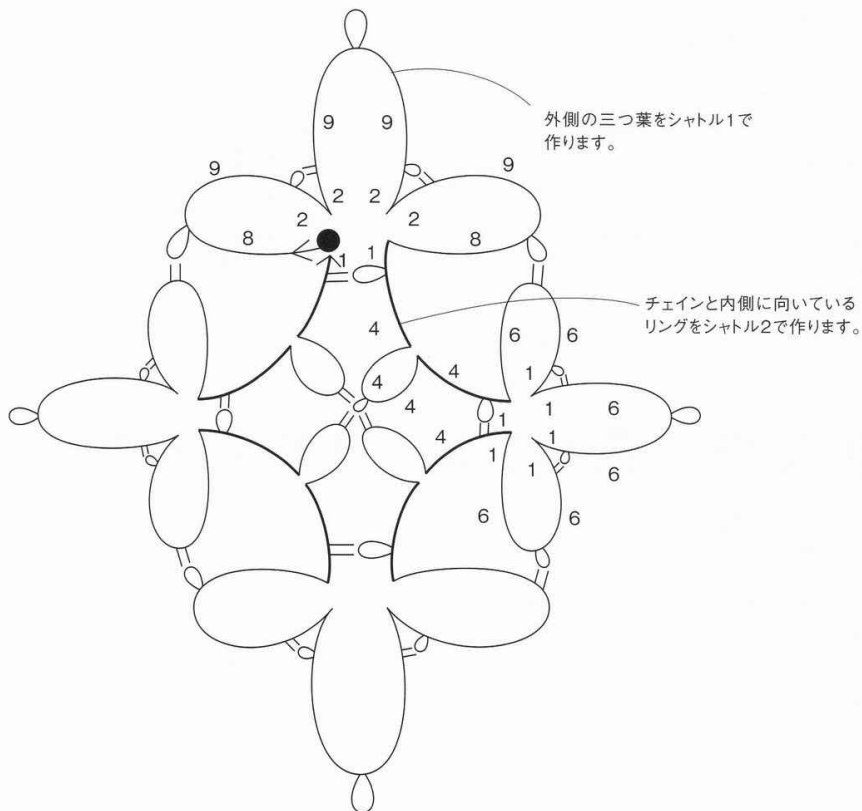


\*使用糸...#40紫野 ページュ(3)

\*その他の材料...ピアスパーツ1組(金古美)

\*道具...シャトル2個

\*できあがりサイズ...縦幅約4.2cm横幅約3.6cm

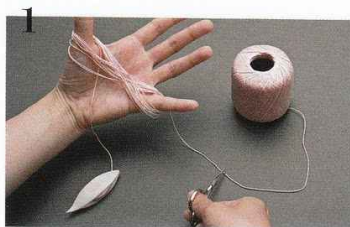


### 手順

- 1 シャトル1で三つ葉部分(リング3つ)をピコットつなぎをしながら作ります。
- 2 天地を逆にし、シャトル2で、チェーン部分と、内側に向いているリングを作ります(内側1つ目のリングは4目のあとにピコットを作ります)。
- 3 1~2を「作り方図」の目数通りにくり返します。チェーンの付け根はピコットつなぎで連結し、内側のリングはピコットつなぎで1つ目のリングで作ったピコットに、残り3つのリングをつなげます。
- 4 最後はシャトル1の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側で糸始末します。
- 5 ピアスパーツを、ピコットとリングに通すようにして付けます。



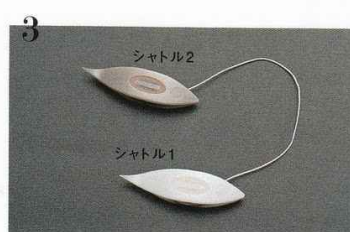
・シャトル2個が1本の糸でつながっている状態で作るとき



1つ目のシャトル(白)に十分に糸を巻き、つながった糸を左手に15巻くらい取り、糸玉からカットします。

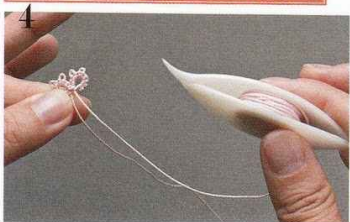


カットした方の糸端を2つ目のシャトル(茶)に結びます。これで2つのシャトルが1本の糸でつながりました。



2つ目のシャトル(茶)に、左手に巻き取った糸を巻きます。P.29「シャトル2個が1本の糸でつながっている」状態です。

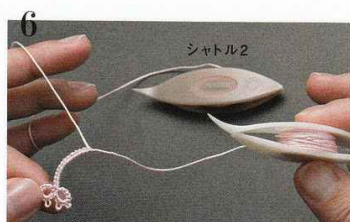
チェーンの途中で作るリング



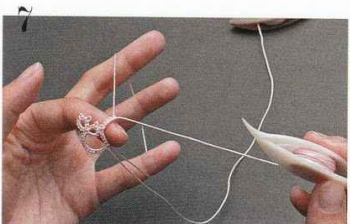
シャトル1(白)でリングを2つ作りしました。



リングの天地を逆にして持ち直し、シャトル2(茶)の糸を左手にかけ、小指に巻きつけます。



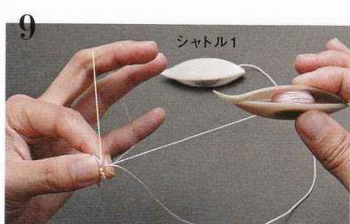
シャトル2(茶)の糸が左手にかかっている状態で、シャトル1(白)でチェーンを作ります。シャトル1の糸が芯糸となり、シャトル2の糸がそれに巻き付きます。



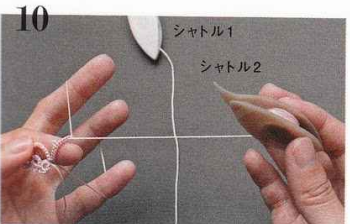
再び天地を返して(リングを上にして持つ)、先ほど作ったリングとピコットをつなぎをしながら、リングを1つ作ります。



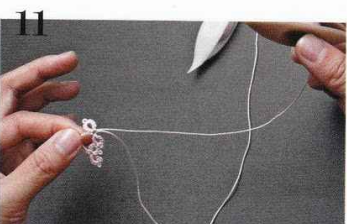
チェーンのあとにリングが1つできました。



シャトル1を休ませ、再びモチーフの天地を逆にして持ち、今度はシャトル2(茶)でリングを作ります。



シャトル2(茶)でリングを作っているところです。



シャトル2(茶)でリングを作ったら、リングの口を閉じます。



再びシャトル2(茶)を左手にかけ、右手にシャトル1(白)を持ち、その先のチェーンを作ります(6と同様)。6～11をくり返していきます。



## 9 立体お花の飾り (a)

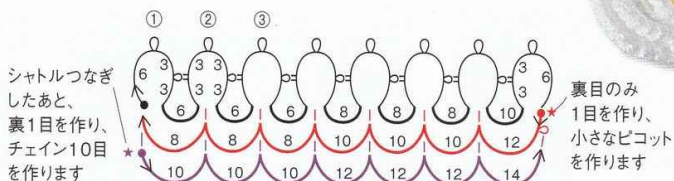
(P.10)

【シャトルと糸玉は…】



- \*使用糸...#30 葵 白(1)、  
花の芯...#40 紫野 黄(8)
- \*その他の材料...クロスステッチ針、  
クリップパーツ1個(シルバー)、  
テグスカ透明ミシン糸
- \*道具...シャトル1個
- \*できあがりサイズ...直径約2.5cm 高さ約1.4cm

※実際には作っているとカーブがかかってくると思いますが、  
ここでは分かりやすいように横一列に書いています。



<立体にする方法>

②のリングのピコットに針を入れて①から出します。  
次に③に入れて②から出す、というように、リングを丸めながら  
向かい合ったピコットに糸を通し、丸めた状態を固定します。



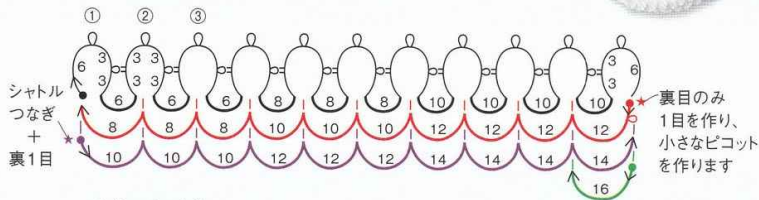
## 9 立体お花の飾り (b)

(P.10)

【シャトルと糸玉は…】



- \*使用糸...#30 葵 白(1)  
花の芯...#40 紫野 黄(8)
- \*その他の材料...クロスステッチ針、  
クリップパーツ1個(シルバー)、  
テグスカ透明ミシン糸
- ※クリップパーツを固定するときは、  
テグスカ透明ミシン糸で付けてください。
- \*道具...シャトル1個
- \*できあがりサイズ...直径約2.8cm  
高さ約1.5cm



<立体にする方法>

「立体お花の飾り(a)」と同様です。



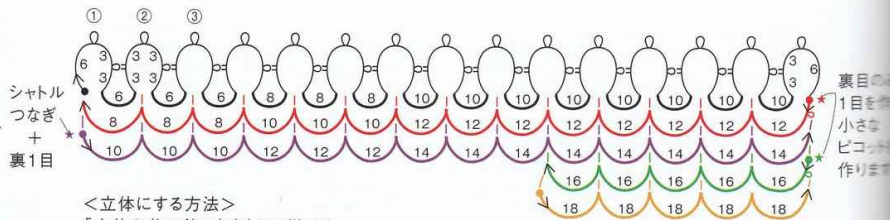
## 10 立体お花の指輪

(P.11)

【シャトルと糸玉は…】



- \*使用糸...#30 葵 白(1)  
花の芯...#40 紫野 黄(8)
- \*その他の材料...クロスステッチ針、  
指輪の台座1個(金古美)、  
瞬間接着剤
- ※モチーフと指輪の台座は瞬間接着剤などで  
固定してください。
- \*道具...シャトル1個
- \*できあがりサイズ  
...直径約3.5cm 高さ約1.7cm



<立体にする方法>

「立体お花の飾り(a)」と同様です。

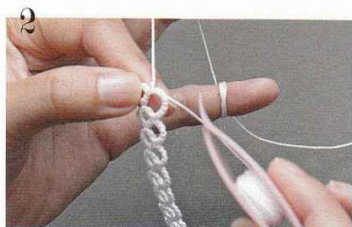




・9(a、b)、10 立体お花



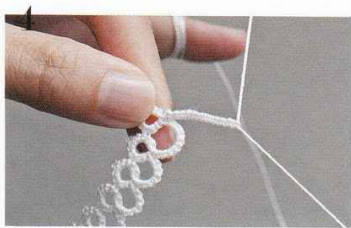
写真では、9(a)の作り方を紹介します。「リング→天地逆さにしてチェーン」を8回くり返します。



写真のような向きに持ち替えて、裏目だけを1目作り、続けて小さなピコットを作ります。



裏目を作るために、シャトルを左手の糸の上に通しているところです。



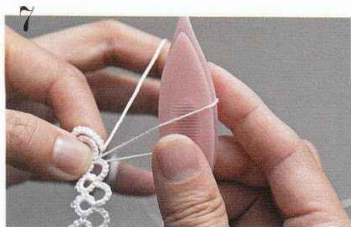
ピコットを1目分と数えて、そのままチェーンを12目作ります。



リングとチェーンのつなぎ目で、シャトルつなぎをします。かぎ針などで結び目の向こうにあるシャトルの糸を拾います(この工程では、かぎ針があると便利です)。



1段目のリングとチェーンのつなぎ目にかぎ針を差し込んで、向こう側のシャトルの糸を拾ったところ です。



結び目から糸を引き出し、シャトルつなぎをします。これをくり返します。3段目は裏返しにして作ります。最後は最初に作ったピコットにつなげ、裏側でこま結びをし、糸始末します。



左から、9(a)、9(b)、10(指輪用)を作り終えた状態。長くなるとカーブがかかってきます。



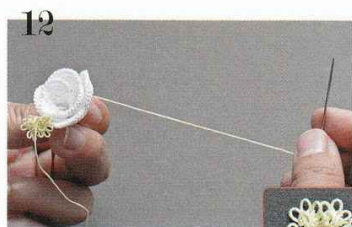
「作り方図」に書かれた②のリングのピコットに糸を通した針を入れ、向かい合ったピコット(巻き始めは①のリングのピコット)に通し、モチーフを巻きながら立体に固定していきます。



写真はわかりやすいように赤い糸で立体にしていますが、実際はモチーフと同色の糸を使います。縫いつなげながら、左手でモチーフを巻いています。



根元でこま結びをし、糸始末をします。



「31 あまり糸で作る小さな花束(作り方P.44)」の作り方を5回くり返して、輪にした花の芯を作り、立体お花の中心に針で差し込みます。裏側でこま結びをし、糸始末をします。



花の芯





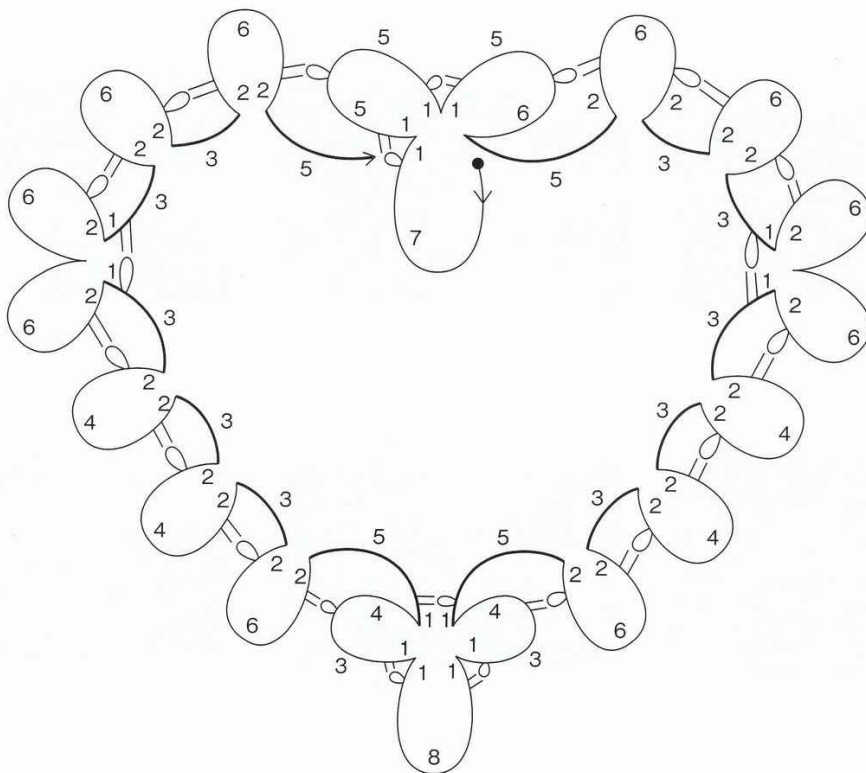
【シャトルと糸玉は… 】

\*使用糸...#30 葵 赤(9)

\*その他の材料...かぶとピン1個(大／金古美)、丸カン1個(金古美)

\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...横幅約4.5cm



## 手 順

- 1 「7目、ピコット、1目」のリングを作り、続けて「1目、ピコットつなぎ、5目、ピコット、5目、ピコット、1目」のリングを作り、続けて「1目、ピコットつなぎ、5目、ピコット、6目」のリングを作り、三つ葉の形にします。
- 2 天地を逆にして、チェーンを5目作ります。
- 3 天地を戻して「2目、ピコットつなぎ、6目、ピコット、2目」のリングを作ります。
- 4 1〜3を「作り方図」の通りに目数を変えながらくり返し、ハート型にします。
- 5 最後の糸始末は、シャトル側の芯糸を針に通したら、最初のピコットに通して、裏側でこま結び、糸端を縫い目に縫い込み隠します。(P.50の18〜19参照)。
- 6 お好みの箇所に丸カンを付け、かぶとピンに付けます。



13

## ひし形 (b)

(P.12)



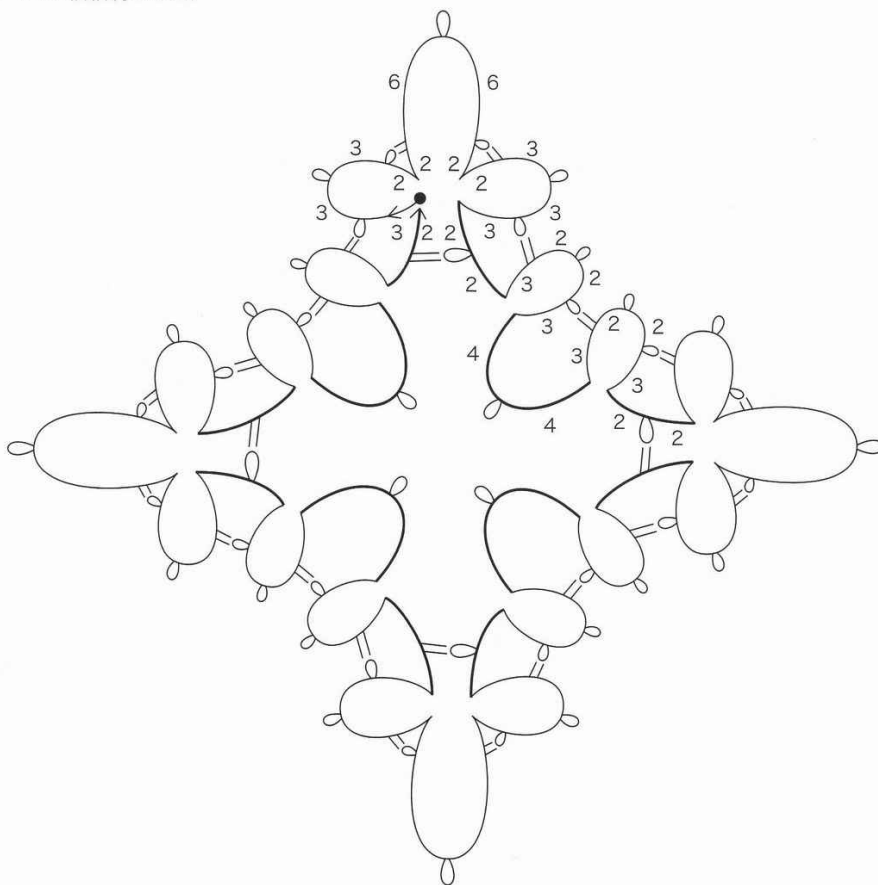
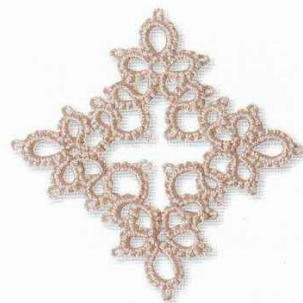
【シャトルと糸玉は…】

\*使用糸...#30葵 ベージュ(3)

\*その他の材料...かぶとピン1個(大/金古美)、丸カン1個(金古美)

\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...横幅約5.6cm



## 手 順

- 1 「3目、ピコット」を3回くり返し、最後は2目にしてリングを作ります。
- 2 「2目、ピコットつなぎ、6目、ピコット、6目、ピコット、2目」のリングを作ります。
- 3 「2目、ピコットつなぎ、3目、ピコット、3目、ピコット、3目」のリングを作ります。
- 4 天地を返して、チェーンを「2目、ピコット、2目」と作ります。
- 5 「作り方図」の通りに目数を変えながら、リング→チェーンをくり返し作り、四角形にします。
- 6 最後はシャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側で糸始末します(P.50の18~19参照)。
- 7 お好みの箇所に丸カンを付け、かぶとピンに付けます。



(P.13)

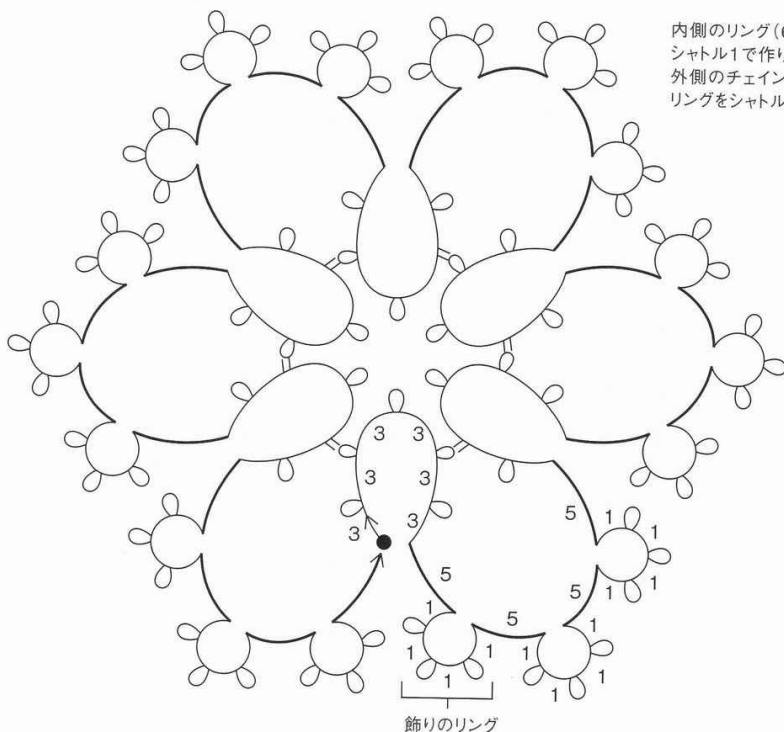
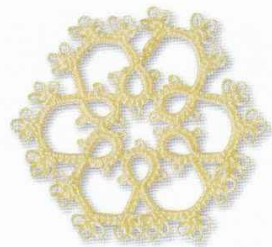
【シャトルと糸玉は…】

\*使用糸…#40紫野 黄(8)

\*その他の材料…帽子、縫い針、縫い糸

\*道具…シャトル2個

\*できあがりサイズ…直径約4.7cm



内側のリング(6つ)は  
シャトル1で作成、  
外側のチェーンと飾りの  
リングをシャトル2で作ります。

### 手順

- 1 シャトル1で「3目、ピコット」を5回くり返し、最後は3目にし、リングを作ります。
- 2 天地を逆にして、シャトル2で「チェーン5目、飾りのリング」を3回くり返して作り、最後はチェーン5目作ります。
- 3 1～2を全部で6回くり返して、円形モチーフに仕上げます。内側のリングは途中でピコットつなぎをしながら、つなげます。
- 4 最後はシャトル1の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側で糸始末します。
- 5 帽子に縫いつけます。

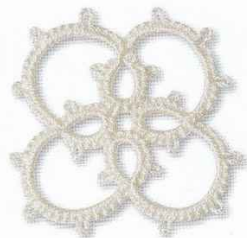


15-a  
(P.14)

## 4枚花びらのお花

15-b  
(P.14)

## 4枚花びらのお花をつなげたネックレス



【シャトルと糸玉は…】



\*使用糸...15-a...#30葵 オフホワイト(2)、15-b...#40紫野 オフホワイト(2)

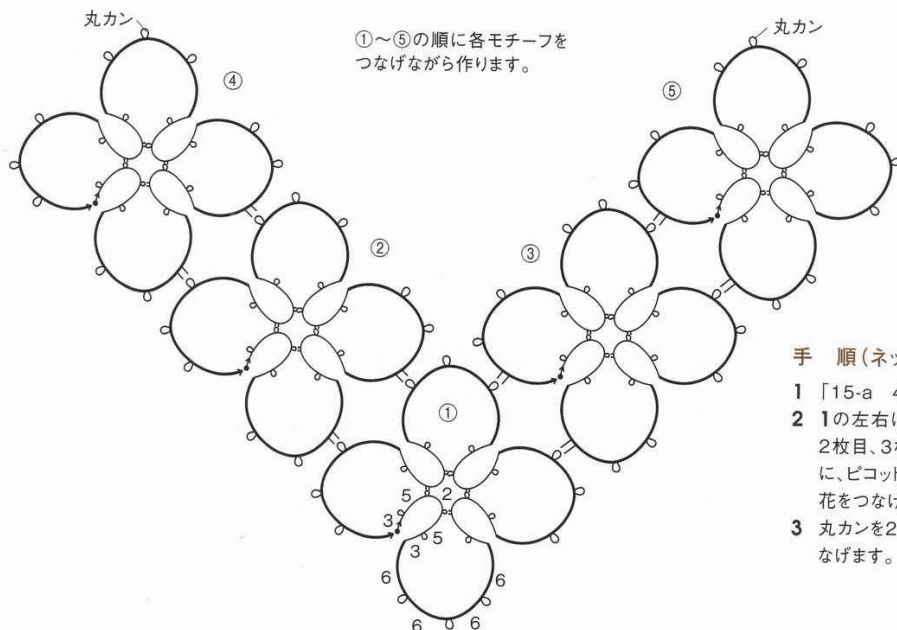
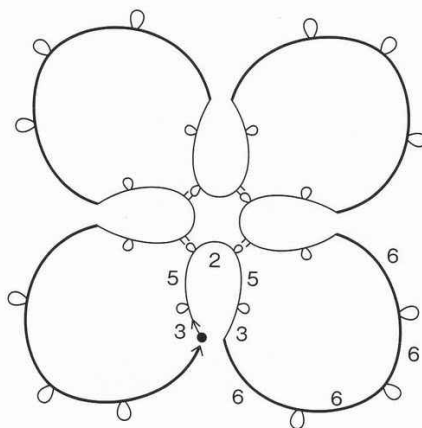
\*その他の材料...ネックレスパーツ1個(金古美)、丸カン2個(金古美)

\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...モチーフ…直径約4.5cm、ネックレス…横の長さ約11.5cm

### 手順(モチーフ)

- 1 「3目、ピコット、5目、ピコット、2目、ピコット、5目、ピコット、3目」のリングを作ります。
- 2 天地を逆にして「6目、ピコット」を3回くり返し、最後は6目のチェーンを作ります。
- 3 1～2を全部で4回くり返して、4枚花びらのお花にします。内側のリングは途中でピコットつなぎをしながら、つなげます。
- 4 最後はシャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側で糸始末します(P.50の18～19参照)。



### 手順(ネックレス)

- 1 「15-a 4枚花びらのお花」を1枚作ります。
- 2 1の左右に1枚ずつ、ピコットつなぎ2箇所です2枚目、3枚目のお花をつなげます。同じように、ピコットつなぎ2箇所です4枚目、5枚目のお花をつなげると、V字になります。
- 3 丸カンを2箇所につけ、ネックレスパーツをつなげます。



16-a  
(P.15)

# 5枚花びらのお花

16-b  
(P.15)

# 5枚花びらのお花をつなげたネックレス



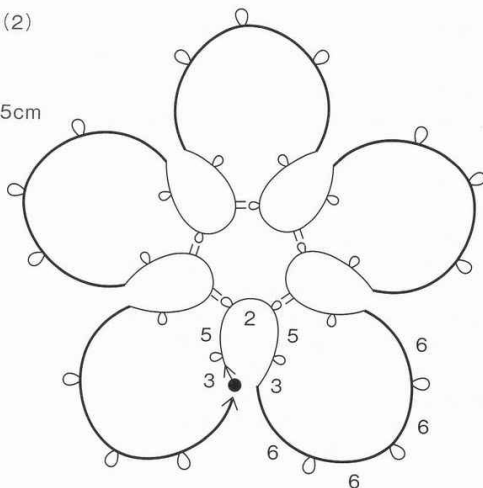
【シャトルと糸玉は…】



- \*使用糸...16-a...#30葵 オフホワイト(2)、16-b...#40紫野 オフホワイト(2)
- \*その他の材料...ネックレスパーツ1個(金古美)、丸カン2個(金古美)
- \*道具...シャトル1個
- \*できあがりサイズ...モチーフ…直径約4.7cm、ネックレス…横の長さ約13.5cm

## 手順(モチーフ)

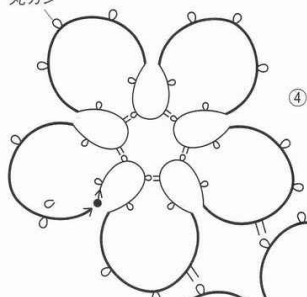
- 1 「3目、ピコット、5目、ピコット、2目、ピコット、5目、ピコット、3目」のリングを作ります。
- 2 天地を返して「6目、ピコット」を3回くり返し、最後は6目のチェーンを作ります。
- 3 1～2を全部で5回くり返して、5枚花びらのお花にします。内側のリングは途中でピコットつなぎをしながら、つなげます。
- 4 最後はシャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側で糸始末します(P.50の18～19参照)。



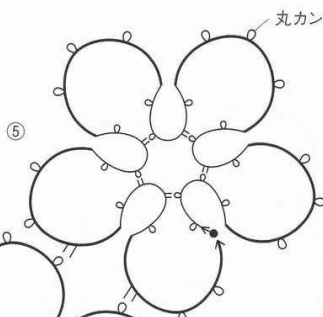
## 手順(ネックレス)

- 1 「16-a 5枚花びらのお花」を1枚作ります。
- 2 1の左右に1枚ずつ、ピコットつなぎ2箇所です2枚目、3枚目のお花をつなげます。同じように、ピコットつなぎ2箇所です4枚目、5枚目のお花をつなげ、ゆるやかな弧を作ります。
- 3 丸カンを2箇所につけ、ネックレスパーツをつなげます。

丸カン



①～⑤の順に各モチーフをつなげながら作ります。



丸カン



17-a

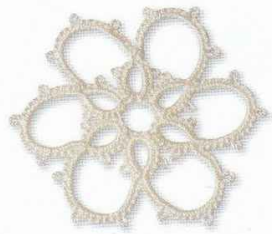
(P.15)

## 6枚花びらのお花(a)

17-b

(P.15)

## 6枚花びらのお花をつなげたネックレス



【シャトルと糸玉は…】



\*使用糸...17-a...#30葵 オフホワイト(2)、17-b...#40紫野 オフホワイト(2)

\*その他の材料...ネックレスパーツ1個(金古美)、丸カン2個(金古美)

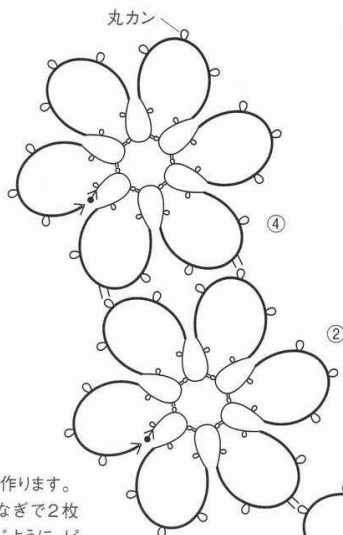
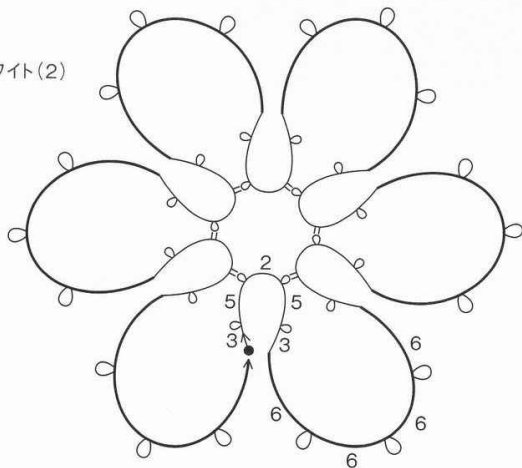
\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...モチーフ...直径約5.4cm、

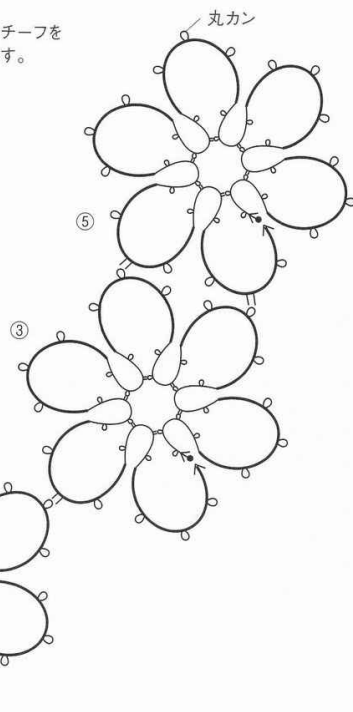
ネックレス...横の長さ約16.7cm

## 手順(モチーフ)

- 1 「3目、ピコット、5目、ピコット、2目、ピコット、5目、ピコット、3目」のリングを作ります。
- 2 天地を返して「6目、ピコット」を3回くり返し、最後は6目のチェーンを作ります。
- 3 1~2を全部で6回くり返して、6枚花びらのお花にします。内側のリングは途中でピコットつなぎをしながら、つなげます。
- 4 最後はシャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側で糸始末します(P.50の18~19参照)。



①~⑤の順に各モチーフをつなげながら作ります。



## 手順(ネックレス)

- 1 「17-a 6枚花びらのお花」を1枚作ります。
- 2 1の左右に1枚ずつ、ピコットつなぎで2枚目、3枚目のお花をつなげます。同じように、ピコットつなぎ2箇所まで4枚目、5枚目のお花をつなげ、ゆるやかな弧を作ります。
- 3 丸カンを2箇所につけ、ネックレスパーツをつなげます。



# 18 スクエア

(P.16)

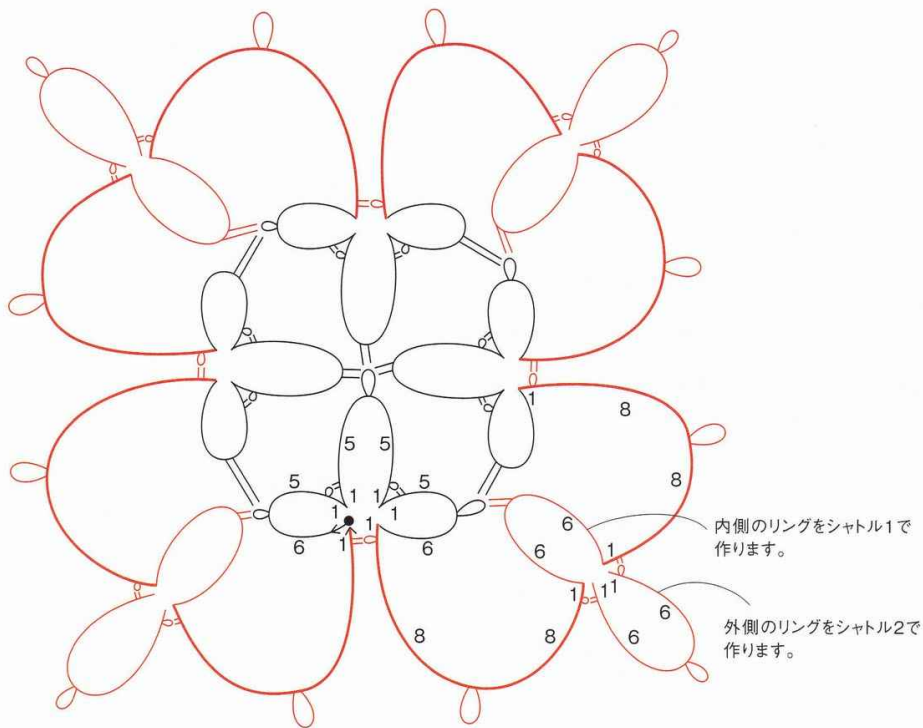
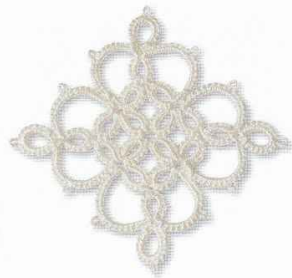
【シャトルと糸玉は…】

\*使用糸...#30 葵 オフホワイト(2)

\*その他の材料...革ひも1本(アイボリー)、丸カン1個(シルバー)

\*道具...シャトル2個

\*できあがりサイズ...横幅約7.1cm



## 手順

- 1 シャトル1で「作り方図」の目数通りに三つ葉を作ります。
- 2 天地を逆にして、シャトル2で「1目、ピコット、8目、ピコット、8目、ピコット、1目」のチェーンを作ります。
- 3 天地を逆にして、シャトル1で「6目、ピコットつなぎ、6目」のリングを作ります。
- 4 再び天地を戻して、シャトル2で「1目、ピコットつなぎ、6目、ピコット、6目、ピコット、1目」のリングを作ります。
- 5 シャトル2を左手にかけて、「1目、ピコットつなぎ、8目、ピコット、8目、ピコット、1目」のチェーンを作ります。
- 6 1の三つ葉リングにつなぎながら、2つ目の三つ葉をシャトル1で作っていきます。
- 7 1〜5をくり返し、スクエア型にします。最後はシャトル1の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して裏側でこま結びし、糸始末します。
- 8 お好みの箇所に(または、先端のピコットに)丸カンを付け、革ひもとつながげます。



20

## 4 連 ス ク エ ア

(P.17)

【シャトルと糸玉は…】



\*使用糸…#30 葵 オフホワイト(2)

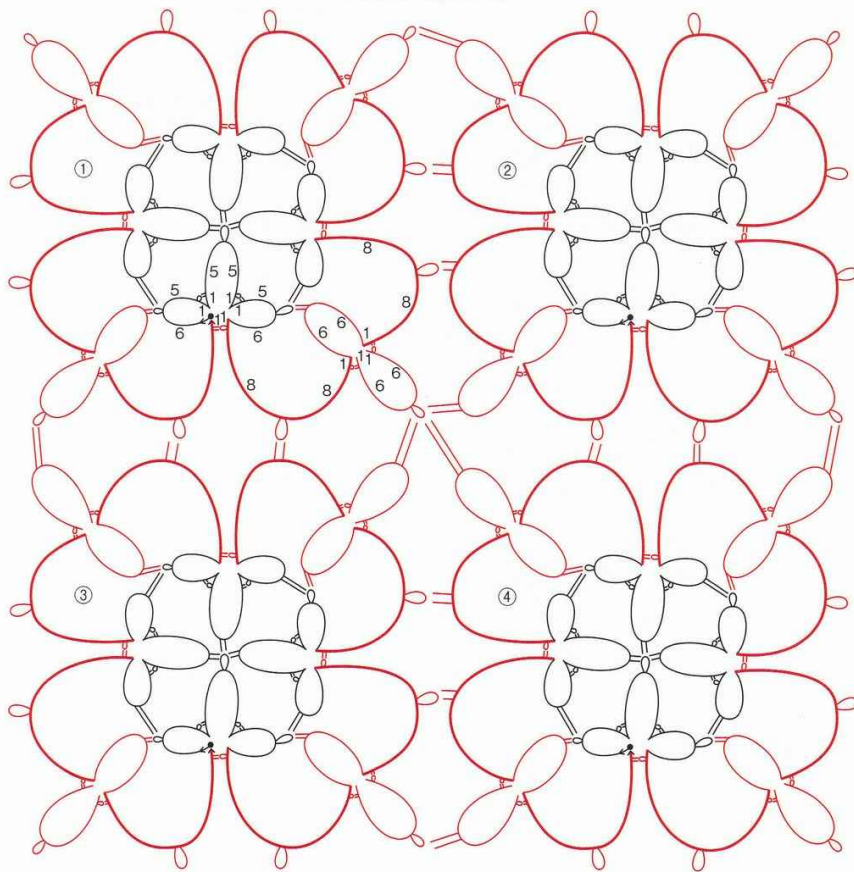
\*その他の材料…フレンチリネンのミニバッグ、布用ボンド

\*道具…シャトル2個

\*できあがりサイズ…横幅約10.1cm 対角の長さ約14cm



①～④の順に各モチーフをつなげながら作ります。



## 手 順

- 1 「18 スクエア」(作り方はP.64を参照)を1つ作ります。
- 2 1の横と下に、1を作りながら、ピコット4箇所をつなげます。
- 3 2で作った2枚につなげるように、もうひとつ1を作り、つなげます。
- 4 ミニバックに布用ボンドで貼ります。



# 19 雪の結晶 (b)

(P.16)

【シャトルと糸玉は…】

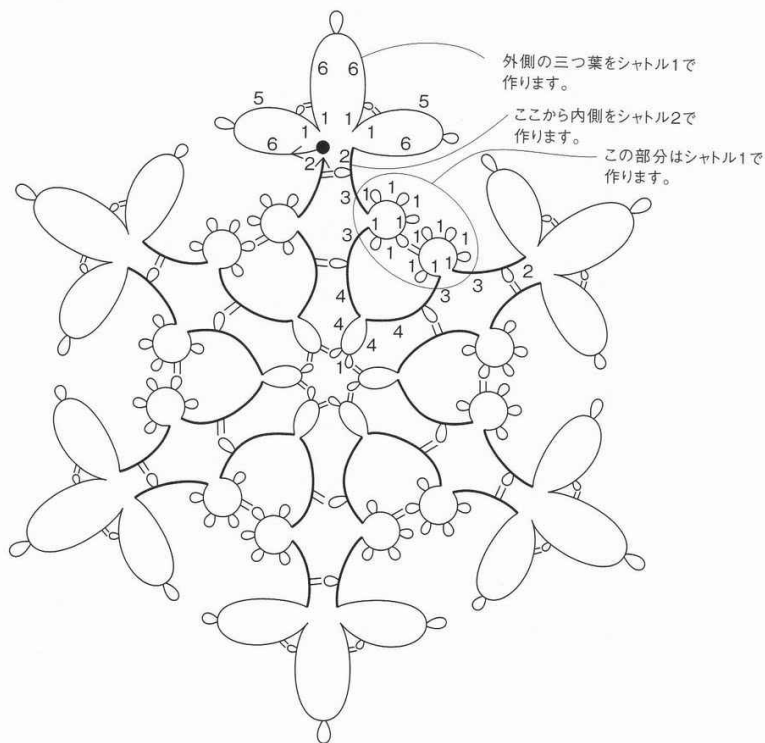


\*使用糸…#40紫野 オフホワイト(2)

\*その他の材料…革ひも1本(アイボリー)、丸カン1個(シルバー)

\*道具…シャトル2個

\*できあがりサイズ…一番長いところの長さ約5.6cm



## 手順

- 1 シャトル1で「作り方図」の目数通りに三つ葉を作ります。
- 2 天地を逆にし、シャトル2で「2目、ピコット、3目」のチェーンを作ります。
- 3 天地を返し、シャトル1で「1目、ピコット」を5回くり返してリングにします。
- 4 天地を返し、シャトル2で「3目、ピコット、4目」のチェーンを作ります。
- 5 続けて「4目、ピコット、1目、ピコット、4目」のリングを作ります。リングができたら残りのチェーンを作り、シャトル1で「1目、ピコット」を5回くり返してリングを作り、3のピコットにピコットつなぎで1箇所つなぎます。残りの「3目、ピコット、2目」のチェーンも作ります。
- 6 2～5をくり返し、雪の結晶に仕上げていきます。
- 7 最後はシャトル1の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して裏側でこま結びし、糸始末します。
- 8 お好みの箇所に(または、三つ葉の中央リングの先端ピコットに)丸カンを付け、革ひもとつなぎます。





# もこもこお花

(P.13)

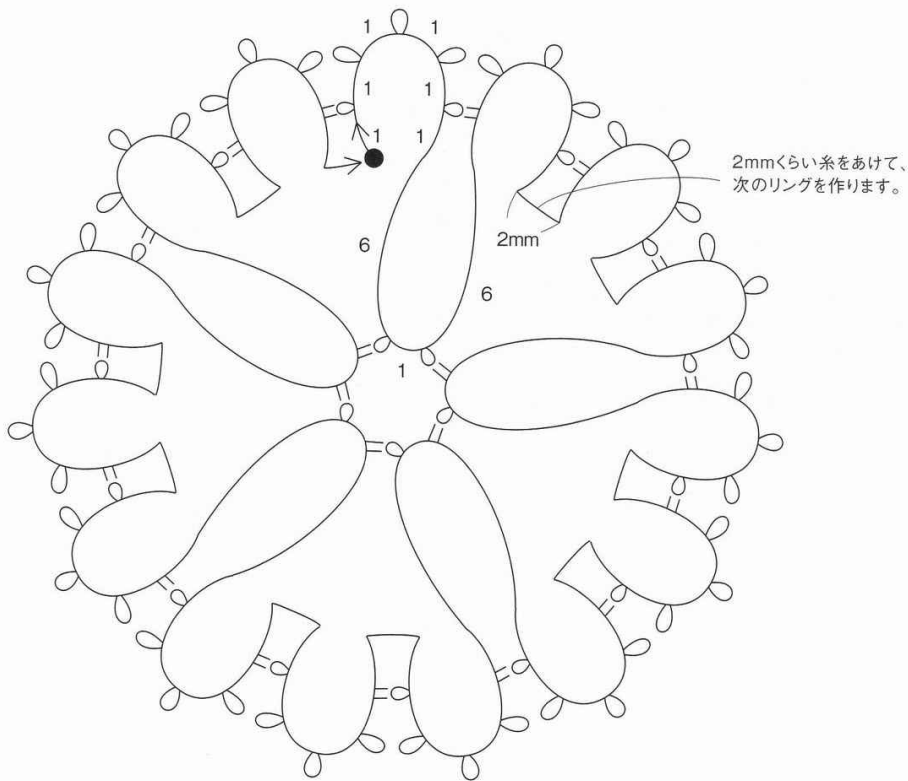
【シャトルと糸玉は…】

\*使用糸...#30 葵 白(1)

\*その他の材料...ピアスパーツ1組(金古美)

\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...直径約2.8cm



## 手 順

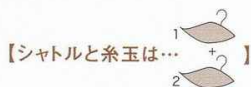
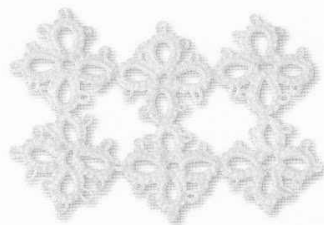
- 1 糸端を約15cm残してから、「1目、ピコット」を5回くり返し(最後の1目は自然とできます)、リングにします。
- 2 天地を逆にして、リヴァースワークで「6目、ピコット、1目、ピコット、6目」を作ります。
- 3 天地を戻し、1のリングを「作り方図」の目数通りにピコットつなぎをしながら作ります。
- 4 2mmくらい間隔をあけて再び1のリングを、「作り方図」の目数通りに

ピコットつなぎをしながら作ります。また2mmくらい間隔をあけて外側にくる4つ目のリングを作り、リヴァースワークをして、2をくり返し作ります。途中、内側のリングはピコットつなぎでつなげます。

- 5 3~4をくり返して丸いモチーフにします。最後はシャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側で糸始末します。
- 6 ピアスにするときは、同じものを2つ作ります。それぞれにピアスパーツを付けます。



# スプリット・リングで作る ブレスレット



\*使用糸...#40紫野 白(1)

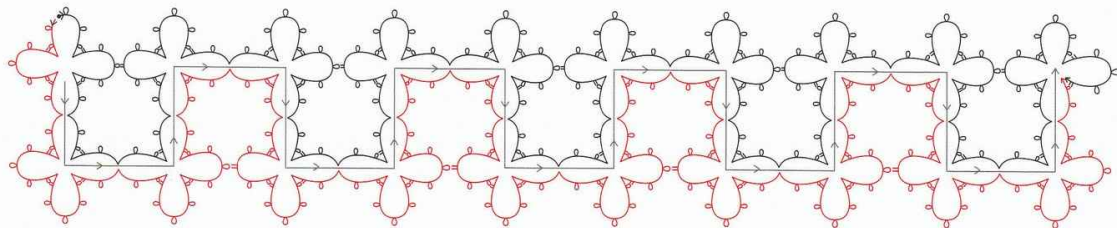
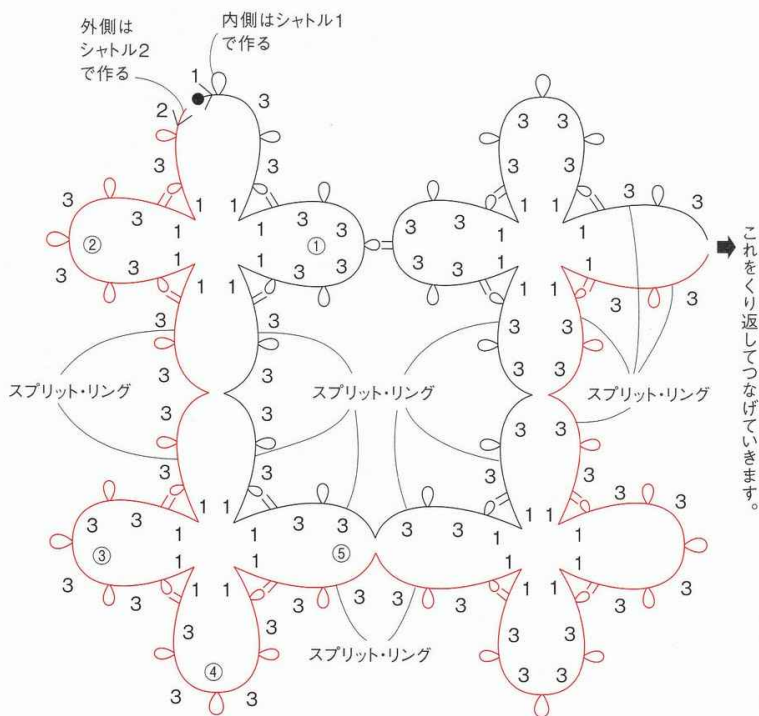
\*その他の材料...ブレスレット金具1組(金古美)

\*道具...シャトル2個

\*できあがりサイズ...横幅約16.1cm 高さ約3.4cm

## 手順

- 1 糸端を約15cmほど残してから、「作り方図」の目数通りにスプリット・リングを1つ作ります。
- 2 シャトル1で①のリング、シャトル2で②のリングを作ります。
- 3 スプリット・リングを2つ作ります。
- 4 シャトル2で③と④のリングを作り、⑤のリングでスプリット・リングを作ります。
- 5 1～4をモチーフの向きを変えながらくり返し作り、つないでいきます。好みの長さになるようにモチーフの数を調節しましょう。
- 6 最後はモチーフを作り終えた箇所ではシャトル1と2の糸端を裏側でこま結びし、糸始末します。
- 5 ブレスレットの金具を付けます。



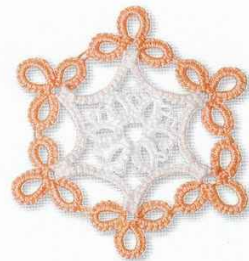


23

# 2色使いのお花 (a)

(P.19)

【シャトルと糸玉は…

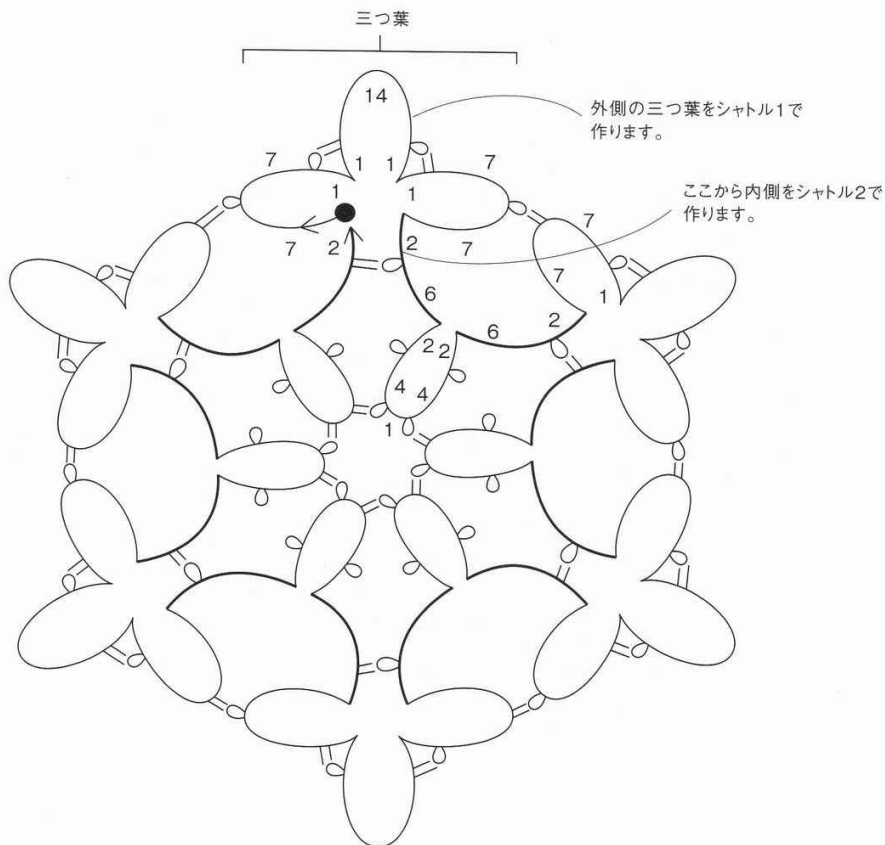


\*使用糸...#40紫野 白(1) 薄オレンジ(7)

\*その他の材料...フェルト1枚(グレー)、髪留め用ゴム1個、縫い糸、縫い針、布用ボンド

\*道具...シャトル2個

\*できあがりサイズ...直径約4.6cm



## 手順

- 1 糸端を約15cm残してから、シャトル1(薄オレンジの糸)で「作り方図」の目数通りに三つ葉を作ります。
- 2 天地を逆にし、シャトル2(白)で「2目、ピコット、6目」のチェーン、「2目、ピコット、4目ピコット、1目、ピコット、4目、ピコット、2目」のリング、「6目、ピコット、2目」のチェーンを作ります。
- 3 天地を戻し、1~2を全部で6回くり返し、「作り方図」の通りにピコットをつなげていきます。外側の三つ葉が6個、内側のリングが6個の円形にします。
- 4 最後は、シャトル1の糸はシャトル1の糸同士、チェーン部分を作っていたシャトル2の糸はシャトル2の糸同士をそれぞれ裏側でこま結びし、糸始末します。
- 5 モチーフを布用ボンドでフェルトに貼り、髪留め用ゴムに縫い付けます。



## 24

## 2色使いのお花 (b)

(P.19)

【シャトルと糸玉は…】

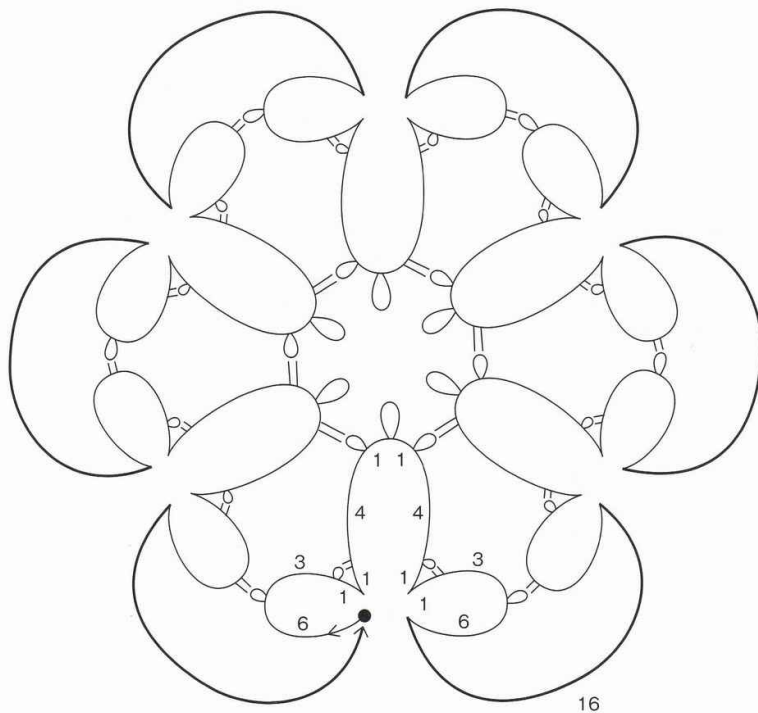


\*使用糸...#40紫野 白(1)緑(10)

\*その他の材料...髪留めピン1個(金古美)、縫い糸、縫い針、テグスカ透明ミシン糸

\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...直径約3.2cm



## 手順

- 1 糸端を約15cm残してから、「作り方図」の目数通りにシャトルの糸(白い糸)で三つ葉を作ります。
- 2 天地を逆にし、糸玉の糸(緑色の糸)で「チェーン16目」を作ります(P.51の35~40参照)。
- 3 1~2を全部で6回くり返し、「作り方図」の通りにピコットをつなげていきます。内側の三つ葉が6枚、外側のチェーンが6つの円形にします。
- 4 最後は、シャトルの糸の始めと終わり、チェーンを作った糸の始めと終わりを、それぞれ裏側でこま結びし、糸始末します。
- 5 髪留めピンにテグスカ透明ミシン糸で縫い付けます。



(P.19)

【シャトルと糸玉は…】

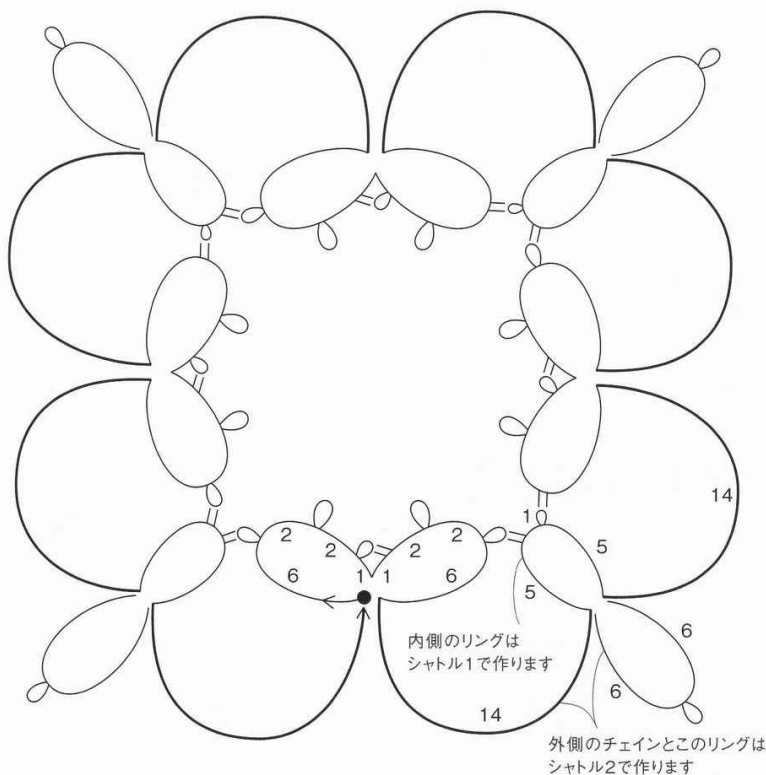


\*使用糸..ピアス…#40紫野 オフホワイト(2) 薄茶(17)

\*その他の材料...丸カン1個(金古美)、髪留め用ゴム1個

\*道具...シャトル2個

\*できあがりサイズ...横幅約3.3cm 対角の長さ約4.5cm



## 手 順

- 1 糸端を約15cm残してから、シャトル1(オフホワイトの糸)で「作り方図」の目数通りに、内側の双葉を作ります。
- 2 天地を逆にし、シャトル2(薄茶の糸)で「チェーン14目」を作ります。
- 3 天地を逆にし、シャトル1(オフホワイトの糸)で、「5目、ピコットつなぎ、1目、ピコット、5目」のリングを作ります。
- 4 天地を返し、シャトル2(薄茶の糸)で「6目、ピコット、6目」のリングを作り、再び「チェーン14目」を作ります。
- 5 1～4を4回くり返し、「作り方図」の通りにピコットをつなげていきます。内側の双葉が4枚、外側のリングが4つのスクエア型にします。
- 6 最後は、シャトル1の糸の始めと終わり、シャトル2の糸の始めと終わりを、それぞれ裏側でこま結びし、糸始末します。
- 7 ピコットに丸カンを付け、髪留め用ゴムとつなげます。



26

## 2色使いのお花(c)

(P.20)

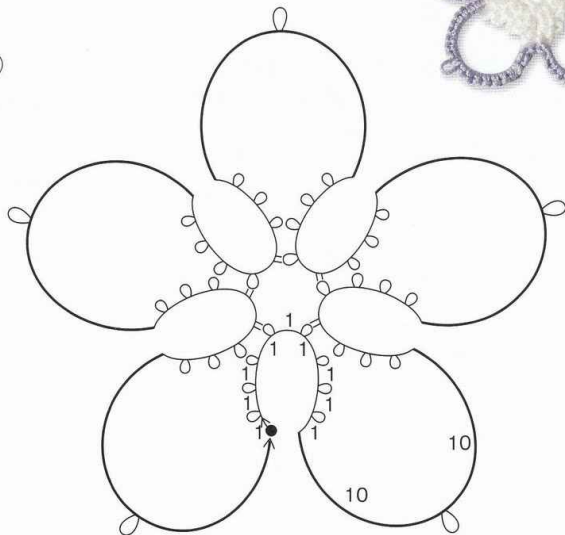
【シャトルと糸玉は…】



- \*使用糸...#40紫野 オフホワイト(2)すみれ色(14)
- \*その他の材料...ブックバンド1個、縫い糸、縫い針
- \*道具...シャトル1個
- \*できあがりサイズ...直径約3.2cm

## 手順

- 1 糸端を約15cm残してから、シャトル1(オフホワイトの糸)で「作り方図」の目数通りに、内側のリングを作ります。
- 2 天地を逆にし、すみれ色の糸玉で「10目、ピコット、10目」のチェーンを作ります。
- 3 天地を戻し、1~2を全部で5回くり返し、「作り方図」の通りにピコットをつなげていきます。内側にはピコットが8個ついたリングが5個、外側にはチェーンが5つのお花の形にします。
- 4 最後は、シャトル1の糸の始めと終わり、チェーンを作った糸玉の始めと終わりの糸を、それぞれ裏側でこま結びし、糸始末します。
- 5 ブックバンドに縫い付けます。



27

## 2色使いのお花(d)

(P.20)

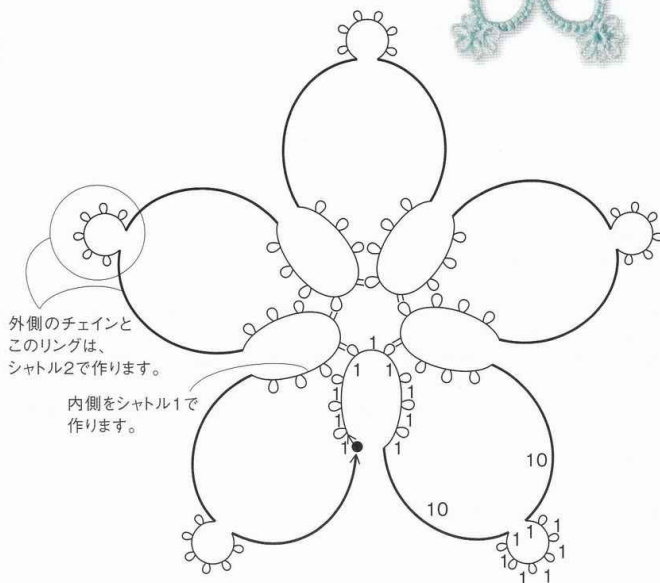
【シャトルと糸玉は…】



- \*使用糸...#40紫野 白(1)パステルグリーン(11)
- \*その他の材料...ブックバンド1個、縫い糸、縫い針
- \*道具...シャトル2個
- \*できあがりサイズ...一番長いところの長さ約4cm

## 手順

- 1 糸端を約15cm残してから、シャトル1(白の糸)で「作り方図」の目数通りに、内側のリングを作ります。
- 2 天地を逆にし、シャトル2(パステルグリーンの糸)で「チェーン10目、(1目、ピコット)×6回のリング(最後の1目は自然とできます)、チェーン10目」を作ります。
- 3 天地を戻し、1~2を全部で5回くり返し、「作り方図」の通りにピコットをつなげていきます。内側にはピコットが8個ついたリングが5個、外側にはピコットが6個ついたリングが先端にあるチェーンの花びら5枚のお花の形にします。
- 4 最後は、シャトル1の糸の始めと終わり、シャトル2の始めと終わりの糸を、それぞれ裏側でこま結びし、糸始末します。
- 5 ブックバンドに縫い付けます。





(P.21)

【シャトルと糸玉は…】

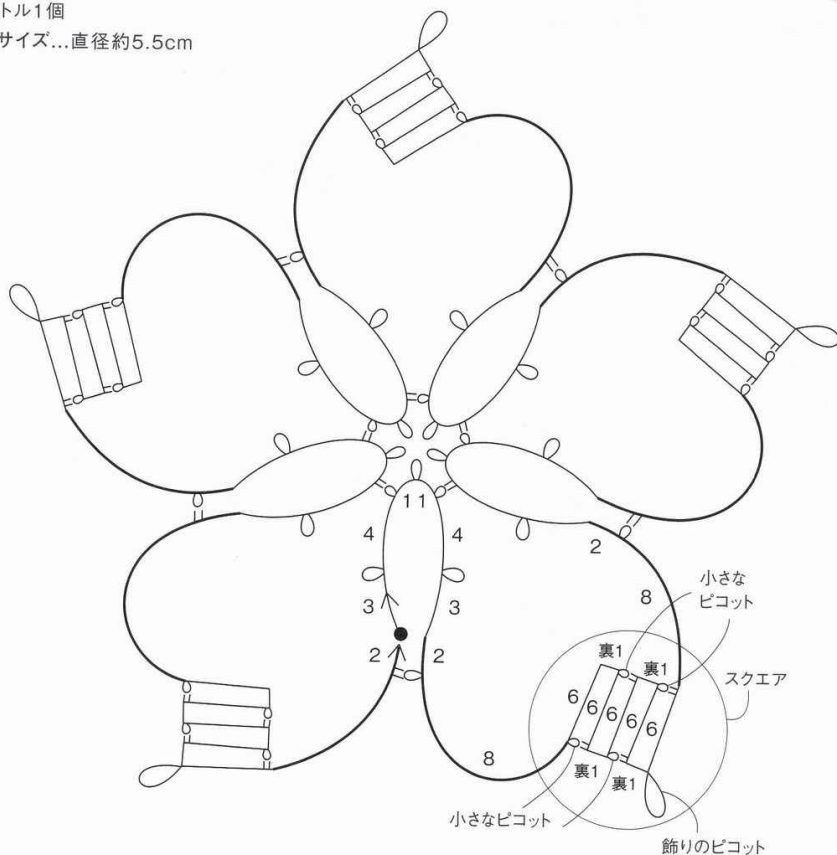


\*使用糸...#30 葵 サーマンピンク(4)

\*その他の材料...布用ボンド

\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...直径約5.5cm



## 手 順

- 1 「作り方図」の目数で、内側のリングを作ります。
- 2 天地を逆にし、「2目、ピコット、8目」のチェーンを作ったあとに小さなピコットを1つ作ります。それも含めて6目を続けて作ります。
- 3 ページをめくるように裏返し、スクエアの向きを変えて、「裏目を1目のみ」作ります。
- 4 小さなピコットを1つ作り、それを含めて6目を作り、2で作った小さなピコットに、シャトルつなぎでつなげます。
- 5 3をくり返すように、裏目1目と小さなピコットを1つ作り、それを含めて6目を作り、4で作った小さなピコットに、シャトルつなぎでつなげます。
- 6 3をくり返すように、裏目1目と小さなピコットを1つ作り、それを含めて6目を作り、5で作った小さなピコットに、シャトルつなぎでつなげます。
- 7 3をくり返すように、裏目1目と飾りのピコットを1つ作り、それを含めて6目を作り、6で作った小さなピコットに、シャトルつなぎでつなげます。
- 8 「8目、ピコット、2目」のチェーンを作ります。
- 9 1〜8を合計5回くり返し、「作り方図」の通りに内側リングはピコットをつなげていきます。内側のリングが5個、外側の花びらが5枚のお花の形にします。
- 10 最後は、シャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側でこま結びし、糸始末します(P.50の18〜19参照)。
- 11 布用ボンドで貼ります。



(P.24)

【シャトルと糸玉は…1段目と2段目は

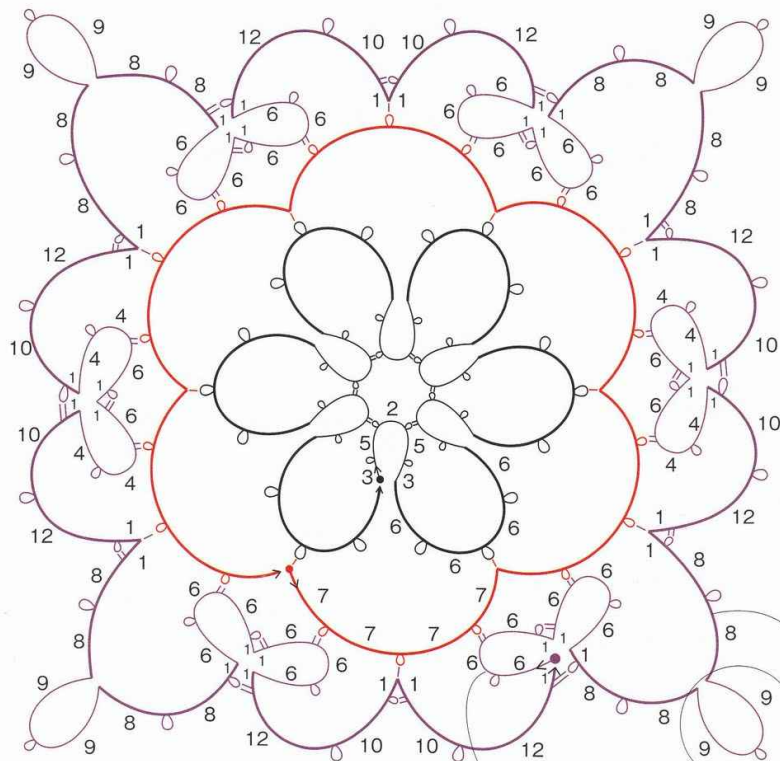
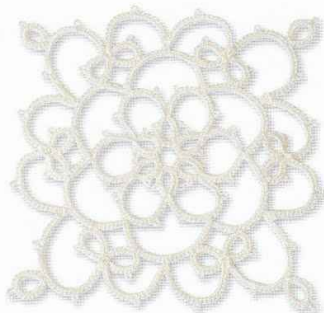


3段目は

\*使用糸…左:#30葵 黒(14)、右:#30葵 オフホワイト(2)

\*道具…シャトル2個

\*できあがりサイズ…横幅約9.7cm 対角の長さ約13.2cm



## 【3段め】

内側に向いている双葉は、  
上2つと下2つは  
目数が同じですが、  
左右とは目数が違うので  
気をつけてください。

外側のチェーンと  
このリングは  
シャトル2で作ります。

内側に向いている双葉は  
シャトル1で作ります。

## 手順

- 1 「17-a 6枚花びらのお花(a)」(作り方P.63)を作ります。
- 2 2段目は、1の外側を●印からシャトルつなぎでつなぎ、「7目、ピコット」を3回くり返して、最後に7目のチェーンを作り、シャトルつなぎでつなぎます。1周したら●印のつなぎ目にシャトルの芯糸を通し、裏側でこま結びをし、糸始末します(P.50の18~19参照)。
- 3 3段目は、シャトル2個が1本の糸でつながっている状態のものを使います。シャトル1で「作り方図」の目数通りに、内側の双葉を作ります。2つ目と5つ目の双葉2つは目数が異なるので、気をつけてください。
- 4 天地を逆にして、シャトル2で外側のチェーンと、外側にくるリングを作ります。チェーン部分は「作り方図」の通りに、ピコットをつなぎながら1周作ります。
- 5 3~4を「作り図」の目数通りにくり返し、双葉と双葉の間のチェーンはシャトルつなぎをしています。
- 6 最後は、シャトル1の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して裏側でこま結びし、糸始末します。



33

# 6枚花びらのお花(b)

(P.25)

【シャトルと糸玉は…】



\*使用糸...#30 葵 オフホワイト(2)

\*その他の材料...額縁、布用ボンド

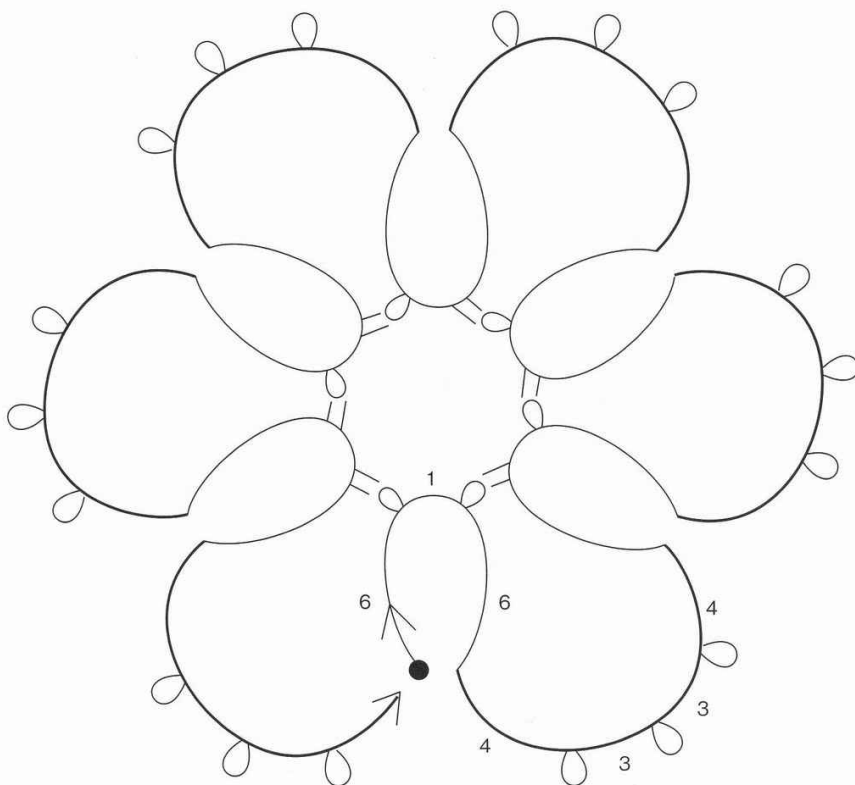
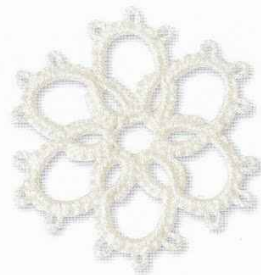
\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...直径約3.9cm

## 手順

1 「38 青い小花のドイリー(P.27)」の手順1~20(作り方はP.49~50)と同様です。

2 額縁に入れて飾る場合は、額縁の中に入れる紙や布に貼ります。





34

(P.25)

# つなげて大きくしていく お花 (a)

【シャトルと糸玉は…】

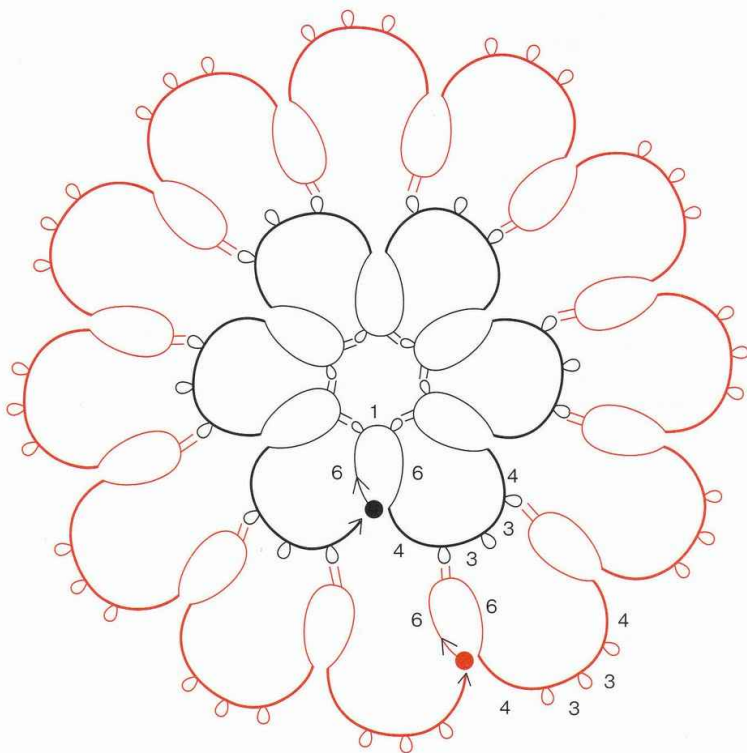


\*使用糸...#30 葵 オフホワイト(2)

\*その他の材料...額縁、布用ボンド

\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...直径約6.5cm

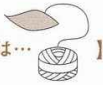


## 手 順

- 1 「38 青い小花のドイリー(P.27)」の手順1~20(P.49~50)を作ります。
- 2 2段目は「6目、ピコットつなぎ、6目」を作り、天地を返して、「4目、ピコット、3目、ピコット、4目」のチェーンを作ります。
- 3 2を全部で12回くり返して、1周つなぎます。
- 4 最後は、シャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側でこま結びし、糸始末します(P.50の18~19参照)。
- 5 額縁に入れて飾る場合は、額縁の中に入れる紙や布に貼ります。



# つなげて大きくしていく お花 (b)



【シャトルと糸玉は…】

\*使用糸...2枚重なっているモチーフ: #30 葵 オフホワイト(2) 黒(14)

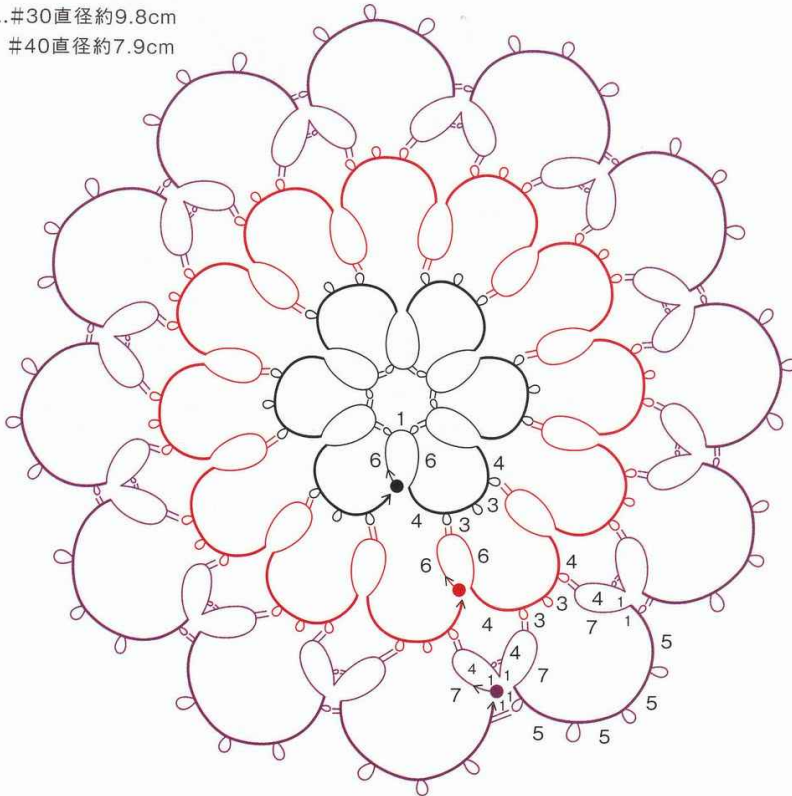
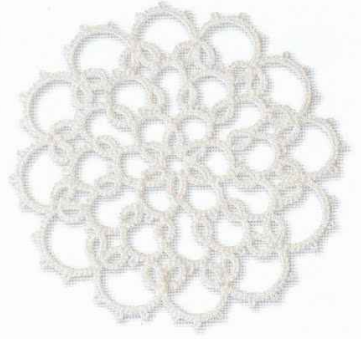
下の少し小さいモチーフ: #40 紫野 白(1)

\*その他の材料...額縁、布用ボンド

\*道具...シャトル1個

\*できあがりサイズ...#30直径約9.8cm

#40直径約7.9cm



## 手順

- 1 「34 つなげて大きくしていくお花(a)」を作ります。
- 2 3段目は、「7目、ピコットつなぎ、4目、ピコット、1目」のリングを作り、同様に「1目、ピコットつなぎ、4目、ピコットつなぎ、7目」のリングを作り、双葉の形にします。
- 3 天地を逆にして、「1目、ピコット、(5目、ピコット)×4回、1目」のチェーンを作ります。
- 4 2〜3をピコットつなぎをしながら全部で12回くり返し、1周つなぎます。
- 5 最後は、シャトル側の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して、裏側でこま結びし、糸始末します(P.50の18〜19参照)。
- 6 額縁に入れて飾る場合は、額縁の中に入れる紙や布に貼ります。



# 小花をつないだ コースター

【シャトルと糸玉は… 】

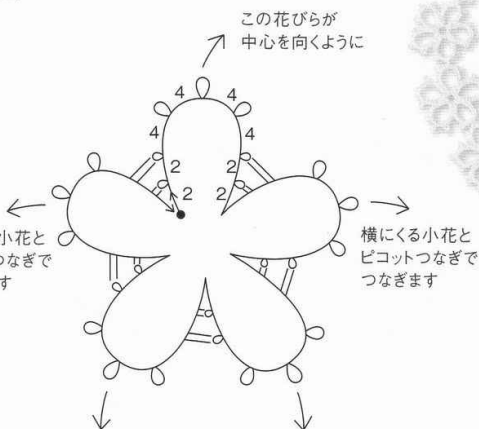
\*使用糸…#40紫野 オフホワイト(2)

\*道具…シャトル1個

\*できあがりサイズ…

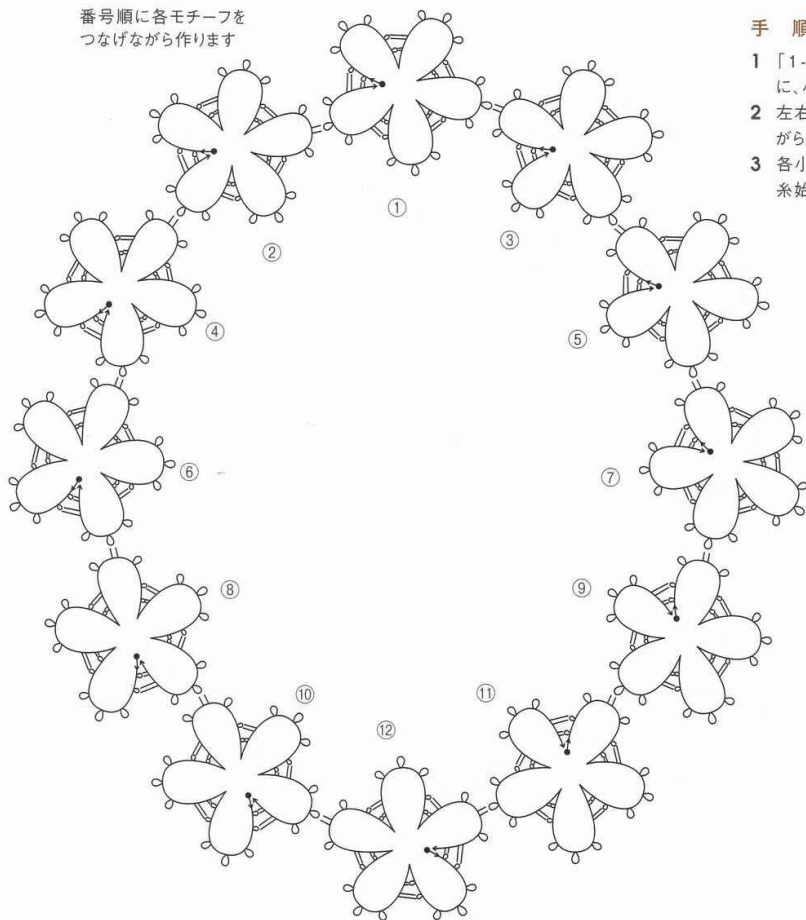
正円にしたときの直径約12cm

横にくる小花と  
ピコットつなぎで  
つなぎます



2枚の花びらが外側にくるように

番号順に各モチーフを  
つなぎながら作ります



## 手順

- 1 「1-a 小花(P.4)」の作り方(P.35)通りに、小花を1枚作ります。
- 2 左右2枚の花びらをピコットつなぎでつなぎながら、1を全部で12枚作ります。
- 3 各小花の最後は、糸端を裏側でこま結びし、糸始末します。

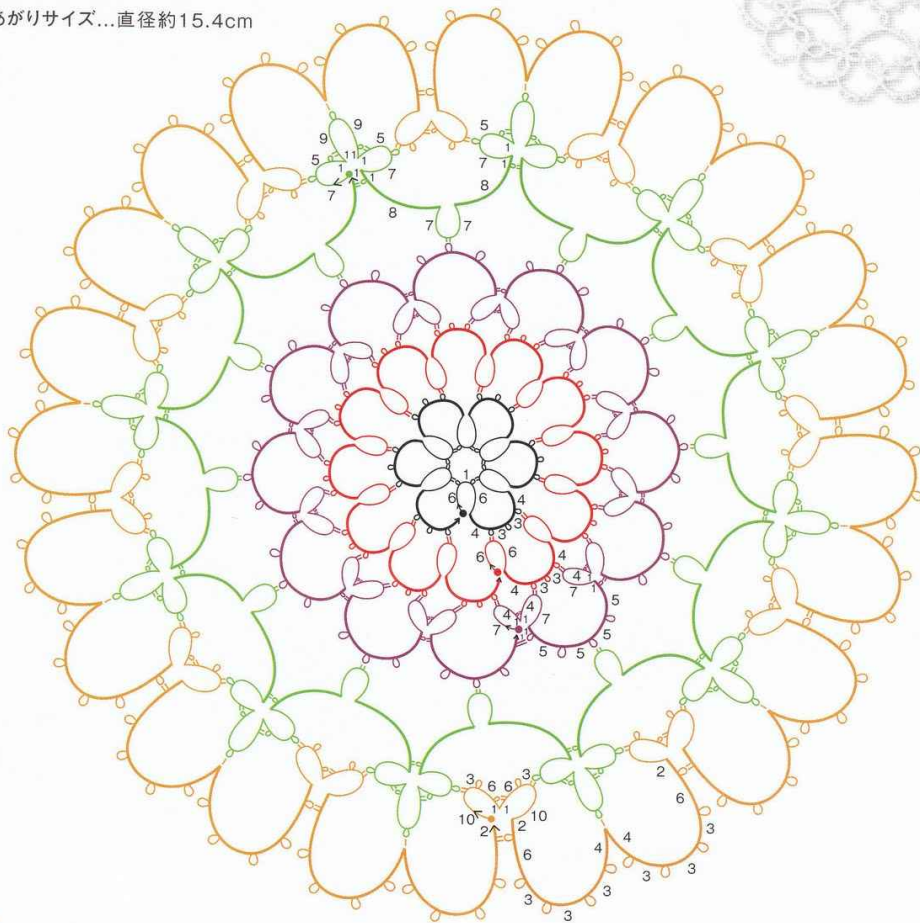


【シャトルと糸玉は…1段目、2段目、3段目は 4段目は 5段目は】

\*使用糸…#40紫野 白(1)

\*道具…シャトル2個

\*できあがりサイズ…直径約15.4cm



## 手順

- 1 「35 つなげて大きくしていくお花(b)」を作ります。
- 2 4段目から「シャトル2個が1本の糸でつながっている状態」で作ります。まずはシャトル1で「作り方図」の目数の通り、三つ葉を作ります。
- 3 天地を逆にして、シャトル2で「1目、ピコット、8目」のチェーンを作り、「7目、ピコットつなぎ、7目」のリングを作り、再び「8目、ピコット、1目」のチェーンを作ります。
- 4 2〜3の「チェーンの途中で作るリング」を全部で12回くり返して1周つなぎ、4段目を完成させます。4段目の最後はシャトル1の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して裏側でこま結びし、糸始末します。
- 5 5段目は「シャトル1個と糸玉がつながっている状態」で作ります。まず

は「作り方図」の目数の通り、双葉を作りながら、4段目の三つ葉の左右をピコットでつなげていきます。




- 6 天地を逆にして、「2目、ピコット、6目、ピコット、(3目、ピコット)×3回、4目」のチェーンを作り、4段目の三つ葉の先端ピコットとシャトルつなぎでつなぎ、再び「4目、ピコット、(3目、ピコット)×3回、6目、ピコット、2目」のチェーンを作ります。
- 7 5〜6を続けて、全部で12回くり返し、双葉の付け根はピコットつなぎをして1周つなぎ、5段目を完成させます。
- 8 最後はシャトル1の芯糸を針に通し、●印のつなぎ目を通して裏側でこま結びし、糸始末します(P.50の18〜19参照)。



37

(P.26)

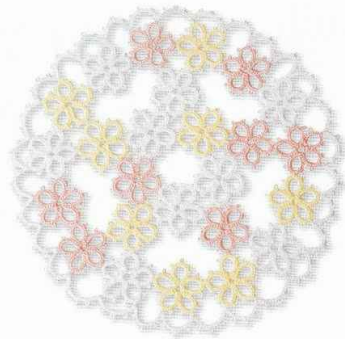
# パステルカラーの 小花のドイリー

【シャトルと糸玉は…1段目は  2段目は  3段目は  4段目は  1】

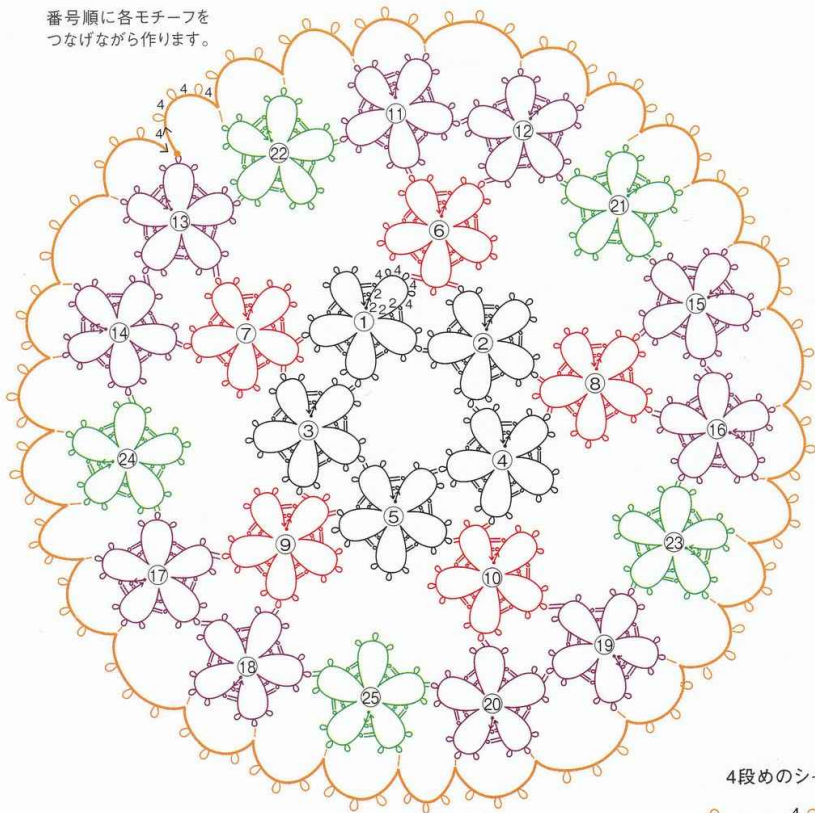
\*使用糸…#40紫野 白(1) サーモンピンク(4) 黄(8)

\*道具…シャトル1個

\*できあがりサイズ…直径約15.4cm



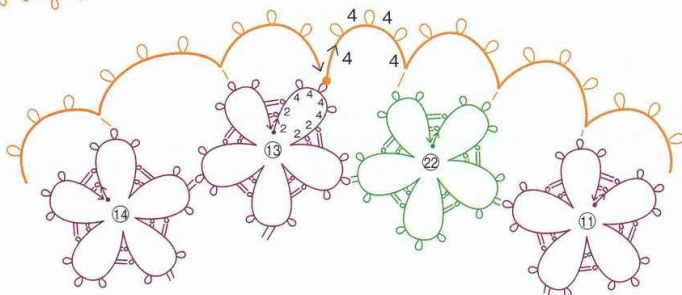
番号順に各モチーフをつなげながら作ります。



## 手順

- 1 「1-a 小花 (P.4)」の作り方 (P.35) 通りに小花を作り、「作り方図」の通りにピコットでつなぎながら5枚のサークルにします。小花の色はお好みで変えていくと良いでしょう。
- 2 2段目は、1段目の小花と小花の間につなげていきます。全部で5箇所(5枚)つなぎます。
- 3 3段目は、2段目の小花の下の花びら2枚に、小花を1つずつつなげる要領で、三角形になるように作ります。
- 4 3段目にあたる小花(2段目の小花と三角形でつながっているもの)の間に、小花を左右でつなげていきます。
- 5 3段目の小花の下2枚の花びらにある、先端のピコット(図の●印)にシャトルつなぎをして、「(4目、ピコット)×3回、4目」のチェーンをくり返ししながら、シャトルつなぎで1周をつなぎ、4段目を作ります。
- 6 最後は、シャトル側の芯糸を針に通し、●印の結び目を通して、裏側でこま結びし、糸始末します (P.50の18～19参照)。

## 4段めのシャトルつなぎ





# クロバー Clover

## 憧れの伝統レース、タティング。

上品で美しい結び目を作る優雅な手芸に様々なタイプのシャトルを揃えました。



### タティングシャトル フローラ

“使い分けに便利”と好評のシャトル5色セットに、やさしいフローラルカラーの新品が登場しました。便利な角ありタイプです。



### Tatting Shuttle

New

#### タティングシャトルL [2個入]

＜カラー＞や＜フローラ＞の約1.8倍巻けるシャトルです。ビーズタティングや大きい作品、太い糸を使う作品づくりに。たくさん巻けて、編みやすい形状です。

角あり  
タイプ



従来品との比較

#### タティングシャトル カラー [1組5個入]

角あり  
タイプ



#### タティングシャトル [1組2個入]

角あり  
タイプ



角なし  
タイプ

#### タティングシャトル クラシック [1組2個入]

柔らかい仕上げでやさしい使い心地です。



### Other Item

#### タティングレース用 かぎ針 [No.8, No.12]

編み糸を引き出して、つなぐ作業に。タティングレースに便利なペンダントタイプ。※リボンには商品に含まれません。



#### クロスステッチ針

レース糸の糸始末には、先の丸いクロスステッチ針をどうぞ。



クロバー株式会社

「お客様係」TEL 06-6978-2277  
本社/〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5

<http://www.clover.co.jp>



厳選された素材を、  
伝統の糸づくりの経験と実績で創り上げた極上のレース糸。  
充実のラインナップでそろいました。

手頃な太さと繊細さを兼ね備えた30番レース糸。



### ダマレース糸 #30 葵 (あおい)

超長繊維綿「スービマ」を使用、  
しなやかな肌ざわりと上品な光沢、  
ウエアから小物まで幅広くご使用いただけます。

- 綿(スービマ)100% ○ 25g 巻(約145m)
- 色数14色 ○ 2〜4号レース針
- ¥504(本体価格 ¥480)



### ダマ ラメのレース糸 #30

ゴージャスなメタリックカラーの  
個性的な30番レース糸、おしゃれなウエアや  
アクセサリ小物に最適です。

- キュプラ 80%・ポリエステル 20% ○ 20g 巻(約137m)
- 色数7色 ○ 2〜4号レース針
- ¥651(本体価格 ¥620)



### ダマ 絹のレース糸 #30

美しいシルク100%の艶と  
リッチな手ざわり、おしゃれなウエアや  
アクセサリ小物に最適です。

- 絹 100% ○ 20g 巻(約148m)
- 色数15色 ○ 2〜4号レース針
- ¥882(本体価格 ¥840)



### ダマ 麻のレース糸 #30

アイリッシュリネン 100%の洗練された  
ナチュラル感。涼感のあるシンプルウエアや、  
帽子・バッグ・室内小物にも。

- 麻(アイリッシュリネン)100% ○ 20g 巻(約95m)
- 色数9色 ○ 2〜4号レース針
- ¥830(本体価格 ¥790)

たくみ  
匠の伝統が生み出した、  
40番レース糸の逸品。



### ダマレース糸 #40 紫野 (むらさきの)

厳選された上質コットンを使用、適度なハリとしなやかな編みやすさを兼ね備えた、  
シルキーな光沢とクリアな発色の40番レース糸の逸品です。

- 綿 100% ○ 10g 巻(約82m)…色数30色(色18色・かすり12色)
- 25g 巻(約206m)…色数7色 ○ 6〜8号レース針
- 10g 巻(色)…¥294(本体価格 ¥280) ○ 10g 巻(かすり)…¥315(本体価格 ¥300)
- 25g 巻…¥504(本体価格 ¥480)

レトロ感のある表情が今風、  
18番レース糸。



### ダマレース糸 #18 鴨川 (かもがわ)

少し太めで早く編みあがる、強撚タイプのユニークなレース糸。  
クリアなビビッドカラー7色、しっかりした編みあがりは、  
特に巾着などバッグ類におすすめです。

- 綿 100% ○ 25g 巻(約87m) ○ 色数7色
- 2/0〜3/0号かざ針 ○ ¥473(本体価格 ¥450)

※印刷のため色が多少異なります。現物の商品でご確認ください。  
※表示価格は、2012年7月現在の標準的な税込小売価格です。

本社 ☎(06) 6251-2183

東京支店 ☎(03) 5623-2981

通信販売係 ☎(06) 6251-2183



横田株式会社

定価950円 本体905円

2012年9月30日発行第1刷  
レディブティックシリーズ通巻3454号

PRINTED IN JAPAN 雑誌 69679-54

ISBN978-4-8347-3454-6  
C9476 ¥905E



9784834734546



1929476009050